

2025年度(第62期)

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

事業報告および決算報告

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

目 次

I. 2025 年度(第 62 期)事業報告

I.要旨 P1

II.代理店・募集人の資質向上 P3

III.公正な市場環境の構築・提言活動..... P5

IV.実効性あるCSR活動の展開..... P6

V.組織力の強化..... P8

VI.活力ある代理店制度の構築 P11

VII.広報活動の展開 P12

VIII.代協会員への経営支援・情報の提供 P14

IX.コンベンション P15

X.法人運営 P16

(付1).諸会議と諸問題の処理経過 P17

(付2).表彰 P20

(付3).機構および規則等の変更 P20

(付4).特別会員の異動 P21

(付5).役員の異動..... P20

(付6).2025 年度中における代協正会員の異動状況 P21

II. 2025 年度(第 62 期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録..... P22

【参考】2026 年度通常総会議事録..... P32

資料集..... P34

I. 2025 年度(第 62 期)事業報告

I. 要旨

本年度も、リアル対面形式とオンライン会議を併用した活動を行った。対外的には行政、損保協会、保険会社各社、業界内団体等との情報交換を重ね、また金融庁保険課長と各代協会長との意見交換会の継続開催などを通して業界における存在感を示すことができた。また対内的には、動画での情報提供などを工夫するとともに、各代協の活動を後押しした結果、日本代協アカデミーの利用推進、代理店価値向上策の取組みを除き、概ね計画通りに推進することができた。都道府県代協の取り組みには温度差があり、意識・行動のバラツキを是正できていないことは課題であると認識している。諸課題(役割分担、事務局体制、役員人事の硬直化、会員資格・会費体系のバラツキ、支部活動の強化等々)が解消されていない代協があり、組織活性化の進捗には濃淡が見られる。

当年度の特記事項は以下の通りである。

①防災・減災に向けた取組みと災害に便乗した悪質な業者対策

今年度も大雨、台風による被害が発生し、災害救助法が適用された地域があった。東日本大地震から 15 年を迎えた被災地も、能登半島地震の被災地においてもいまだその爪痕は大きい状況である。地震に続き水害による罹災が発生するなど従来想定を超える様々な災害が増えている。「南海トラフ地震」「首都直下地震」などの甚大な脅威が顕在化しており、防災・減災の取組みや保険の機能や重要性が再認識されている。さらに、パンデミック対策やサイバーセキュリティ対策など自然災害以外のリスクにも留意する必要があり、公共性の高い損保代理業を営む我々の力の見せ所であることを再認識し、防災・減災に実効性を上げて取り組む必要がある。

このような災害に便乗して暗躍する悪質な住宅修理事業会社や保険金請求サポート業者からお客さまを御守りする為に、水災、雪災における災害救助法適用地区を中心に注意喚起メールの配信や損保協会サイトのリンクやバナー掲載など損保協会との連携を強化して取り組んだ。

②仲間づくり推進(会員増強)

本年度未会員数は 10,545 店となった。331 店の入会目標に対して、447 店 135%の達成率となった。新入会員の増加は、地道な活動とともに業界を取り巻く問題とそれに伴う施策変更などの影響と考えられる。会員の減少幅は拡大傾向にあり、本年度は 138 店の減少となった(前年度は 123 店減)。退会理由が合併・統合等のやむを得ない理由以外による退会理由の割合は対前年度から 3.1 ポイント減少した。保険業法改正代理店監査対応関連情報、代理店の賠償責任、日本代協アカデミーに関する情報の提供、代理店経営サポートデスクの運営、代理店価値向上策の提供・推進などを通して、代協加入のメリットをオールチャネルの「保険のプロ」に認識いただき、447 店の入会につながったが、一方で退会が 585 店(内合併等による退会 435 店)となり、上記の結果となった。

③損害保険大学課程の運営

創設 15 年目となる損害保険大学課程のコンサルティングコースの運営においては、教育委員を中心に各代協の役員・委員・事務局員の支援を得て、合計 50 回の Web セミナー開催を無事に終了することができ、修了者合計で 1,625 名となった。2026 年 4 月受講者募集においては、募集目標 840 名に対し、受講申込者数 3,207 名となった。急速な受講者増に伴う Web セミナーの運営体制の構築が大きな課題である。なお、本年度も損害保険大学課程管理システムについての脆弱性診断の実施、管理サーバーのバージョンアップ対応、セキュリティの強化等に継続的に取り組んでいる。また損保協会と連携し、業界最高峰資格としての魅力度向上に向け、損害保険大学課程コンサルティングコースの大改訂に向けた作業を開始した。

④「日本代協アカデミー」の展開

今後の本会の教育研修事業の柱と位置づけた取組みであり、代理店賠償に並ぶ「代協の魅力」の一つである。「自ら学ぶ文化と学習の習慣を定着させること」は、代協全体の使命であり、その実現のために、新たに「金融商品を学ぶ」「代協活動から学ぶ」「災害対策」「生命保険販促」などの代協独自コンテンツを発信した。また、ベンダー会社に対して、教育責任者が募集人の学習完了状況を容易に把握できるシステム改善を要望し続け、ようやく次年度からの改善が実現した。

⑤代理店価値向上策の取組み

代理店の価値向上策として 1)日本代協版「リスクマネジメント講座」、2)JSA-S1003「保険代理店サービス品質管理態勢の指針」、3)ジギョケイ取得推進、4)社労士診断認証制度を推進した。今後の環境変化の中で、ガバナンス態勢の構築やプロフェッショナルな代理店として顧客本位の業務運営を推進していくために有用な取組事項として展開したが、施策の説明機会が少なく、各取組が品質向上に繋がるという理解が希薄な状態が続いている。日本代協ホームページ上のバナーや、推進チラシ、2024年に開催した上記4施策に関するセミナー動画をオンデマンド配信、ジギョケイ満期案内ハガキを作成するなどのツール整備を行ったが、十分に活用されなかった。一方で、背景目的をしっかりと捉えた上で価値向上策をお客様に訴求したことにより、企業の支援に繋がったとの事例報告も上がっている。

⑥代理店経営サポートデスクの運営

2019年7月開設の「代理店経営サポートデスク」に寄せられた相談は、単年度53件となった。本年度は、特にサポートデスク利用率を向上させるために、Googleフォームによるメール受付による利便性向上と代協ニュースへのサポートデスク取組み内容の情宣を行い、存在周知に取組んだ。また、保険や保険募集に関する勉強とは異なる代理店経営のセオリーを学ぶ「代理店経営未来塾」も8月に第4期のフォローアップとしてのサマースクールを開講し、11月からは第5期として開講し、現在12名が受講中である。

⑦第14回コンベンションの開催

コロナ前と同様の開催方式とし懇親会も開催した。式典総勢414名、懇親会508名と盛大に開催でき、成功裏に終えることができた。今回のテーマは「人と地域を支える代理店の未来地図」とし、地域においてお客様との間に「感謝の連鎖と信頼の継承」を継続的に築くためのヒントを提供したいとの思いを込めた。来賓ご挨拶(金融庁:白藤文祐保険代理店監督企画室長、損保協会:船曳真一郎協会長)、功労者表彰、基調講演「ほんまものサービスはこれや!」を おもしろ旅企画ヒラタ屋 代表 平田 進也様と進め、高い評価をいただいた。総合アンケートでは、パネルディスカッションについては、44.6%から「大変参考になった」、47.0%から「参考になった」との回答があった。

翌日の分科会は、どのゼミも好評であり所定の目的を達成したと考える。(①吉田 桂公 氏 ②渡瀬 謙 氏 ③中島 達朗 氏 ④今林 砂緒里 氏)

業界全体が大きく変革すべき時を迎えており、様々な残課題や取組項目はあるが、理事会、各委員会においては、Webシステムを駆使しながら使命感をもって取組みを進めている。次年度も「現実への対応と理想の追求」を確認しつつ情報が伝わる組織づくりに取組み、全代協一体となった活動を展開していく。

各事業の概要は、以下の通りである。

Ⅱ. 代理店・募集人の資質向上

(1)「損害保険大学課程」の運営

1) 指定教育機関としての役割発揮・内容充実・制度改善

・セミナーに関しては、すべてを Web 形式で開催し、教育委員だけでなく各ブロック、代協の組織全体で対応し、第一回セミナー25回・第二回セミナー25回を無事終了することができた。修了者合計 1,625 名、未修了者 226 名となった。

・本教育プログラムをよりよいものとするため、日本代協と損保協会との合同の打合せの場(「損保大学課程合同運営会議:四半期ごと開催)を設営している。この合同運営会議において、更なる認知度向上の取り組みならびに今後のセミナー形式等のあり方についても具体的な検討を進めている。

2)「損害保険大学課程」コンサルティングコース受講生の募集推進

・自主目標の 840 名を達成すべく、受講勧奨を展開した。26 年度募集結果は過去最高の 3,207 名となった。受講者の大幅増加は、昨今の代理店の品質強化、募集人資質向上の認識が高まったこととポイント制度における保険会社の施策が反映したものと考えられる。その一方で、日本代協がこれまで重要施策として受講勧奨を地道に推進してきたことは、評価できるものとする。

| 期別 | 受講者数（申込締切時） | | | 合計 | 修了者数 | 修了率 |
|--------------|-------------|-------|-----|--------|--------|-------|
| | 会員 | 会員以外 | 保社員 | | | |
| 第1期（2013年度） | | | | 802 | 735 | 91.6% |
| 第2期（2014年度） | | | | 804 | 732 | 91.5% |
| 第3期（2015年度） | 758 | 404 | 48 | 1,210 | 1,135 | 93.8% |
| 第4期（2016年度） | 1,044 | 358 | 56 | 1,458 | 1,361 | 94.6% |
| 第5期（2017年度） | 1,284 | 398 | 77 | 1,759 | 1,645 | 93.5% |
| 第6期（2018年度） | 1,642 | 492 | 101 | 2,235 | 2,112 | 94.5% |
| 第7期（2019年度） | 1,326 | 637 | 92 | 2,055 | 1,885 | 91.7% |
| 第8期（2020年度） | 1,025 | 368 | 75 | 1,468 | 1,268 | 86.4% |
| 第9期（2021年度） | 1,025 | 368 | 75 | 1,284 | 1,174 | 91.4% |
| 第10期（2022年度） | 908 | 271 | 52 | 1,231 | 1,057 | 85.8% |
| 第11期（2023年度） | 1,019 | 330 | 58 | 1,407 | 1,229 | 87.3% |
| 第12期（2024年度） | 898 | 276 | 65 | 1,239 | 1,082 | 87.3% |
| 第13期（2025年度） | 1,227 | 560 | 64 | 1,851 | 1,625 | 87.8% |
| 第14期（2026年度） | - | - | - | 3,207 | - | - |
| | 12,156 | 4,462 | 763 | 22,010 | 17,040 | 90.9% |

(2026 年度募集分より会員、会員以外の区分けは行わない)

3)「損害保険トータルプランナー」の認知度向上の取組み

・損保協会と連携し、以下①～③の施策、損保トータルプランナー認定バッジの団体購入・着用勧奨、顔写真付きカード型認定証の団体購入・携帯勧奨などを展開した。

①消費者向け周知策として、新聞・刊行物・ポスター等への掲載、代理店検索サイトへの登録、消費者団体への案内

- ②認定者メリット・魅力アップ策として、損保協会主催の損害保険トータルプランナー向けセミナーおよび交流会への運営協力
- ③募集人・損保社員向け周知策:受講勧奨ちらし作成、協会長ステートメント・業界紙への記事掲載等

4)「損害保険トータルプランナー」の魅力向上

① 社会的信頼度向上

・損害保険トータルプランナー自らが、日々の活動の中で、消費者保護及び自らの資質向上に向けて取り組むとともに、消費者に向けた発信も必要であり、損保協会と連携し、以下の取り組みを展開した。

I 認定者自身が日々の活動の中でお客様本位の業務運営を展開する。

II 「3つの基本行動(i「ポスターの掲示、A4認定証の事務所内提示」、ii「認定バッジの着用、カード型認定証の提示」、iii「チラシ(損保協会作成)」)

なお、損保協会のホームページに掲載されている「損害保険トータルプランナーのいる代理店検索」への登録も漏れなく行い、広く周知を行うことも重要である。

②「損害保険トータルプランナー」の魅力を高める施策の検討

・昨今の代理店の品質強化や募集人資質向上の認識の高まりにより、さらなる業界最高峰資格としての魅力向上に向け、損保協会と連携し、損害保険大学課程コンサルティングコースの大改訂に向けたワーキンググループを立ち上げ、検討を開始した。今後はカリキュラム、テキスト作成等の実務面を担当するタスクフォースを設置し、検討を加速する。

・代協会員からの要望により顔写真入りカード型認定証の作成が実現し、2023年から団体販売も開始したが、購入者が増えないことから、既存のカード型認定証の活用を前提に、顔写真入りカード型認定証は2027年度から廃止されることが決定した。認定バッジについては、代協会員で資格保有者は公式の場においては必ず装着するなど、資格の有用性と認知度向上への意識を高めることが課題である。

(2)日本代協アカデミーの展開

・事業環境が激変する下では、「自ら学ぶ文化と学習の習慣を定着させること」は代協全体の使命であり、組織をあげて、会員の業務品質強化に向けた支援に取り組む必要がある。

・本会では、3年越しの検討を経て日本代協アカデミーを構築し、2019年10月1日から本格展開を始め、システムの老朽化に伴い2023年4月より新システムを導入した。その結果、受講者にとっては、コンテンツがコースカテゴリー別に表示できるようになり、利便性は向上した。

・利用会員への新たな教育内容の充実化と未利用会員へのコンテンツ充実化のため、教育委員会コンテンツPTを中心に以下の代協独自のコンテンツを開発し、提供することができた。

①「金融周辺知識を学ぶ」コンテンツ

②「代協活動から学ぶ」コンテンツ

③自然災害対策コンテンツ

④生命保険販促コンテンツ

⑤体制整備義務コンテンツのリニューアル

・管理者にとっては、受講者別のコンテンツの進捗状況が1單元ごとに細かく把握することができず、パーセンテージでの限定的な進捗管理が課題であったが、バンダー会社に継続的に働き続けた結果、次年度から、管理者が受講者別にコンテンツの進捗状況を容易に把握できるシステムに改善される。

・一方で創設以来の利用会員の伸び悩みが課題であるため、次世代が成長できる、業界の未来は明るいと感ぜられる魅力ある代協独自のコンテンツを継続的に開発していく。

(3)代協セミナー・代協支部セミナー

・代協(含むブツ)、支部では、Web活用の環境構築も進み、セミナーの企画・開催が安定して実施されている。

「代理店の未来を考える」、「金融庁検査の着眼点」、「サイバーリスク対策」、「防災・減災の取組み」、「災害に便乗した悪質な業者対策」、「事業継続力強化計画認定取得」、「代理店賠償」、「税制改正(相続税・インボイス制度)」、「ハラスメント対策」などのセミナーが各地で開催された。開催講師はアドバイザーや有識者、正副会長・理事・事務局などである。さらに、「代協とは」、「代理店賠償の必要性」、「顧客本位の業務運営」などのテーマで保険会社社員向けのセミナーを単独開催することや、同テーマの会員専用セミナーに保険会社社員と一緒に参加してもらうなどの工夫をこらし、社員と代理店間の接点強化につながっている。

Ⅲ. 公正な市場環境の構築・提言活動

(1)コンプライアンスの徹底

- ・総会時の募集規範朗読および各委員会時の倫理綱領の確認などを励行し、代協会員自身が個社としてコンプライアンスを徹底し、範を示すことが重要であることを周知した。
- ・不正を許さない企業文化を作り上げ、顧客本位の業務運営を実践することが重要であることを周知した。
- ・ガバナンス構築の一助として日本規格協会の JSA-S1003「保険代理店サービス品質管理態勢の指針」に関する情報提供(セミナー等)を行った。

(2)公平・公正な募集環境の整備

今年度も不適正疑義案件のデータベース化を進めるとともに、案件フローチャートの作成ならびに未然防止策の実践等を行った。今年度の収集は23件であり、販売チャネルの内訳は、ディーラー11件・自動車関連5件、住宅1件、銀行1件、その他5件という結果であった。実態としては各地で様々な疑義案件が発生していると考えられるので、報告ルールの周知が必要である。

1)ディーラーを中心としたモニタリング

- ・レッドカードちらしや公平な自動車保険募集に関する書面ひな型を活用し、不公正募集の是正に取り組んだ。

2)特定修理業者排除に向けた取り組み

- ・損保協会や鑑定協会とも定期的に連携を図っており、損保協会作成ツールの活用、「注意喚起メール配信」、「損保協会サイトのリンク」等の具体的な取組みを継続して実施した。

3)銀行等による保険販売

- ・「イエローカードちらし」を活用し、2012年4月1日から施行されている「弊害防止措置」が遵守されているか、不公正募集の事案は発生していないかのモニタリングを継続し2件の報告が上がってきた。
- ・引き続き政連と連携し、行政や支援議員に対して圧力募集の懸念を訴え、同措置の存知を求める(支援議員の要望書に記載)。

4)日本郵政グループにおける保険販売への対応

- ・自動車保険ならびに長期火災保険に関しては、問題となる事案の報告はなかった。今後も、日本郵便の保険事業拡大およびゆうちょ銀行の損害保険代理業参入後の動向を注視する。政連と連携し、なしくずし的な拡大に歯止めをかけられるよう今後も動向を注視していく必要がある。

5)団体契約・集団扱・団体扱割引の適正な適用

- ・企画環境委員会では、本年度も引き続き、消費者の利益保護の観点からモニタリングを実施した。勤務先での強制加入勧誘に関する疑義案件の報告があった。

6)その他不適正募集等のモニタリング・保険会社戦略のモニタリング

- ・不適正な割引割戻の削減に向け、特別利益の提供、抱き合わせ販売の際の説明話法事例の収集を行った。
- ・本年度の活力研でも不適正、不公正募集情報を保険会社に手交し、注意喚起を行った。同時に損保協会に対しても、活力研での動きを共有した。昨今業界で問題になった事例の再発を防止するためにも事前の情報収集を実施するという観点で、代協会員の声を受け取るよう依頼しその方向で進めている。
- ・不適正、不公正募集情報は金融庁にも報告済である。

- ・代理店統合に関する個別相談は経営サポートデスクにも入っているが、一方的・圧力的であると判断される案件と思われる事案には留意する。

(3)業界の共通化・標準化に向けた提言活動

- ・消費者にとってメリットがある、業界全体の効率化につながる、代理店の無用なロードも軽減できると考えられる事案についての意見を継続して収集したが、具体的な提案はなかった。
- ・独禁法に留意しつつ、家計商品約款内容と解釈の標準化を消費者の不利益の観点で共有しようとしたが、カルテル問題により保険会社との接点を持たない状態である。

(4)代理店価値向上策の推進

- ・代理店価値向上策の推進として次の 4 つの取組み 1)日本代協版「リスクマネジメント講座」、2)JSA-S1003「保険代理店サービス品質管理態勢の指針」、3)ジギョケイ取得推進、4)社労士診断認証制度に焦点をあて推進した。今後の環境変化の中で、ガバナンス態勢の構築とプロフェッショナルな代理店として顧客本位の業務運営を推進していくために有用な取組事項であるが、改めて取組みの背景、意義、目的などの本質を周知徹底する必要がある。一方で、背景目的をしっかりと捉えた上で価値向上策をお客様に訴求したことにより、企業の支援に繋がったとの事例報告も上がっている。
- ・リスクマネジメント講座は、日本代協アカデミーの利用者のみを受講できる仕組みという立て付けにしたことにより、広く周知が進まない状況であることから、料金体系の細分化(i.日本代協アカデミー登録利用者 75%引き、ii.日本代協会員 50%引き、iii.一般割引なし)の改定を行ったが、必要だと認識しても実際の受講につながらないことが課題となっている。

IV. 実効性あるCSR活動の展開

本業(リスクの専門家)に関連した取組みや地域の課題解決につながる取組みを主体として、Web 活用等の工夫も行い、取組んだ。

(1)統一活動

【独自継続活動】

1)防災・減災の具体的取組みの検討・推進

- ・「ぼうさいこくたい 2025」への出展(新潟県代協)など各地で開催された防災イベントに参画。防災・減災意識の高い団体とのタイアップにより活動を推進した。

2)地震保険の普及促進・付帯率アップ(代協)

- ・2025 年度も 32 代協で「地震保険普及の取組みを実施した。原則 10 月実施、時期・場所等は各代協で判断、コロナ禍で中止していた街頭キャンペーンも本年は復活し、ポスター5,139部、ポケットティッシュ・ちらし 37,000 セットの一斉配布を行った(地区判断により、会員の日常活動を通じてのノベルティ配布を行った地域もある)。

3)「子ども 110 番の保険代理店」の推進

- ・助けを求めて駆け込んできた地域の子供を保護する活動である「子ども 110 番の保険代理店*」の取組みは、継続活動により一定の役割を果たしたものとして独自活動として推進した。

(*「子ども 110 番の家」を日本代協として追認する仕組み)

4)サイバーセキュリティ対策に関する啓発活動の推進

- ・群馬県代協における Emotet 感染情報の実例が作用し、各代協が自らの事件として捉え、サイバー保険の手当及び機器側の一層のセキュリティ対策の実施等を図っている。
- ・サイバーセキュリティ対策セミナーは9代協で開催された。

5)無保険車追放運動

- ・2025年7月28日に2025年度自賠責広報協議会(国交省を事務局とする7府省庁、20団体(本会を含む)で構成)が開催され、昨年同様、全国ベースで自賠責保険制度のPRキャンペーンの実施が決議された。
- ・全ての被害者に対して基本的な損害賠償を補償する自賠責保険の必要性、(自賠責保険の)無保険車運行の違法性の周知を図るもので、昨年同様、若年層・青年層を対象に広報・啓発活動を実施した。
- ・9月の広報、啓発期間を中心に38代協でビラ配りや大学での自賠責確認活動を実施した。

【損保協会連携活動「ぼうさい探検隊」マップコンクールへの参画】

- ・「ぼうさい探検隊」の取り組みでは、代協ルートで192団体・373マップの提出となった。全代協が代協内の目標を達成した。
- ・今年度もマップコンクールの後援団体として、「キッズリスクアドバイザー賞(日本代協賞)」を提供し、本会関連からの申込み作品のうち「キッズリスクアドバイザー賞」に鹿児島代協経由作品が、「審査員特別賞」には四国ブロックから2作品、「佳作」に15作品が入賞した。
- ・マップ作成を通して子どもたちが危険と指摘した箇所が改善されたとの報告があがっており、今後は改善事例の収集も積極的に行いたい。

(2)学校教育への取り組み

- ・損保協会と連携し、全国の大学における損害保険論等の講座において、日本代協担当講師による講義を実施した。全国2大学に対して、実務家としてプロ代理店の存在の周知も図った。過去から蓄積してきた「日本代協認定講師」は累計で71名となっている。

(3)代協独自活動

- ・統一活動以外の活動に関しては、各代協で地域の事情に応じ、主体性をもって取り組んだ。日本代協CSR委員会はその支援を行った。(主な取り組み)学生(小中高大)に対する出前授業の実施を重点取組事項のひとつとして取り組んだ。岩手、茨城、山梨、三重、富山、石川、福井、岡山、鳥取を中心に実施された。また、一般消費者向け公開講座、清掃、植林等の環境保全活動、献血、チャリティ等の社会貢献活動、消費者団体との意見交換会などを開催した(日本代協は東京ブロックと共催で11月14日に実施)。

V. 組織力の強化

(1) ブロック・代協・支部の強化

1) 会員情報の収集・整理

- ・各代協においては、自代協の組織運営上必要な会員情報を収集し、リスト化することを目指しているが、労力のかかる仕事であり、完成している代協はまだ少ないのが現状である。
- ・「会員情報の全国一元管理が可能となる管理システムの構築」に関しては、各代協の規模や生い立ちにより求める情報にバラつきがあるため、直ちに構築に向かう状況ではないが、ニーズ確認や使い勝手の良いソフトやシステムの模索は継続する。

2) 支部活動の強化

- ・支部活動は代協活動の原点であり、委員会、会長懇談会等においても支部の好取組事例の共有を強く意識して運営した。支部単位でも取組課題を明確にして各代協や地域担当理事の助言を得つつ活動する事例もあった。組織委員会正副委員長による各ブロック組織委員会への Web 参加により、また、組織委員による好取組事例の収集・提供などにより、「情報と熱を伝える」活動を実践した。

3) 各代協の会員資格と会費モデルの検証

- ・会員資格の確認においては、別個登録と契約取扱出先の違いや代理店登録番号・記号の確認が重要であることを共有し、正会員会費・一般会員会費・賛助会員会費のあり方の検討機運が高まった。各代協の健全な財政基盤の確保のための中期計画の策定・実践取組みが重要である。

4) 情報と熱を伝える取組み

- ・組織委員会を中心に各代協の好取組事例の共有を図り、ブロック協議会や各代協理事会・委員会に Web 参加し、情報提供を行った。また役員・委員においては direct チャットや LINE を利用した迅速な情報連携が定着してきた。

5) 若手会員・女性会員の育成・登用

- ・日本代協理事・委員会委員・PTメンバーへの選任や好取組事例の取材先選定、業界紙への記事掲載等の機会を通して日本代協として側面支援を実施した。会長懇談会や日本代協コンベンション分科会において講師として女性会員や若手会員に登壇いただく機会をフル活用したい。

6) 新入会員のオリエンテーションの実施

- ・新入会員に、本会の活動に参加する喜びを体感してもらうため、また、退会防止のためにもオリエンテーションの開催は必須であるとの認識から、開催の徹底を働きかけた。こうした中で、大阪代協では、8 回(新加入の都度)開催されており、固定化・ファン化を図っていることは特筆できる。(2025 年度 9 代協 311 名参加)

7) 組織運営のガバナンス確保

- ・各代協においては、関連法規(特に労働関係法規)を遵守し、「一般社団法人運営マニュアル」を参考に、態勢の構築、適正な組織運営、事務局の役割分担等を推進した。各代協の総会や理事会運営に関しては、「よくある法人運営上の誤り」に基づき、具体例を上げて適正な運営を促した。また、健全な財政基盤の確保に向け、会費体系等の見直しを検討する代協に対しては、「会員資格・会費の考え方」、「2013 年度第 8 回理事会議事録・資料」、「代理店登録番号・記号解説」を配付し、理解を深めたうえで地域特性を加味した会費体系づくりを進めるようにアドバイスした。
- ・「社員総会資料の電子提供」について、法令が整備され、対応が可能となったため、2023 年 6 月通常総会より、総会参考資料の電子提供を行い、配布費用、紙削減に大きく貢献した。
- ・日本代協本部においては、各代協の運営に資する情報収集と知識習得に努め、専門家のネットワークを活用しながら、個別事案への対応をサポートした。

8) ブロック協議会による情報共有と相互の活性化支援

- ・前年に続き、会長(代表理事)と業務執行理事(専務理事)が、ブロック協議会への参加や周年行事対応での代協訪問(それぞれ基本的にリアル対面式の訪問)を実施し、相互活性化が前進した。

- ・ブロック協議会については、リアルとハイブリッド形式の開催工夫がなされているものの、運営メンバーの選定や論議内容には濃淡があるが、従来と比較してブロック協議会運営ガイドラインの再確認が進み、協議会運営に変化があらわれた。
- ・ブロック協議会に関わる課題を捉え、2025 年度にブロック長懇談会を再開した。

(2)代協正会員の増強

1)基本方針

- ・代協正会員の増強は各代協の経営上の課題であるが、全代協の取組みを後押しする観点から、当面は日本代協全体で取り組む。増強運動の盛り上げを図るため、日本代協としては公平性の観点から「入会ベース」の目標を設定し、取り組んだ。
- ・将来的には全代理店の加入、長期的にはその前提として過半数の加入(約 7 万店)を目標とし、そのステップとして、専業代理店換算組織率 50%超を中期目標において取り組んだ。加入勧奨に当たってはチャネル区分に関係なく、保険代理業を本業の一つに位置付け、志高く取り組んでいる有力代理店に幅広く加入勧奨を行った。

2)本年度目標

- ・各代協の入会目標値の合計 321 店の達成を目指して取り組んだ。Webを活用して、ニーズに照らした各種セミナーの企画・開催、代理店賠償の提案、損保大学課程の受講勧奨、日本代協アカデミーの活用、代理店サポートデスクの活用等で「代協の魅力」の PR を展開し、仲間づくりを推進した結果は、全国 42 代協が目標を達成し、331 店の目標に対して 447 店の入会(達成率 135%)となり、年度末最終合計の会員数は 10,545 店、専業換算組織率は 56.5%となった。代理店の合併による退会は、20 年度 358 店、21 年度 294 店、22 年度 216 店、23 年度 240 店、24 年度 209 店、25 年度 232 店と推移している。

3)仲間づくり推進(代協正会員増強)のための取り組み

- ・入会ベースを基軸とした「仲間づくり」の目標値を 331 店とする中で、各代協では退会を加味した自主目標の設定が必要なため、今年度は通年で「±0 運動」を実施し取り組んだ。施策徹底のために開催しているブロック組織員会の開催を各ブロックで継続することができた。様々な要因がある中でも全国 20 代協が「±0 以上」を達成した。
- ・2025 年度の取組結果は以下の通りである(2025 年度三冠王獲得代協)
北海道 秋田 宮城 やまがた 福島 新潟 群馬 栃木 茨城 埼玉 千葉 神奈川 山梨 東京 静岡 愛知 岐阜 三重 富山 石川 福井 滋賀 京都 奈良 大阪 兵庫 和歌山 岡山 鳥取 島根 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高知 福岡 大分 長崎 宮崎 熊本 沖縄
- ・換算組織率は以下の通りである(70%超過は14代協となった)
やまがた 71.3%、三重 71.3%、石川 70.5%、福井 84.4%、滋賀 4.9%、京都 85.3%、奈良 88.2%
大阪 73.3%、和歌山 80.4%、岡山 77.2%、鳥取 77.5%、山口 72.0%、徳島 85.7%、香川 86.3%

・2025年度末会員総数は10,545店(換算組織率56.5%)となった。

| 代協正会員数推移 | | 入会 | 退会 | 入会－退会 |
|--------------|----------|-------|-------|-------|
| 2002年3月31日現在 | 12,417 店 | 765 | 1,252 | △ 487 |
| 2003年3月31日現在 | 12,356 店 | 1,054 | 1,115 | △ 61 |
| 2004年3月31日現在 | 12,113 店 | 817 | 1,060 | △ 243 |
| 2005年3月31日現在 | 12,070 店 | 887 | 930 | △ 43 |
| 2006年3月31日現在 | 11,912 店 | 809 | 967 | △ 158 |
| 2007年3月31日現在 | 12,020 店 | 985 | 877 | 108 |
| 2008年3月31日現在 | 11,864 店 | 751 | 907 | △ 156 |
| 2009年3月31日現在 | 11,703 店 | 939 | 1,100 | △ 161 |
| 2010年3月31日現在 | 11,566 店 | 723 | 860 | △ 137 |
| 2011年3月31日現在 | 11,485 店 | 646 | 727 | △ 81 |
| 2012年3月31日現在 | 11,470 店 | 619 | 634 | △ 15 |
| 2013年3月31日現在 | 11,491 店 | 644 | 623 | 21 |
| 2014年3月31日現在 | 11,498 店 | 569 | 562 | 7 |
| 2015年3月31日現在 | 11,758 店 | 744 | 484 | 260 |
| 2016年3月31日現在 | 12,041 店 | 852 | 563 | 289 |
| 2017年3月31日現在 | 12,215 店 | 718 | 550 | 168 |
| 2018年3月31日現在 | 12,267 店 | 556 | 504 | 52 |
| 2019年3月31日現在 | 12,145 店 | 499 | 621 | △ 122 |
| 2020年3月31日現在 | 11,768 店 | 374 | 751 | △ 377 |
| 2021年3月31日現在 | 11,344 店 | 324 | 748 | △ 424 |
| 2022年3月31日現在 | 11,094 店 | 331 | 581 | △ 250 |
| 2023年3月31日現在 | 10,997 店 | 362 | 459 | △ 97 |
| 2024年3月31日現在 | 10,771 店 | 333 | 559 | △ 226 |
| 2025年3月31日現在 | 10,683 店 | 461 | 549 | △ 88 |
| 2026年3月31日現在 | 10,545 店 | 447 | 585 | △ 138 |

4) 損保各社との対話・連携強化

・2025年度も、本会、ブロック協議会、代協、支部がそれぞれの立場から災害に便乗した悪質な業者対策、防災・減災の取組み(含む地震・風水災リスクや中小企業のリスク啓発のための動画制作への協力)、損保協会寄附講座(各地の国立大学等)への講師派遣について連携を図り、関係強化に取り組んだ。

(3)人材育成研修会

2025年度は、8ブロックに予算手当を行い、自主開催を含む下記地区で開催された。

【8ブロック】

- ・北東北(20251024 リンクモア平安閣市民ホール)
- ・東関東(20251031 ライトキューブ宇都宮)
- ・近畿(20260205 琵琶湖雄琴温泉湯元館木もれび)
- ・四国(20250117 周南市立德山駅前図書館会議室)
- ・上信越(20259019 佐久一萬里温泉ホテル)
- ・東京(20251024 損保会館)
- ・阪神(20250905 ホテル・ロッジ舞洲)
- ・九州南(20251017 ホテルサンデイズ鹿児島)

【自主開催】

- ・三重(20250603 第一ビル会議室)
- ・大阪(20250725 ミライト ベンチマーク研修)
- ・三重(202500702 第一ビル会議室)

(4)代理店賠償の普及と経営品質向上

1) 代理店賠償の引受内容

- ・2025年10月1日から始まるポリシーの補償内容に関しては前年度プランと変更なし。
- ・代理店賠償審査会は、2025年8月5日に開催し、疑義案件の審議や保険金支払基準について討議し、制度の質の維持、向上に努めた。審査会有識者委員は大塚英明(早大教授)、古笛恵子(弁護士)、新有道(弁護士)、錦野裕宗(弁護士)、栗山泰史(日本代協アドバイザー)の各氏。

2) 加入促進、制度の健全な運営確保のための施策

- ・各ブロック、組織委員会を主体として各種行事(オリエンテーションなど)を織り込んだ代理店賠償研修会を開催し、未加入代理店や保険会社社員に対して保険業法283条をはじめ本制度の情宣と加入促進を行った。
- ・組織委員会においては、他山の石:事案ごとの責任割合(求償割合)についても勉強会を実施した。
- ・「拡大経営品質向上委員会」は、2026年3月13日の全国会長懇談会において開催し、Chubb社から「事故原因分析、状況別事故類型、トラブル事例紹介」の3点について、各代協会長に情報提供を行った。
- ・Chubb社より講師を招いた代理店賠償責任セミナーについては、代協未加入代理店向けだけでなくコンプライアンス教育の一環として位置づけ、会員の全従業員が視聴できるよう実施した。

3) 加入状況

- ・2026年3月末では9,250店(加入率89.6%)となった。各年度別実績は次のとおりである。

■代理店賠償加入者数 年度別実績 推移

(3月末時点実績 単位:店)

| 年度 内 訳 | 保険始期日 加入者数 | 中途加入者数 | 中途脱退者数 | 年度末加入者数 | 加入率 % |
|--------------|---------------|--------|--------|---------|-------|
| 2002年度 | 3,723 | 722 | 14 | 4,431 | 35.9 |
| 2003年度 | 5,180 | 604 | 43 | 5,741 | 47.4 |
| 2004年度 | 6,109 | 652 | 62 | 6,699 | 55.5 |
| 2005年度 | 7,187 | 630 | 110 | 7,707 | 64.7 |
| 2006年度 | 7,908 | 700 | 82 | 8,526 | 70.7 |
| 2007年度 | 8,352 | 479 | 59 | 8,772 | 74.1 |
| 2008年度 | 8,558 | 547 | 27 | 9,078 | 77.6 |
| 2009年度 | 8,787 | 364 | 18 | 9,133 | 79.0 |
| 2010年度 | 8,869 | 365 | 17 | 9,217 | 80.2 |
| 2011年度 | 8,833 | 296 | 21 | 9,108 | 79.4 |
| 2012年度 | 9,073 | 298 | 16 | 9,355 | 81.4 |
| 2013年度 | 9,225 | 252 | 8 | 9,469 | 82.4 |
| 2014年度 | 9,425 | 341 | 4 | 9,762 | 83.0 |
| 2015年度 | 9,626 | 409 | 8 | 10,027 | 83.2 |
| 2016年度 | 9,975 | 326 | 5 | 10,296 | 84.3 |
| 2017年度 | 10,120 | 217 | 3 | 10,334 | 84.2 |
| 2018年度 | 10,048 | 281 | 10 | 10,319 | 85.0 |
| 2019年度 | 10,020 | 199 | 16 | 10,203 | 86.7 |
| 2020年度 | 9,877 | 167 | 1 | 10,043 | 88.5 |
| 2021年度 | 9,605 | 177 | 3 | 9,779 | 88.1 |
| 2022年度 | 9,473 | 173 | - | 9,646 | 87.7 |
| 2023年度 | 9,328 | 134 | 1 | 9,461 | 87.0 |
| 2024年度 | 9,208 | 278 | 4 | 9,482 | 88.8 |
| 2025年度 | 9,250 | 212 | 11 | 9,449 | 89.6 |

VI. 活力ある代理店制度の構築

(1)活力研の開催

2025年度も保険会社4社との個別開催となった。

個社毎の開催により、業界課題を整理した上での実のある意見交換が実施され、活力研の重要度は高まったと考えられる。

・第1回目は2025年7月30日にSJ社およびMS社、7月31日にTN社およびMS社とのリアル集合形式で個別に開催し、下記2つのテーマについて論議を進め、情報を共有した。

- ①自己点検チェックシートの取組について
- ②各社が求める品質基準について

・第2回目は2026年3月2日にMS社およびAD社、3月3日にTN社およびSJ社との個別論議を実施した。テーマは下記2テーマについて論議を進め、情報を共有した。

- ①自己点検チェックシートの取組について
- ②2007代理店手数料体系について

・詳細に関しては、既配信の各議事録を参照いただきたい。

(2)金融庁と代協会長との意見交換会の開催

・2026年3月13日(金)16時~18時に損保会館2F大会議室にて、下井善博保険課長にお越しいただき、リアル対面方式で意見交換会を開催した。前回に続き、事前に質問を受け付け、共有したうえでの意見交換を実施した。質問のテーマ分類は次のとおり

- ①保険業法改正、監督指針改正等の中で抱えている課題について
- ②自己点検チェックシートの取組について
- ③顧客本位の業務運営として工夫している事項
- ④その他

下井保険課長の意見交換会での冒頭の挨拶コメントを記載する。

「私は保険課長2年目ということで、意見交換会には昨年に続き、参加させていただくが、大変ありがたく、代理店の皆様から直接ご意見を伺いすることができる貴重な機会だと思っている。ここで出た意見については真摯に受け止めたいと思っている。皆様は対顧客の最前線で、保険の機能を発揮すべく、顧客の希望・期待に応えようとされている。保険商品は、必要な人に行き届くことで初めて価値が出るのだろうと思っている。また、顧客のおかれた状況をよく知り、地域に根差した代理店の皆様の役割は極めて大きいと考えている。」

(3)環境変化対応の支援

・日本代協事務局から、体制整備義務履行のためのサポートを行った。「ワンポイントレッスン」、「業界関連情報ニュース」などを提供した。また、代理店経営サポートデスクと連携し、日本代協アカデミーの教育コンテンツの制作や情報提供コンテンツでの最新情報のお知らせを行った。

・環境認識を踏まえ、代理店の経営体制をさらに整備するため、「金融審WG・第三者検討会を踏まえた今後の代理店のあり方」、「金融庁検査の着眼点」などをテーマとしたセミナーを開催した。

・業法改正に係る府令・監督指針、保険会社の各種制度の動向を注視し、影響度の分析を行ったうえで、適宜メールやセミナー等で代協会員向けに情報を提供するとともに、募集実務に過度な負担を及ぼすことがないよう金融庁や損保協会に働きかけた。

VII. 広報活動の展開

(1) 会員に向けた情報伝達力を高める取り組み

・「日本代協ニュース」を改編し、読んでもらえる紙面作成を行った。具体的には、これまでの日本代協の行事報告だけでなく、各代協の取組や委員会活動を紹介するページを作成。

(2) ホームページ(HP)の活用

1)日本代協のホームページ

- ・ホームページは、本会から会員、未加入代理店、および一般消費者に対して情報を発信する基盤であり、本会の取組や考え方を広く伝える役割を担っている。
- ・動画の活用、YouTube の活用、損保協会サイトのリンクを通して、わかりやすい情報提供を推進した。

2)各都道府県代協のホームページ

- ・代協における HP および SNS 活用の指針として整備されている「HP・SNS ガイドライン」をもとに、情報発信のあり方について周知を図った。
- ・「日本代協ニュース」の作成にあたり、各代協へ地域情報の提供を依頼し、行事ページへのリンク共有等を通じて、各代協の取組状況の把握に努めた。

3) 業界紙や地域メディアの活用

- ・本部事務局、各代協において業界紙、全国紙、地方紙、テレビ、ラジオ等のメディアと平素より良好な関係を保ち、記者会見、インタビュー等を通じて本会の見解、意見等を世の中にアピールした。また、各地で代協活動等を行う場合には事前に地元の新聞社へ連絡し、記事として掲載してもらうよう働きかけた。損保協会が企画するリスク啓発動画(地震・水害や中小企業リスク等)の制作にも引き続き、協力した。
- ・本部での広報活動は、「代協の存在」と「代理店は消費者・契約者のリスクコンサルタントである」ことをPRし、『保険を選ぶ前に、代理店を選ぶ。』という考え方を普及することおよび各代協での消費者団体との懇談会推進の側面支援をすることなどを主な目的として実施した。
- ・地元新聞への広告掲載 その他、テレビ、FM 放送や、タウン誌等への広告掲載等、地元に着目した広報活動を実施した。

対外広報活動

<新聞広告>

| 広告主 | 掲載日 | 掲載媒体 | 広告主 | 掲載日 | 掲載媒体 |
|----------|------------|---|------|------------|---|
| 北海道 室蘭 | 2025.11.01 | 室蘭民報 朝刊広告 保険の月 約50,000部 | 三重 | 2025.11.29 | 中日新聞 朝刊 一紙面全面広告 「年末交通安全県民運動」 |
| 北海道 室蘭 | 2025.09.23 | 室蘭民報 朝刊 知利別川岸清掃ボランティア掲載約50,000部 | 石川 | 2026.03.06 | 北國新聞 朝刊 |
| 北海道 室蘭 | 2025.06.26 | 室蘭民報 朝刊 約50,000部 | 石川 | 2025.12.30 | 北國新聞 朝刊 |
| 北海道 苫小牧 | 2025.09.01 | 苫小牧民報『防災の日』代理店広告掲載 約 40,600部 | 福井 | 2025.11.17 | 福井新聞 全15段カラー会員広告 |
| 北海道 函館 | 2026.01.01 | 北海道新聞朝刊(函館版) 新年挨拶 68,079部 | 滋賀 | 2025.12.20 | 京都新聞 朝刊 滋賀版 約52,140部 |
| 北海道 函館 | 2025.10.31 | 北海道新聞 朝刊広告 約60,000部 | 京都 | 2025.09.30 | 京都新聞 |
| 北海道 函館 | 2025.06.10 | 北海道新聞函館・道南版の地域情報版『みなみ風』 約69,510部(道南) | 京都 | 2025.06.13 | 保険毎日新聞 |
| 北海道 函館 | 2025.05.31 | 函館新聞 朝刊 約20,500部 | 岡山 | 2026.03.11 | 山陽新聞 朝刊全県版 |
| 北海道 釧路 | 2025.12.05 | 北海道新聞朝刊 WEEKLY Fit PRESS (釧路市内・近郊) 88,000部、北海道新聞朝刊 WEEKLY Fit PRESS折込チラシ(中標津・根室管内) 6,000部 | 岡山 | 2025.09.01 | 山陽新聞 朝刊全県版 |
| 北海道 釧路 | 2025.10.04 | 釧路新聞 自賠責保険加入PR活動掲載 約56,000部 | 広島 呉 | 2025.11.15 | 中国新聞 呉・東広島版ページ 下5段 |
| 岩手 | 2025.11.01 | 岩手日報 全面 | 香川 | 2026.01.03 | 四国新聞 全15段広告(カラー版) |
| やまがた | 2025.04.01 | 山形新聞 全県版 会員共同広告 4月より毎月掲載 2025年度掲載合計回数46回 | 愛媛 | 2026.01.03 | 愛媛新聞社 損害保険トータルプランナー周知全面広告 |
| 福島 会津 | 2026.01.11 | 福島民報・福島民友 | 愛媛 | 2025.12.23 | 愛媛新聞社 年末の全国交通安全運動(12/23・25・27掲載) |
| 新潟 長岡/上越 | 2025.10.23 | 新潟日報朝刊 上中越版 | 愛媛 | 2025.09.23 | 愛媛新聞社 秋の全国交通安全運動(9/23・26・30 回掲載) |
| 山梨 | 2026.01.29 | 山梨日日新聞 損害保険トータルプランナー周知全面広告 発行部数21万部 | 愛媛 | 2025.09.01 | 愛媛新聞社 えひめ防災・減災いよゼロプロジェクト2025(9/1・12/17・3/11 3回掲載) |
| 山梨 | 2025.10.10 | 山梨日日新聞 2025.10.31開催「山梨県地震防災シンポジウム」広告(10/10・12 2回掲載) 山梨県・日本損害保険協会関東支部山梨損保会・山梨代協共催 | 愛媛 | 2025.04.08 | 愛媛新聞社 春の全国交通安全運動(4/8・11・14 3回掲載) |
| 山梨 | 2025.05.29 | 山梨日日新聞 2025年度通常総会広告 | 宮崎 | 2026.01.04 | 宮崎日日新聞 両面見開き |
| 静岡 富士富士宮 | 2025.11.29 | 富士ニュース 全ページ広告 | 熊本 | 2025.12.31 | 熊本日日新聞 |
| 静岡 富士富士宮 | 2025.11.29 | 静岡朝日新聞 全面広告 | | | |
| 岐阜 | 2026.02.27 | 中日新聞 | | | |

<雑誌広告>

| 広告主 | 掲載日 | 掲載媒体 |
|--------|------------|---|
| 北海道 千歳 | 2025.06.20 | フリーペーパー 千歳・恵庭エリア生活情報誌『Chanto』第978号 発行部数7万部 |
| 北海道 函館 | 2025.07.16 | フリーペーパー「ハコラク」8月号、会員50社、一般会員1社、賛助会員1社、損保会社7社掲載、発行部数4万部 |
| 北海道 函館 | 2025.06.30 | フリーペーパー「ダテパー」7月号、発行部数5万部 |

<テレビ・ラジオ>

| 広告主 | 掲載日 | 掲載媒体 | |
|-----|------------|---|----------------------------------|
| 北海道 | 2025.12.01 | F M三重 ラジオCM 飲酒運転ゼロキャンペーンスポットCM 12月1日～8日 25本 | |
| 北海道 | 千歳 | 2025.09.21 | FM-e-niwa 2025秋の交通安全運動キャンペーンCM広告 |
| 三重 | 2025.12.03 | F M三重 北岡会長ラジオ出演 | |
| 石川 | 2026.02.01 | テレビ金沢 スポットCM (2/1～28) | |
| 宮崎 | 2026.01.15 | MRTラジオ「交通事故防止キャンペーン」20秒CM (2025.12.31～2026.01.15) | |
| 鹿児島 | 2025.10.21 | 鹿児島テレビ スポットCM60秒 (10月～3月まで月一回) パブリシティ60秒 3回 | |
| 鹿児島 | 2025.04.01 | F Mかごしま 防災ブック電子版広告掲載 20秒CM50分 パブリシティ1回 | |

<その他>

| 広告主 | 掲載日 | 掲載媒体 | |
|-----|------------|--|----------------------------|
| 北海道 | 千歳 | 2025.07.19 | 第49回千歳市民夏まつりガイドブックに支部広告を掲載 |
| 新潟 | 2025.09.17 | 新潟情報 中央区、西区、東区版 10/11防災力向上セミナー開催広告 | |
| 新潟 | 2025.09.10 | 新潟情報 中央区、西区、東区版 10/11防災力向上セミナー開催広告 | |
| 山梨 | 2026.03.01 | 山梨県赤十字血液センター 広報誌「せせらぎ」No.31「協力団体のご紹介」山梨代協 土屋会長寄稿 | |
| 奈良 | 2025.04.25 | 路線バス車内デジタルサイネージ・車外戸袋広告 | |
| 鹿児島 | 2025.09.25 | 「鹿児島県のおしごと本」掲載 鹿児島県内の小学五年生に学校を通して配布、県内の図書館に送付 | |

①「業界紙との懇談会」

・業界紙 3 社(「保険毎日新聞」、「新日本保険新聞」、「インシュアランス」との懇談会を 7 月 10 日にリアル対面形式で実施し、意見交換を行った。次年度以降も毎年開催していく。

②新日本保険新聞との共同取組である代協活動の新聞掲載記事のスキームを活用し、情宣に努めた。

(4)動画の活用

・長年続いた対外広報戦略(PR 企画)については一時休止とし、これまで制作した動画の活用や代協活動の活性化に資する動画を制作できる環境構築を検討していく。

(5)「みなさまの保険情報」の活用

・成熟経済の下では、既存契約者との接点強化は極めて重要な命題であり、全ての代協正会員が「損害保険代理業は情報提供業」との意識で、積極的に顧客への情報提供を行う必要があるとの認識から、広報委員会を中心に「みなさまの保険情報」の購入勧奨を行ってきた。しかしながら、2026年 1 月末時点の利用状況は、356会員39,170部(前年度末 379会員43,085部)にとどまっている。この情報誌の存在・活用方法を浸透させるとともに内容改編についても検討が必要である。

VIII. 代協会員への経営支援・情報の提供

(1)代理店経営支援策の検討・提供

・2019 年 7 月開設の「代理店経営サポートデスク」(岸 哲朗室長)に寄せられた相談は、単年度 53 件(相談内訳:事業承継 13 件、代理店 BCP・事業継続力強化計画 3 件、労務管理 9 件、代理店経営全般 7 件、体制整備等 16 件、その他 5 件)、累計総件数は 418 件となった(注:累計内訳 事業承継 91 件、代理店 BCP・事業継続力強化計画 94 件、労務管理 63 件、代理店経営全般 73 件、体制整備等 51 件、その他 46 件)

・本年度サポートデスク利用率向上のために、Google フォームによるメール受付の利便性向上、代協ニュースへのサポートデスク取り組み内容情宣を行い、サポートデスクの存在周知に取組んだ。

(2)代理店経営サポートデスクによる支援メニューの提供・展開

1)代理店経営サポートデスクの周知

2025年4月に前任の粕谷室長から岸室長に交替したことを踏まえ、日本代協ニュースに毎回代理店経営サポートデスクを紹介するコーナーを設ける等、代理店経営サポートデスクの一層の周知を図った。今年度の相談件数は53件と前年度の46件を上回り、所期の目的は達成できたものと思料する。

2)「代理店経営未来塾」

保険や保険募集に関する勉強とは異なる代理店経営のセオリーを学ぶ「代理店経営未来塾」については、第4期のフォローアップとしてのサマースクール(リアル任意参加)を8月に開講し、11月からは第5期として開講し、12名が受講した。企業経営の基本的なフレームワークを学ぶ特別講座として6セッションに分かれた内容について毎回真剣な取組となっている。

3)「保険代理店とSDGsへの取り組み」

CSR委員会での勉強会において、「SDGsと保険代理店とは？(代協CSR活動から考える保険代理店のSDGs戦略)」セミナーを実施、各会員がチェックシート入力で簡単にSDGs取組み状況診断とSDGs取組宣言書が作成できるツールを作成(会員書庫・代理店経営サポートデスク支援ツールに収納)、会員のCSR活動参加とSDGsを活用した経営戦略、企業イメージ向上のための支援を行った。

(3)情報提供の推進

業界を巡る環境変化の激しさの中で、重大な問題が日々展開しており、本会の意見、取り組み内容等を従来以上にタイムリーに会員に情宣している。配信文書は原則A4・1枚とし、冒頭にポイントを明示し、簡潔に伝えることに努めた。

1)「日本代協ニュース」

・紙面を刷新し、10月より発行を開始した(10月・1月4月)。紙面の情報として「業界の方向性」「自社に役立つ」「地域情報の共有」の3つを掲げ、それぞれの紙面作成を持続させる土台を築いた。

2) タイムリーな情報提供の実施

・全役員(経由各代協会員)、委員会委員に直ちに伝達すべき情報については、ビジネスチャット direct を活用して適宜情報提供を実施した。

3)「代協活動の現状と課題」(冊子)

・「代協活動の現状と課題」は代協会員の必携であり、日本代協ホームページにデジタルブック版・PDF版を掲載し、活動の透明性を図っている。

IX. コンベンション

7月の理事会において、リアル集合形式での式典・分科会および懇親会を開催することを決議した「第14回日本代協コンベンション」は、総勢426名がリアル参加し、成功裏に開催することができた。

・テーマ:「人と地域を支える代理店の未来地図」

・基調講演の参加者からは、高い評価をいただいた。また、コンベンション全体を通して参加者から、高い評価をいただき、所定の目的を達成したと考える。

・コンベンションの内容

<第一部> 式典・功労者表彰・基調講演

11/7(金) グランドニッコー東京 台場

主催者挨拶:小田島綾子会長、ご来賓祝辞:金剛庁白藤文祐室長、大知久一損保協会専務理事

功労者表彰:表彰者8名を表彰、受賞者代表ご挨拶:黒石 光壽氏

パネルディスカッション:

「顧客からの信頼を守り続けるために“量より質”で切り拓くこれからの代理店ビジネス」

パネラー: 錦野 裕宗 様(日本代協監事・中央総合法律事務所 弁護士) 金澤 亨(日本代協専務理事)

ファシリテーター: 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 理事・広報委員長 大和 親英

基調講演: 「ほんまもんのサービスはこれや！」

講師: 平田 進也氏 おもしろ旅企画 ヒラタ屋 代表

<第二部> 分科会

11/8(土) 損保会館、ベルサール神田にて 4 ゼミを開催

分科会①: 『損保業界における“真の”顧客本位の業務運営の実現に向けて

～保険業法改正と最善利益勘案義務を企業価値向上につなげる～』

吉田 桂公 氏 (のぞみ総合法律事務所 弁護士・日本代協アドバイザー)

分科会②: 『なぜ口下手・あがり症の私がトップ営業になれたのか？

～お客様との信頼関係をつくるコツ～』

渡瀬 謙氏 (サイレントセールストレーナー/有限会社ピクトワークス 代表取締役)

分科会③: 『SWG時代における損害保険代理店の未来戦略

—保険業法改正を踏まえた“あるべき姿”のデザイン』

中島 達朗 氏(株式会社 Furusapo 代表取締役)

分科会④: 『地域密着型代理店の「SDGs」と「女性活躍推進」とその 1000 日間』

今林 砂緒里氏 株式会社KIC[キック] 代表取締役 (広島県代協会員)

・2026 年度第 15 回コンベンションの開催プランの検討

11 月 13(金)と 14 日(土)を予定している。

11 月 13 日グランドニッコー東京 台場、11 月 14 日損保会館等にて開催すべく会場を確保している。

X. 法人運営

(1)一般社団法人としての体制整備と運営

- ・2013 年 4 月 1 日以降、一般社団法人となり、新たな定款、諸規則に沿った組織運営を行った。
- ・重要事項に関しては、各委員会経由に留まることなく、直接各代協会長、事務局への伝達を実施した。同時に各委員会委員との共有や認識状況の把握を行うよう取り組んだ。
- ・会長懇談会では、一方的な情報提供を避け、ブレイクアウトルームを活用した分散会運営や意見交換をメインとする運営を心掛けた。
- ・会議等の資料は、Web 配信(メール、direct)を行い、大幅な資料削減を行った。また、Vimeo や YouTube を利用して動画を提供した。
- ・100 万円以上の案件は、原則として BID を実施している。
- ・日本代協アドバイザー3月末の布陣
栗山泰史氏、中崎章夫氏、日本創倫(株)(山本秀樹氏、風間利也氏)、David N Blaksley 氏、錦野裕宗氏、岩崎邦彦氏、望月広愛氏、土川尚己氏、吉田桂公氏、牧野 司氏、成島康宏氏、滝澤清隆氏

以上

付1.諸会議と諸問題の処理経過

| | | | | |
|---|---|---|-------|--------------------------------------|
| 1 | 総会 | 2025年度 通常総会 2025.6.13 リアル集合形式 | 第1号議案 | 2024年度(第61期)事業報告案承認の件 |
| | | | 第2号議案 | 2024年度(第61期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件 |
| | | 2025年度 臨時総会 2026.3.13 リアル集合形式 | 第1号議案 | 2026年度(第63期)事業計画案承認の件 |
| | | | 第2号議案 | 2026年度(第63期)正会員会費額案承認の件 |
| | | | 第3号議案 | 2026年度(第63期)収支予算案承認の件 |
| | | 2 | 理事会 | 第1回 2025.5.12 リアル参加17名 |
| 2.各委員会答申 | | | | |
| 3.第14回日本代協コンベンションPTの活動開始 | | | | |
| 4.2024年度日本代協特別賞の選定 | | | | |
| 5.2024年度の取組みに対する表彰 | | | | |
| 6.CSR委員会委員の交代 | | | | |
| [報告事項] | 1.事業計画進捗状況 | | | |
| | 2.2025年度の取組項目の目標値 | | | |
| | 3.監事会実施報告 | | | |
| | 4.前回の理事会(2/7)以降の主な報告 | | | |
| | (1)仲間づくり推進 (2)損害保険大学課程各コースの認定状況等 (3)日本代協アカデミー 監事講評 | | | |
| | | | | |
| 第2回 2025.7.11 ZOOM会議 参加17名 | [審議事項] | | | 1. 功労者表彰選考基準について |
| | | | | 2. 表彰者選考会議構成員の委嘱 |
| | | | | 3. 募集規範の修正 |
| | [報告事項] | 1.事業計画進捗状況 | | |
| | | 2.各代協総会の運営について | | |
| | | 3.前回理事会(5/12)以降の主な報告 | | |
| | 4.魅力研について | | | |
| | 5.活力研について | | | |
| | 6.PR企画について 監事講評 | | | |
| 第3回 2025.9.18 リアル参加17名 | [審議事項] | 1.功労者表彰選考基準について | | |
| | | 2.2026年度コンサルティングコース受講者募集のブロック別目標数 | | |
| | | 3.募集規範の改訂 | | |
| | [報告事項] | 1.事業計画進捗状況 | | |
| | | 2.前回理事会以降の主な業務報告 | | |
| | | (1)仲間づくり推進 (2)損害保険大学課程各コースの認定状況等 (3)日本代協アカデミー | | |
| | | 3.コンベンション企画 | | |
| | | 4.活力研実施報告 | | |
| | | 5.代理店賠償更新状況について | | |
| | | 6.財務委員会報告 | | |
| | | 7.JCMキャンペーン案 | | |
| | | 8.その他 | | |
| (1)2026年度事業計画に対する提言提出依頼について (2)「代理店経営未来塾」第5期受講申込みについて (3)業界関連情報について 監事講評 | | | | |
| [審議事項] | 1.日本代協コンベンションの運営について | | | |
| | 2.2024年度コンサルティングコース受講者募集のブロック別目標数 | | | |
| | 3.委員会委員の変更について | | | |
| | 1.事業計画進捗状況 | | | |
| | 2.前回理事会(9/18)以降の主な業務報告 | | | |
| | (1)定期報告①仲間づくり推進 ②損害保険大学課程各コースの認定状況等 ③日本代協アカデミー | | | |

| | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--|
| 2 | 理事会 | 第4回 2025.10.10 リアル参加17名 | 〔報告事項〕 | 3.2025年度「代理店賠償 日本代協新プラン」更改結果について |
| | | | | 4.業界関連情報 |
| | | | | 5.その他 |
| | | | | (1)自己点検チェックについて |
| | | | | (2)会員資格について |
| | | | | (3)2025年度第2回全国会長懇談会(12/6開催)について |
| | | | | (4)2026年度日本代協 主要スケジュールの策定について |
| | | | | (5)第11回損害保険鑑定フォーラム(主催:日本損害保険鑑定協会、後援:日本代協) 監事講評 |
| | | 第5回 2025.12.4 リアル参加17名 | 〔審議事項〕 | 1.2026年度日本代協事業計画案の検討(各代協・ブロックからの提言) |
| | | | | 2.2026年度「仲間づくり推進」入会目標ガイドライン |
| | | | | 3.日本代協アカデミーへの代協独自コンテンツ継続的投入について |
| | | | | 4.費用改定について |
| | | 第6回 2026.2.6 リアル参加16名 Zoom参加1名 | 〔報告事項〕 | 1.第14回日本代協コンベンションの開催報告及び26年度開催日について |
| | | | | 2.事業計画進捗状況 |
| | | | | 3.前回理事会10/10以降の主な業務報告 ①仲間づくり推進 ②損害保険大学課程各コースの認定状況等 ③日本代協アカデミー |
| | | | | 4.2025年度日本代協特別賞について |
| | | | | 5.2025年度 第2回活力研開催について |
| | | | | 6.会員資格の検討の進め方について |
| | | | | 監事講評 |
| | | | | 〔審議事項〕 |
| 2.26年度三冠王および27年度以降の表彰制度について | | | | |
| 3.代理店Web監査システム利用許諾契約について | | | | |
| 第7回 2025.2.18 書面開催 | 〔報告事項〕 | 1.事業計画進捗状況 | | |
| | | 2.監事報告 | | |
| | | 3.前回の理事会(12/4)以降の主な報告 ①仲間づくり推進 ②損害保険大学課程各コースの認定状況等 ③日本代協アカデミー | | |
| | | 4.業界関連情報について | | |
| | | 5.第15回コンベンション企画案について | | |
| | | 6.26年度都道府県代協会長、委員会委員の改選等について | | |
| | | 監事講評 | | |
| 〔審議事項〕 | 1.資格審査委員会設置の件 (1)役員の定数を決定する件 (2)定款第7条の規定に基づき、資格審査委員会を設置する件 (3)別紙のとおり資格審査委員を選任する件 (4)別紙のとおり審査日程を承認する件 (5)定款第7条第2項に定める設置時期に関する決議の遅れについて、これを追認し、正式に設置する件 | | | |
| 第8回 2025.3.12 リアル参加17名 | 〔報告事項〕 | なし | | |
| | | 1.事業計画進捗状況 | | |
| | | 2.前回の理事会(2/7)以降の主な報告 ①仲間づくり推進 ②損害保険大学課程各コースの認定状況等 ③日本代協アカデミー | | |
| | | 3.2025年度第2回 活力研報告について | | |
| | | 4.防災経済コンソーシアムについて | | |
| | | 5.魅力研について | | |
| | | 6.2025年度臨時総会及び一連の会議体についての最終確認 監事講評 | | |
| 3 | 正副会長打合せ | | ① 4.22 ② 5.26 ③ 6.12 ④ 8.26 ⑤ 9.24 ⑥ 11.18 ⑦ 1.20 ⑧ 2.19 | |
| 4 | 正副会長と理事との打合せ | | 6月、9月、12月、3月の会長懇談会前日、6/13新体制理事打合せ、委員長理事との諮問事項打合せ 12.5 次年度諮問・推進事項等の打合せ | |
| 5 | 業務監査・ 経理監査 | ① 5.8 ② 12.16 | ①津田監事、錦野監事、あると築地監査法人 佐藤公認会計士他 ②津田監事、錦野監事、あると築地監査法人 佐藤公認会計士他 | |

| | | | |
|--------|--------------------|--|--|
| 6 | 委員会 | | 2024年度 各委員会への諮問・推進事項等 |
| 6 ① | 企画環境委員会 | 第1回 4.8 第2回 6.23 第3回 10.27 第4回 1.13 | 1.代理店の価値向上策の定着と積極的な推進 2.募集現場の実態のモニタリングと対応策の実施 (顧客本位の業務運営の妨げになると思われる事案も含めて) |
| 6 ② | 教育委員会 | 第1回 4.25 第2回 7.25 第3回 10.24 第4回 1.23 | 1.日本代協アカデミーの展開 2.損害保険大学課程の運営・検証・改善 |
| | | テキストカリキュラムPT | directチャット・WEB会議にて実施 |
| | | アカデミー推進PT | directチャット・WEB会議にて実施 |
| | | アカデミーコンテンツPT | directチャット・WEB会議にて実施 |
| | 合同運営会議 | | ① 5.16 ② 8.22 ③ 11.26 ④ 2.13 |
| 6 ③ | 組織委員会 | 第1回 4.18 第2回 7.4 第3回 9.6 第4回 11.5 第5回 1.21 | 1.ブロック・代協・支部の強化 2.「仲間づくり(会員増強)」の推進(目標331店) 3.代理店賠償の推進 |
| 6 ④ | CSR委員会 | 第1回 4.17 第2回 6.20 第3回 9.3 第4回 9.16 第5回 1.16 | 1.実効性のある「ぼうさい探検隊」の積極推進 2.継続活動のさらなる活性化および情宣効果向上に向けた検討 3.防災・減災・防犯の具体的取り組みの定着と更なる推進 4.SDGs17の目標選定と宣言及び活動の実施 |
| 6 ⑤ | 広報委員会 | 第1回 4.11 第2回 6.17 第3回 9.10 第4回 1.20 全国一斉会議 8.25 | 1.会員への情報伝達力向上に向けた具体策として、「日本代協ニュース」を改編し、会員のニーズに答える情報提供を行う。 2.会員が情報を得やすいようなホームページへの改編を検討する。 3.代協の魅力を伝えるために、パンフレット「日本代協は、こんな活動をしています」のデザインと内容の見直しを行う。 |
| | | 相談件数:2019.7月創設 2022年度 47件 2023年度 55件 2024年度 46件 2025年度 53件 (累計 418件) | 1.直接相談の拡充(サポートデスク利用率向上のためのメール受付の利便性向上、代協ニュースへのサポートデスク取り組み内容の情宣) 2.「代理店経営未来塾」の運営 3.代理店経営支援策・ツールの開発・提供 4.保険代理店とSDGsへの取り組み支援 |
| | | コンベンションPT ① 4.10 ⑤ 9.24 ② 5.19 ⑥ 10.15 ③ 6.18 ⑦ 10.30 ④ 7.18 ⑧ 1.22 | ・2025年度第14回日本代協コンベンションの企画検討、運営 |
| 6 | 財務委員会 | ①5.14 ②8.6 ③2.6 | ・各事業見直し提言 ・決算見込みと予算案の検討 |
| 7 | 代理店賠償審査会 | | 2025.8.5 開催 |
| 8 | 拡大経営品質向上委員会 | | 2026.3.13 開催(全国会長懇談会において) |
| 9 | 金融庁との意見交換 | ・11月7日 金融庁白藤室長 日本代協コンベンション式典 ご来賓挨拶 ・3月13日 金融庁下井保険課長と47代協会長との意見交換会リアル対面形式開催(損保会館2F会議室) ※挨拶訪問、個別情報交換訪問の他、電話、メールでの折衝は随時実施 各代協会長との意見交換会準備に関する打合せ、税制改正要望報告、活力研運営報告、「代協活動の現状と課題」報告、代理店問題打合せ、日本代協コンベンション登壇に関する打合せ、顧客本位の業務運営・業務品質評価に関する打合せ、損保各社の手数料体系一覧比較に関する打合せ、災害に便乗した悪質な業者対策情報連携 等 | |
| 10 | 損保協会役員と正副会長懇談 | | 2025.9.18 |
| 11 | 損保会社代理店業務担当部長との懇談会 | | 中止 |
| 12 | 活力ある代理店制度等研究会 | 第1回 ①2025.7.30 ②2025.7.31 個別開催 | 下記の2テーマについて議論を進め、情報を共有した。 ①自己点検チェックシートの取組について ②各社が求める品質基準について 第1回に続き、全社集合での開催は行わず、各社2時間ずつの意見交換となった。 |
| | | 第2回 ①2026.3.2 ②2026.3.3 個別開催 | 下記の2テーマについて議論を進め、情報を共有した。 ①自己点検チェックシートの取組について ②2007代理店手数料体系について 第1回に続き、全社集合での開催は行わず、各社2時間ずつの意見交換となった。 |

付2. 表彰

・2025年度の表彰については、2026年6月の会長懇談会において実施する。

付3. 機構および規則等の変更

1. 機構の変更

山梨県代協 2025年5月29日～ 県央、県西支部を国中支部に統合

付4. 特別会員の異動

・なし

付5. 役員の異動

・なし

付6. 2025 年度中における代協正会員の異動状況

正会員の異動が次の通りあった。

2026年3月31日現在（単位：店）

| 代 協 | 2026. 3. 31 正会員数 | 2025. 3. 31 正会員数 | 増減 | 代 協 | 2026. 3. 31 正会員数 | 2025. 3. 31 正会員数 | 増減 |
|----------|---------------------|---------------------|------|----------|---------------------|---------------------|-------|
| 北 海 道 | 552 | 545 | 7 | 滋 賀 | 134 | 134 | 0 |
| 北海道ブロック計 | 552 | 545 | 7 | 京 都 | 296 | 314 | △ 18 |
| 青 森 | 133 | 136 | △ 3 | 奈 良 | 134 | 129 | 5 |
| 岩 手 | 110 | 115 | △ 5 | 近畿ブロック計 | 564 | 577 | △ 13 |
| 秋 田 | 81 | 85 | △ 4 | 大 阪 | 789 | 817 | △ 28 |
| 北東北ブロック計 | 324 | 336 | △ 12 | 兵 庫 | 316 | 310 | 6 |
| 宮 城 | 207 | 205 | 2 | 和 歌 山 | 156 | 155 | 1 |
| 山 形 | 144 | 143 | 1 | 阪神ブロック計 | 1,261 | 1,282 | △ 21 |
| 福 島 | 212 | 221 | △ 9 | 岡 山 | 260 | 276 | △ 16 |
| 南東北ブロック計 | 563 | 569 | △ 6 | 鳥 取 | 86 | 85 | 1 |
| 新 潟 | 190 | 191 | △ 1 | 島 根 | 39 | 37 | 2 |
| 長 野 | 200 | 207 | △ 7 | 東中国ブロック計 | 385 | 398 | △ 13 |
| 群 馬 | 184 | 189 | △ 5 | 広 島 | 198 | 204 | △ 6 |
| 上信越ブロック計 | 574 | 587 | △ 13 | 山 口 | 152 | 154 | △ 2 |
| 栃 木 | 156 | 146 | 10 | 西中国ブロック計 | 350 | 358 | △ 8 |
| 茨 城 | 196 | 189 | 7 | 徳 島 | 102 | 108 | △ 6 |
| 埼 玉 | 357 | 348 | 9 | 香 川 | 126 | 129 | △ 3 |
| 千 葉 | 344 | 351 | △ 7 | 愛 媛 | 134 | 132 | 2 |
| 東関東ブロック計 | 1,053 | 1,034 | 19 | 高 知 | 84 | 87 | △ 3 |
| 神 奈 川 | 444 | 445 | △ 1 | 四国ブロック計 | 446 | 456 | △ 10 |
| 山 梨 | 109 | 123 | △ 14 | 福 岡 | 498 | 520 | △ 22 |
| 南関東ブロック計 | 553 | 568 | △ 15 | 大 分 | 113 | 113 | 0 |
| 東 京 | 850 | 844 | 6 | 佐 賀 | 81 | 81 | 0 |
| 東京ブロック計 | 850 | 844 | 6 | 長 崎 | 138 | 145 | △ 7 |
| 静 岡 | 286 | 285 | 1 | 九州北ブロック計 | 830 | 859 | △ 29 |
| 愛 知 | 468 | 475 | △ 7 | 宮 崎 | 126 | 132 | △ 6 |
| 岐 阜 | 218 | 218 | 0 | 熊 本 | 211 | 215 | △ 4 |
| 三 重 | 233 | 229 | 4 | 鹿 児 島 | 156 | 163 | △ 7 |
| 東海ブロック計 | 1,205 | 1,207 | △ 2 | 沖 縄 | 164 | 168 | △ 4 |
| 富 山 | 102 | 105 | △ 3 | 九州南ブロック計 | 657 | 678 | △ 21 |
| 石 川 | 146 | 153 | △ 7 | 全国計 | 10,545 | 10,683 | △ 138 |
| 福 井 | 130 | 127 | 3 | | | | |
| 北陸ブロック計 | 378 | 385 | △ 7 | | | | |

注：△は、対前年度減少を示す

以上

Ⅱ. 2025年度(第62期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録

2025年度 (第62期)

貸借対照表

2026年03月31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| (1) 現金預金 | | | |
| 現金 | 31,243 | 31,643 | △ 400 |
| 普通預金 | 97,666,043 | 92,202,555 | 5,463,488 |
| 通常貯金 | 9,912,614 | 11,205,010 | △ 1,292,396 |
| 現金預金合計 | 107,609,900 | 103,439,208 | 4,170,692 |
| (2) その他流動資産 | | | |
| 未収金 | 6,447,272 | 5,477,204 | 970,068 |
| 前払金 | 2,712,160 | 2,519,660 | 192,500 |
| 貯蔵品 | 1,180,910 | 551,800 | 629,110 |
| その他流動資産合計 | 10,340,342 | 8,548,664 | 1,791,678 |
| 流動資産合計 | 117,950,242 | 111,987,872 | 5,962,370 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) その他固定資産 | | | |
| 建物 | 11,730,396 | 12,698,069 | △ 967,673 |
| 什器備品 | 4,316,658 | 5,784,207 | △ 1,467,549 |
| 敷金・保証金 | 27,487,200 | 27,487,200 | 0 |
| 投資有価証券 | 69,985,330 | 73,308,255 | △ 3,322,925 |
| 商標権 | 0 | 54,000 | △ 54,000 |
| その他固定資産合計 | 113,519,584 | 119,331,731 | △ 5,812,147 |
| 固定資産合計 | 113,519,584 | 119,331,731 | △ 5,812,147 |
| 資産合計 | 231,469,826 | 231,319,603 | 150,223 |
| Ⅱ 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 6,284,646 | 5,805,186 | 479,460 |
| 未払法人税等 | 70,000 | 70,000 | 0 |
| 未払消費税等 | 1,475,600 | 1,515,700 | △ 40,100 |
| 前受金 | 1,978,285 | 631,806 | 1,346,479 |
| 預り金 | 1,506,819 | 793,115 | 713,704 |
| 賞与引当金 | 2,821,500 | 2,806,500 | 15,000 |
| 流動負債合計 | 14,136,850 | 11,622,307 | 2,514,543 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 11,013,750 | 9,110,000 | 1,903,750 |
| 資産除去債務 | 5,543,480 | 5,478,504 | 64,976 |
| 固定負債合計 | 16,557,230 | 14,588,504 | 1,968,726 |
| 負債合計 | 30,694,080 | 26,210,811 | 4,483,269 |
| Ⅲ 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| 正味財産合計 | 200,775,746 | 205,108,792 | △ 4,333,046 |
| 負債及び正味財産合計 | 231,469,826 | 231,319,603 | 150,223 |

2025年度（第62期）

正味財産増減計算書

2025年04月01日から2026年03月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 受取会費 | | | |
| 正会員受取会費 | 106,280,000 | 106,820,000 | △ 540,000 |
| 特別会員受取会費 | 63,400,000 | 63,400,000 | 0 |
| 賛助会員受取会費 | 200,000 | 200,000 | 0 |
| 受取会費計 | 169,880,000 | 170,420,000 | △ 540,000 |
| 事業収益 | | | |
| 損保大学課程受託料 | 103,838,178 | 94,549,406 | 9,288,772 |
| 集金事務収益 | 13,986,258 | 13,366,716 | 619,542 |
| 事業収益計 | 117,824,436 | 107,916,122 | 9,908,314 |
| 雑収益 | | | |
| 受取利息 | 175,604 | 34,296 | 141,308 |
| 有価証券運用益 | 693,924 | 693,924 | 0 |
| 雑収益計 | 869,528 | 728,220 | 141,308 |
| 経常収益計 | 288,573,964 | 279,064,342 | 9,509,622 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | | | |
| 給与手当 | 27,245,268 | 28,637,518 | △ 1,392,250 |
| 賞与引当金繰入額 | 1,932,729 | 2,043,134 | △ 110,405 |
| 退職給付費用 | 1,378,317 | 1,381,850 | △ 3,533 |
| 法定福利費 | 3,716,263 | 4,187,175 | △ 470,912 |
| 福利厚生費 | 1,510,234 | 1,478,712 | 31,522 |
| 教育研修費 | 12,012,165 | 13,064,566 | △ 1,052,401 |
| 損保大学課程運営費 | 96,959,405 | 88,493,293 | 8,466,112 |
| 委員会費 | 7,151,040 | 9,463,451 | △ 2,312,411 |
| 研究会費 | 515,919 | 552,245 | △ 36,326 |
| 会議費 | 6,028,326 | 6,233,549 | △ 205,223 |
| コンベンション費 | 15,668,735 | 14,942,690 | 726,045 |
| 機関紙費 | 85,398 | 218,156 | △ 132,758 |
| ブロック対策費 | 20,252,033 | 19,034,792 | 1,217,241 |
| 組織対策費 | 12,541,489 | 17,415,912 | △ 4,874,423 |
| 事業対策費 | 13,427,039 | 9,822,847 | 3,604,192 |
| 通信費 | 901,477 | 1,250,519 | △ 349,042 |
| 印刷費 | 291,767 | 500,096 | △ 208,329 |
| 旅費交通費 | 493,698 | 193,726 | 299,972 |
| 渉外費 | 316,360 | 440,730 | △ 124,370 |
| 図書費 | 170,442 | 274,223 | △ 103,781 |
| 事務機費 | 5,257,099 | 5,547,926 | △ 290,827 |
| 借室費 | 20,193,744 | 21,461,382 | △ 1,267,638 |
| 光熱費 | 195,719 | 196,933 | △ 1,214 |
| 消耗品費 | 31,889 | 59,921 | △ 28,032 |
| 租税公課 | 1,782,714 | 1,640,986 | 141,728 |
| 建物減価償却費 | 662,855 | 704,466 | △ 41,611 |
| 什器備品減価償却費 | 1,005,272 | 1,434,919 | △ 429,647 |
| 雑費 | 743,279 | 2,143,139 | △ 1,399,860 |
| 事業費計 | 252,470,675 | 252,818,856 | △ 348,181 |
| 管理費 | | | |
| 役員報酬 | 720,000 | — | 720,000 |
| 給与手当 | 12,528,843 | 10,699,732 | 1,829,111 |
| 賞与引当金繰入額 | 888,771 | 763,366 | 125,405 |
| 退職給付費用 | 525,433 | 524,150 | 1,283 |
| 法定福利費 | 1,708,940 | 1,564,437 | 144,503 |
| 福利厚生費 | 694,487 | 552,484 | 142,003 |

| | | | |
|-----------------|-------------|--------------|--------------|
| 総会費 | 471,200 | 482,920 | △ 11,720 |
| 理事会費 | 2,540,602 | 3,499,031 | △ 958,429 |
| 通信費 | 414,547 | 467,229 | △ 52,682 |
| 印刷費 | 134,170 | 186,848 | △ 52,678 |
| 図書費 | 78,378 | 102,457 | △ 24,079 |
| 事務機費 | 2,417,494 | 2,072,852 | 344,642 |
| 借室費 | 9,286,175 | 8,018,538 | 1,267,637 |
| 光熱費 | 90,003 | 73,580 | 16,423 |
| 消耗品費 | 14,665 | 22,390 | △ 7,725 |
| 支払報酬 | 1,774,250 | 1,731,620 | 42,630 |
| 租税公課 | 1,716,558 | 938,686 | 777,872 |
| 建物減価償却費 | 304,818 | 263,207 | 41,611 |
| 什器備品減価償却費 | 462,277 | 536,122 | △ 73,845 |
| 雑費 | 341,799 | 800,731 | △ 458,932 |
| 管理費計 | 37,113,410 | 33,300,380 | 3,813,030 |
| 経常費用計 | 289,584,085 | 286,119,236 | 3,464,849 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 1,010,121 | △ 7,054,894 | 6,044,773 |
| 投資有価証券評価損 | △ 3,322,925 | △ 3,187,666 | △ 135,259 |
| 当期経常増減額 | △ 4,333,046 | △ 10,242,560 | 5,909,514 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 4,333,046 | △ 10,242,560 | 5,909,514 |
| 一般正味財産期首残高 | 205,108,792 | 215,351,352 | △ 10,242,560 |
| 一般正味財産期末残高 | 200,775,746 | 205,108,792 | △ 4,333,046 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | |
| III 正味財産期末残高 | 200,775,746 | 205,108,792 | △ 4,333,046 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

- ・時価のあるもの：期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算出）によっている。
- ・時価のないもの：移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物：定額法によっている。

什器備品：定率法によっている。

無形固定資産

ソフトウェア：定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金：職員等に対する賞与の支給に備えるため、当期に負担すべき支給見込額を計上している。

退職給付引当金：職員の退職給付に充てるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(4) リース取引の処理方法

- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が、借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|------|------------|-----------|------------|
| 建物 | 14,469,606 | 2,739,210 | 11,730,396 |
| 什器備品 | 9,843,059 | 5,526,401 | 4,316,658 |
| 商標権 | 540,000 | 540,000 | 0 |
| 合計 | 24,852,665 | 8,805,611 | 16,047,054 |

3. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳 (単位：円)

| | |
|-----------------|------------|
| ①退職給付債務 | 11,013,750 |
| ②会計基準変更時差異の未処理額 | — |
| ③退職給付引当金 (①+②) | 11,013,750 |

(3) 退職給付費用に関する事項 (単位：円)

| | |
|------------------|-----------|
| ①勤務費用 | 1,903,750 |
| ②会計基準変更時差異の費用処理額 | — |
| ③退職給付費用 (①+②) | 1,903,750 |

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

4. 資産除去債務

本会は、2023年5月29日に入居した新大手町ビル327区フロアにおいて、資産除去債務を計上している。資産除去債務の見積りにあたり、退去を予定していないため、その履行時期については建物附属設備の耐用年数15年、割引率は15年日本国債利率1.186%を採用している。

当事業年度における資産除去債務残高の推移は次のとおりである。

期首残高 5,478,504 円、当事業年度における資産除去債務期末残高は、期首残高と時の経過による資産除去債務の調整額 64,976 円の合計 5,543,480 円である。

5. 関連当事者との取引内容

該当なし

6. 重要な後発事象

該当なし

7. 会計基準の適用に関する事項

本会は、公益法人会計基準（令和6年改正）について、同基準に定める経過措置を適用しており、当事業年度の計算書類は従前の公益法人会計基準に基づいて作成している。当該経過措置により、新しい公益法人会計基準の適用は2028年4月1日以降開始する事業年度からとし、それまでの期間は従前の基準を継続適用することとしている。

附属明細書

1.基本財産及び特定資産の明細 該当なし

2. 引当金の明細

(単位:円)

| 科目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----|------------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 9,110,000 | 1,903,750 | | - | 11,013,750 |
| 賞与引当金 | 2,806,500 | 2,821,500 | 2,806,500 | - | 2,821,500 |

2025年度(第62期)
財 産 目 録
 2026年3月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 | |
|---|-------------|--------------------|-------------|------------|
| (流動資産) | | | | |
| 現金預金 | 現金 | 小口現金として | 31,243 | |
| | 普通預金 | | 97,666,043 | |
| | 一般 | みずほ銀行銀座支店 | 97,666,043 | |
| | 通常貯金 | | 9,912,614 | |
| | 一般 | ゆうちょ銀行 | 9,912,614 | |
| 現金預金合計 | | | 107,609,900 | |
| その他 | 未収金 | 日本損害保険協会 | 6,447,272 | |
| | 前払金 | 三菱地所、他 | 2,712,160 | |
| | 貯蔵品 | | 1,180,910 | |
| | 名刺 | 代協名刺台紙 | 621,340 | |
| | バッジ | 代協バッジ | 559,570 | |
| その他流動資産合計 | | | 10,340,342 | |
| 流動資産合計 | | | 117,950,242 | |
| (固定資産) | | | | |
| 基本財産合計 | | | - | |
| 特定資産合計 | | | - | |
| その他 固定資産 | 建物 | 間仕切り、電気設備等工事費 | 11,730,396 | |
| | 什器備品 | 什器、サーバーラック、他 | 4,316,658 | |
| | 敷金・保証金 | 三菱地所 | 27,487,200 | |
| | 投資有価証券 | 大和証券 円ハイブリッド債券F | 運転資金ファンドとして | 60,210,850 |
| | | みずほ証券 利付国債(40年) | 運転資金ファンドとして | 9,744,480 |
| その他固定資産合計 | | | 113,519,584 | |
| 固定資産合計 | | | 231,469,826 | |
| 資産合計 | | | | |
| (流動負債) | | | | |
| 未払金 未払法人税等 未払消費税等 前受金 預り金 源泉課税預り金 保険料預り金 その他預り金 受講料預り金 賞与引当金 | アグレックス社、他 | 損害保険大学課程運営費、他 | 6,284,646 | |
| | 法人住民税 | 法人住民税未払分 | 70,000 | |
| | 消費税 | 消費税未払分 | 1,475,600 | |
| | AIG損保、チャブ保険 | 特別会員会費 | 1,978,285 | |
| | 役職員、税理士 | 源泉所得税 | 1,506,819 | |
| | 加入者 | 代理店賠償責任保険料 | 193,883 | |
| | 役職員 | 社会保険料 | 1,435,000 | |
| | 日本損害保険協会 | 損害保険大学課程受講料 | 279,986 | |
| | 役職員 | 損害保険大学課程受講料 | △ 402,050 | |
| | 役職員 | 役職員6名に対する賞与の支払の備え | 2,821,500 | |
| 流動負債合計 | | | 14,136,850 | |
| 退職給付引当 資産除去債務 | 役職員 | 役職員6名に対する退職金の支払の備え | 11,013,750 | |
| | 新大手町ビル | 賃貸物件原状回復費用 | 5,543,480 | |
| 固定負債合計 | | | 16,557,230 | |
| 負債合計 | | | 30,694,080 | |
| 正味財産 | | | 200,775,746 | |

2026年5月8日

監査報告書

一般社団法人 日本損害保険代理業協会
会長 小田島 綾子 殿

監事 津田文雄 ㊟

監事 錦野裕宗 ㊟

一般社団法人日本損害保険代理業協会の2025年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

2025年度決算額

(単位:千円)

【参考】

| 勘定科目 | 2025年度 予算額 | 2025年度 決算額 | 対予算差額 決算-予算 | 2025年度 決算見込額 | 対見込差額 決算-見込 | 備考 |
|---------------------------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|--------|
| I 経常収益の部 | | | | | | |
| 正会員会費 | 106,800 | 106,280 | △520 | 106,280 | | |
| 特別会員会費 | 63,400 | 63,400 | | 63,400 | | |
| 賛助会員会費 | 200 | 200 | | 200 | | |
| 損保大学課程受託料 | 106,000 | 103,838 | △2,162 | 102,500 | 1,338 | |
| 集金事務費 | 13,400 | 13,986 | 586 | 13,900 | 86 | |
| 利息配当金収入 | | 176 | 176 | 150 | 26 | |
| 投資有価証券運用益 | 700 | 694 | △6 | 700 | △6 | |
| 雑収益 | | | | | | |
| 当期経常収益合計(A) | 290,500 | 288,574 | △1,926 | 287,130 | 1,444 | |
| II 経常費用の部 | | | | | | |
| 役員報酬 | 700 | 720 | 20 | 720 | | |
| 給料手当 | 43,000 | 39,774 | △3,226 | 39,380 | 394 | |
| 賞与引当金繰入額 | 2,800 | 2,822 | 22 | 2,820 | 2 | |
| 退職金 | 2,000 | 1,904 | △96 | 1,900 | 4 | |
| 法定福利費 | 6,200 | 5,425 | △775 | 5,400 | 25 | |
| 福利厚生費 | 2,600 | 2,205 | △395 | 2,270 | △65 | |
| 教育研修費 | 14,500 | 12,012 | △2,488 | 12,500 | △488 | |
| 損保大学課程運営費 | 102,000 | 96,959 | △5,041 | 98,000 | △1,041 | |
| 委員会費 | 8,600 | 7,151 | △1,449 | 7,410 | △259 | |
| 研究会費 | 1,100 | 516 | △584 | 700 | △184 | |
| 会議費 | 7,400 | 6,028 | △1,372 | 6,520 | △492 | |
| 総会費 | 700 | 471 | △229 | 500 | △29 | |
| コンベンション費 | 15,800 | 15,669 | △131 | 15,750 | △81 | |
| 理事会費 | 3,700 | 2,541 | △1,159 | 2,950 | △409 | |
| 機関紙費 | 300 | 85 | △215 | 150 | △65 | |
| ブロック対策費 | 21,400 | 20,252 | △1,148 | 21,400 | △1,148 | |
| 組織対策費 | 15,000 | 12,541 | △2,459 | 13,120 | △579 | |
| 事業対策費 | 15,000 | 13,427 | △1,573 | 13,760 | △333 | |
| 通信費 | 1,800 | 1,316 | △484 | 1,330 | △14 | |
| 印刷費 | 900 | 426 | △474 | 520 | △94 | |
| 旅費交通費 | 500 | 494 | △6 | 500 | △6 | |
| 渉外費 | 800 | 316 | △484 | 460 | △144 | |
| 図書費 | 400 | 249 | △151 | 300 | △51 | |
| 事務器費 | 11,700 | 7,675 | △4,025 | 7,860 | △185 | |
| 借室費 | 29,600 | 29,480 | △120 | 29,480 | | |
| 光熱費 | 400 | 286 | △114 | 300 | △14 | |
| 消耗品費 | 200 | 47 | △153 | 100 | △53 | |
| 支払報酬 | 1,900 | 1,774 | △126 | 1,800 | △26 | |
| 租税公課 | 3,700 | 3,499 | △201 | 4,200 | △701 | |
| 建物減価償却費 | 1,100 | 968 | △132 | 970 | △2 | |
| 什器備品減価償却費 | 2,000 | 1,468 | △532 | 1,470 | △2 | |
| ソフトウェア減価償却費 | | | | | | |
| 投資有価証券約束手数料 | | | | | | |
| 支払寄付金 | | | | | | |
| 雑費 | 2,700 | 1,085 | △1,615 | 1,200 | △115 | |
| 当期経常費用合計(B) | 320,500 | 289,584 | △30,916 | 295,740 | △6,156 | |
| 投資有価証券評価損(C) | | 3,323 | 3,323 | 2,400 | 923 | 国債価額下落 |
| 当期経常増減額(A)-(B)-(C) | △30,000 | △4,333 | 25,667 | △11,010 | 6,677 | |
| III 経常外費用の部 | | | | | | |
| 投資有価証券売却損 | | | | | | |
| 固定資産除去損 | | | | | | |
| 当期経常外費用合計(D) | | | | | | |
| 当期正味財産増減額(A)-(B)-(C)-(D) | △30,000 | △4,333 | 25,667 | △11,010 | 6,677 | |
| 正味財産期首残高 | 205,109 | 205,109 | | 205,109 | | |
| 正味財産期末残高 | 175,109 | 200,776 | 25,667 | 194,099 | 6,677 | |

以上の通り報告いたします。

2026年6月11日

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

| | |
|---------|-------|
| 理事(会長) | 小田島綾子 |
| 理事(副会長) | 小俣 藤夫 |
| 理事(副会長) | 中島 克 |
| 理事(副会長) | 山中 尚 |
| 理事 | 佐々木雅之 |
| 理事 | 雨宮 豊 |
| 理事 | 石川 英幸 |
| 理事 | 小橋 信彦 |
| 理事 | 三好 亘 |
| 理事 | 郡 英宏 |
| 理事 | 松本 一成 |
| 理事 | 雨宮新一郎 |
| 理事 | 藤山 裕介 |
| 理事 | 植村 敬子 |
| 理事 | 大和 親英 |
| 理事 | 金澤 亨 |
| 理事 | 坂 雅夫 |
| 監事 | 津田 文雄 |
| 監事 | 錦野 裕宗 |

以上

1. 日 時 : 2026年6月11日(金)13時00分～13時55分
2. 場 所 : 損保会館2F大会議室
東京都千代田区神田淡路町2-9
3. 出席会員数 : 会員61名(以上は、総会員数61名に対し、2分の1以上である。)

(1)出席者内訳

会場出席者数 47名
代理人による出席者数 0名
書面による出席者数 14名

(2)出席理事・監事

出席理事 会 長 小田島 綾子
副会長 小俣 藤夫、中島 克、山中 尚
理 事 佐々木 雅之、雨宮 豊、石川 英幸、小橋 信彦、三好 亘、
郡 英宏、松本 一成、雨宮 新一郎、藤山 裕介、植村 敬子、
大和 親英
専務理事:金澤 亨、常務理事:坂 雅夫
出席監事 津田 文雄、錦野 裕宗

会長 小田島 綾子氏は、上記の通りの会員の出席があったので、本総会は有効に成立した旨を報告し、開会を宣した。

会長は議長の選出を総会にはかり、出席者の中から谷口 正人氏を選任し、同氏も承諾の上、議長席に着いた。

議事に先立って、議長は総会の承認をえて、議事録署名人として鎌田 清氏、飯田 賢司氏の両氏をそれぞれ指名選任し、次いで、議題に沿った議案提案の存否を総会にはかり、提案のないことを確認した後、議案の審議に入った。

第1号議案 2025年度(第62期)事業報告案承認の件

本件は、金澤専務より説明報告があり、議長は報告に基づき本議案を総会にはかったところ、全会一致にて、第1号議案 2025年度(第62期)事業報告は以下の通り決議承認された。

:本報告書P1～21参照

第2号議案 2025年度(第62期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

本件は、坂常務より説明報告があり、議長は報告に基づき本議案を総会にはかったところ、全会一致で、第2号議案 2025年度(第62期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は以下の通り決議承認された。

:本報告書 P22～30 参照

第3号議案 全役員任期満了に伴う役員選任の件

本件は、小田島会長から説明報告があり、続いて役員資格審査委員会の東委員長から審査結果報告があった。議長は報告に基づき本議案を総会にはかったところ、全会一致にて提案の通り選任された。なお被選任者のうち大川 淳氏、橘 恭浩氏、北岡 伸之氏、村松 輝昭氏は、本通常総会に出席しており、席上で就任を承諾した。なお、事前に就任承諾書も提出いただいている。

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第11条第3項第3号の規定による監事の意見又は発言なし

以上をもって、議長は、一般社団法人 日本損害保険代理業協会2026年度通常総会終了を宣し、13時55分閉会した。

ここに総会議事録を作成し、議長および会長並びに議事録署名人が記名捺印する。

2026年6月11日

議長 谷口 正人 ⑩

会長 小田島 綾子 ⑩

議事録署名人 鎌田 清 ⑩

議事録署名人 飯田 賢司 ⑩

議事録作成者:坂 雅夫

以上

<資料集>

| 【資料集】 | ページ |
|---|-------|
| 2025年度「目指せ、三冠王」最終結果 | 35 |
| 2025年度「仲間づくり推進(正会員増強運動)」都道府県代協別目標達成状況表 | 36 |
| 2025年度募集・2026年度開講 損害保険大学課程コンサルティングコース受講者数 | 37 |
| 2025年度 活動報告 | |
| ・代協・支部セミナー | 38-44 |
| ・人材育成研修会 | 45 |
| ・新入会員オリエンテーション | 45 |
| ・公開講座 | 46 |
| ・地球環境保全活動 | 47-48 |
| ・地域社会貢献活動 | 49-53 |
| ・消費者団体との懇談会 | 53 |

■2025年度の取組に対する表彰及び顕彰額 「日本代協特別賞」「目指せ！3冠王!!」「仲間づくり」

| ブロック | 代協名 | 顕彰金額 (万円) | 日本代協代協 特別賞 | | 三冠王 ①②③ | ①コンサルティング コース | | | | ②仲間づくり推進 | | | | | | | | | | ③ぼうさい 探検隊 | | | 代協名 | | | |
|------|------|--------------|---------------|----|------------|------------------|-------|-----|--------|----------|--------------------|-----|-----|-----|----|--------|-----|-----|------|--------------|----|-----|-----|----|------|-----|
| | | | 特別賞 受賞 | 顕彰 | | 3万 | 合計 | 目標数 | 達成率 | ①達成 | 3項目 達成3万 ABC | 目標数 | 入会数 | ②達成 | 2万 | 2024年度 | | 2万 | 退会数 | 差引 | ±0 | 2万 | | 団体 | マップ | ③達成 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | V5- | V5+ | | | | | | | | | |
| 北海道 | 北海道 | 7 | | | ★ | 3 | 91 | 40 | 227.5% | ★ | | 16 | 25 | ★ | 2 | V1 | V2 | 18 | 7 | * | 2 | 8 | 12 | ★ | 北海道 | |
| 北東北 | 青森 | 0 | | | | | 21 | 9 | 233.3% | ★ | | 5 | 4 | | | V1 | | 7 | -3 | | | 3 | 17 | ★ | 青森 | |
| | 岩手 | 0 | | | | | 16 | 9 | 177.8% | ★ | | 4 | 1 | | | V3 | | 6 | -5 | | | 4 | 5 | ★ | 岩手 | |
| | 秋田 | 5 | | | ★ | 3 | 14 | 6 | 233.3% | ★ | | 4 | 4 | ★ | 2 | V1 | V2 | 8 | -4 | | | 3 | 6 | ★ | 秋田 | |
| 南東北 | 宮城 | 7 | | | ★ | 3 | 77 | 15 | 513.3% | ★ | | 7 | 10 | ★ | 2 | V1 | V2 | 8 | 2 | * | 2 | 5 | 7 | ★ | 宮城 | |
| | やまがた | 7 | | | ★ | 3 | 14 | 11 | 127.3% | ★ | | 3 | 4 | ★ | 2 | V2 | V3 | 3 | 1 | * | 2 | 3 | 3 | ★ | やまがた | |
| | 福島 | 5 | | | ★ | 3 | 41 | 14 | 292.9% | ★ | | 6 | 6 | ★ | 2 | V1 | V2 | 15 | -9 | | | 3 | 3 | ★ | 福島 | |
| 上信越 | 新潟 | 5 | | | ★ | 3 | 52 | 17 | 305.9% | ★ | | 7 | 7 | ★ | 2 | V3 | V4 | 8 | -1 | | | 3 | 4 | ★ | 新潟 | |
| | 長野 | 0 | | | | | 49 | 16 | 306.3% | ★ | | 7 | 5 | | | V3 | | 12 | -7 | | | 7 | 9 | ★ | 長野 | |
| | 群馬 | 5 | | | ★ | 3 | 64 | 15 | 426.7% | ★ | | 7 | 9 | ★ | 2 | V3 | V4 | 14 | -5 | | | 3 | 3 | ★ | 群馬 | |
| 東関東 | 栃木 | 7 | | | ★ | 3 | 48 | 13 | 369.2% | ★ | | 8 | 15 | ★ | 2 | V2 | V3 | 5 | 10 | * | 2 | 3 | 3 | ★ | 栃木 | |
| | 茨城 | 10 | ★ | 3 | ★ | 3 | 57 | 16 | 356.3% | ★ | | 10 | 14 | ★ | 2 | | V1 | 7 | 7 | * | 2 | 8 | 8 | ★ | 茨城 | |
| | 埼玉 | 7 | | | ★ | 3 | 100 | 22 | 454.5% | ★ | | 16 | 20 | ★ | 2 | V1 | V2 | 11 | 9 | * | 2 | 4 | 4 | ★ | 埼玉 | |
| | 千葉 | 5 | | | ★ | 3 | 83 | 22 | 377.3% | ★ | | 15 | 18 | ★ | 2 | V3 | V4 | 25 | -7 | | | 3 | 21 | ★ | 千葉 | |
| 南関東 | 神奈川 | 7 | | | ★ | 3 | 142 | 40 | 355.0% | ★ | | 16 | 20 | ★ | 2 | V4 | V5 | 2 | 21 | -1 | | 3 | 5 | ★ | 神奈川 | |
| | 山梨 | 7 | | | ★ | 3 | 20 | 10 | 200.0% | ★ | | 2 | 2 | ★ | 2 | V11 | V12 | 2 | 16 | -14 | | 3 | 9 | ★ | 山梨 | |
| 東京 | 東京 | 10 | ★ | 3 | ★ | 3 | 852 | 108 | 788.9% | ★ | | 36 | 57 | ★ | 2 | V1 | V2 | 51 | 6 | * | 2 | 9 | 9 | ★ | 東京 | |
| 東海 | 静岡 | 10 | ★ | 3 | ★ | 3 | 81 | 18 | 450.0% | ★ | | 14 | 19 | ★ | 2 | V1 | V2 | 18 | 1 | * | 2 | 3 | 3 | ★ | 静岡 | |
| | 愛知 | 5 | | | ★ | 3 | 148 | 46 | 321.7% | ★ | | 20 | 29 | ★ | 2 | V3 | V4 | 36 | -7 | | | 6 | 6 | ★ | 愛知 | |
| | 岐阜 | 7 | | | ★ | 3 | 54 | 15 | 360.0% | ★ | | 7 | 11 | ★ | 2 | V1 | V2 | 11 | 0 | * | 2 | 5 | 7 | ★ | 岐阜 | |
| | 三重 | 10 | | | ★ | 3 | 37 | 15 | 246.7% | ★ | 3 | 5 | 11 | ★ | 2 | V6 | V7 | 2 | 7 | 4 | * | 2 | 1 | 6 | ★ | 三重 |
| 北陸 | 富山 | 5 | | | ★ | 3 | 24 | 8 | 300.0% | ★ | | 4 | 4 | ★ | 2 | V3 | V4 | 7 | -3 | | | 3 | 3 | ★ | 富山 | |
| | 石川 | 7 | | | ★ | 3 | 35 | 10 | 350.0% | ★ | | 3 | 3 | ★ | 2 | V6 | V7 | 2 | 10 | -7 | | 3 | 3 | ★ | 石川 | |
| | 福井 | 10 | | | ★ | 3 | 27 | 9 | 300.0% | ★ | 3 | 2 | 5 | ★ | 2 | V7 | V8 | 2 | 2 | 3 | * | 2 | 3 | 3 | ★ | 福井 |
| 近畿 | 滋賀 | 10 | | | ★ | 3 | 26 | 7 | 371.4% | ★ | 3 | 3 | 3 | ★ | 2 | V12 | V13 | 2 | 3 | 0 | * | 2 | 4 | 4 | ★ | 滋賀 |
| | 京都 | 7 | | | ★ | 3 | 49 | 20 | 245.0% | ★ | | 3 | 5 | ★ | 2 | V11 | V12 | 2 | 23 | -18 | | 3 | 3 | ★ | 京都 | |
| | 奈良 | 10 | | | ★ | 3 | 11 | 7 | 157.1% | ★ | 3 | 2 | 8 | ★ | 2 | V11 | V12 | 2 | 3 | 5 | * | 2 | 4 | 4 | ★ | 奈良 |
| 阪神 | 大阪 | 7 | | | ★ | 3 | 248 | 68 | 364.7% | ★ | | 15 | 23 | ★ | 2 | V6 | V7 | 2 | 51 | -28 | | 7 | 24 | ★ | 大阪 | |
| | 兵庫 | 7 | | | ★ | 3 | 111 | 24 | 462.5% | ★ | | 13 | 20 | ★ | 2 | V2 | V3 | 14 | 6 | * | 2 | 4 | 4 | ★ | 兵庫 | |
| | 和歌山 | 7 | | | ★ | 3 | 23 | 9 | 255.6% | ★ | | 3 | 4 | ★ | 2 | V3 | V4 | 3 | 1 | * | 2 | 3 | 20 | ★ | 和歌山 | |
| 東中国 | 岡山 | 5 | | | ★ | 3 | 35 | 21 | 166.7% | ★ | | 4 | 4 | ★ | 2 | V3 | V4 | 20 | -16 | | | 5 | 10 | ★ | 岡山 | |
| | 鳥取 | 7 | | | ★ | 3 | 8 | 4 | 200.0% | ★ | | 2 | 4 | ★ | 2 | V3 | V4 | 3 | 1 | * | 2 | 3 | 3 | ★ | 鳥取 | |
| | 島根 | 10 | ★ | 3 | ★ | 3 | 5 | 2 | 250.0% | ★ | | 2 | 2 | ★ | 2 | V1 | V2 | 0 | 2 | * | 2 | 3 | 7 | ★ | 島根 | |
| 西中国 | 広島 | 5 | | | ★ | 3 | 55 | 17 | 323.5% | ★ | | 8 | 8 | ★ | 2 | V3 | V4 | 14 | -6 | | | 4 | 8 | ★ | 広島 | |
| | 山口 | 7 | | | ★ | 3 | 30 | 12 | 250.0% | ★ | | 3 | 3 | ★ | 2 | V6 | V7 | 2 | 5 | -2 | | 3 | 3 | ★ | 山口 | |
| 四国 | 徳島 | 7 | | | ★ | 3 | 25 | 6 | 416.7% | ★ | | 2 | 2 | ★ | 2 | V9 | V10 | 2 | 8 | -6 | | 4 | 4 | ★ | 徳島 | |
| | 香川 | 7 | | | ★ | 3 | 13 | 9 | 144.4% | ★ | | 2 | 4 | ★ | 2 | V6 | V7 | 2 | 7 | -3 | | 4 | 7 | ★ | 香川 | |
| | 愛媛 | 7 | | | ★ | 3 | 21 | 10 | 210.0% | ★ | | 5 | 7 | ★ | 2 | V1 | V2 | 5 | 2 | * | 2 | 3 | 3 | ★ | 愛媛 | |
| | 高知 | 5 | | | ★ | 3 | 9 | 7 | 128.6% | ★ | | 2 | 2 | ★ | 2 | V2 | V3 | 5 | -3 | | | 4 | 30 | ★ | 高知 | |
| 九州北 | 福岡 | 7 | | | ★ | 3 | 183 | 35 | 522.9% | ★ | | 13 | 20 | ★ | 2 | V21 | V22 | 2 | 42 | -22 | | 8 | 9 | ★ | 福岡 | |
| | 大分 | 7 | | | ★ | 3 | 26 | 10 | 260.0% | ★ | | 3 | 4 | ★ | 2 | V1 | V2 | 4 | 0 | * | 2 | 4 | 11 | ★ | 大分 | |
| | 佐賀 | 2 | | | ★ | | 16 | 7 | 228.6% | ★ | | 3 | 1 | | | | | 1 | 0 | * | 2 | 3 | 3 | ★ | 佐賀 | |
| | 長崎 | 5 | | | ★ | 3 | 36 | 10 | 360.0% | ★ | | 3 | 3 | ★ | 2 | | V1 | | 10 | -7 | | 3 | 3 | ★ | 長崎 | |
| 九州南 | 宮崎 | 7 | | | ★ | 3 | 21 | 9 | 233.3% | ★ | | 3 | 4 | ★ | 2 | V6 | V7 | 2 | 10 | -6 | | 4 | 4 | ★ | 宮崎 | |
| | 熊本 | 7 | | | ★ | 3 | 48 | 16 | 300.0% | ★ | | 5 | 8 | ★ | 2 | V11 | V12 | 2 | 12 | -4 | | 4 | 4 | ★ | 熊本 | |
| | 鹿児島 | 0 | | | ★ | | 33 | 15 | 220.0% | ★ | | 4 | 1 | | | V7 | | 8 | -7 | | | 4 | 38 | ★ | 鹿児島 | |
| | 沖縄 | 7 | | | ★ | 3 | 28 | 11 | 254.5% | ★ | | 4 | 4 | ★ | 2 | V7 | V8 | 2 | 8 | -4 | | 5 | 8 | ★ | 沖縄 | |
| 全国計 | | 298 | | 12 | | 126 | 3,207 | 840 | 381.8% | | 12 | 331 | 447 | | 84 | | 32 | 585 | -138 | | 40 | 192 | 373 | | | |

2025年度「仲間づくり推進(正会員増強運動)」目標達成状況表

| 代協 ブロック | 2025.3.31現在 | 2024年度末 | 2024年度末 | 入会目標 | 2025年度実績(2025年4~3月) | | | | | | | 目標まで あと何店 | 目標達成 | |
|------------|--------------|-----------------------|---------|------|---------------------|-----|------|---------------|---------------|--------|-------|--------------|------|---|
| | 専業代理店 実在数 | (2025.3.31現在) 正会員数 | 組織率 | | 入会 | 退会 | 差引 | (退会理由 1~4) | (退会理由 5~9) | 正会員数 | ☆組織率 | | % | |
| 北海道 | 961 | 545 | 56.7% | 16 | 25 | 18 | 7 | (17) | (1) | 552 | 57.4% | -9 | 156% | ★ |
| 青森 | 277 | 136 | 49.1% | 5 | 4 | 7 | ▲3 | (5) | (2) | 133 | 48.0% | 1 | 80% | |
| 岩手 | 213 | 115 | 54.0% | 4 | 1 | 6 | ▲5 | (6) | (0) | 110 | 51.6% | 3 | 25% | |
| 秋田 | 179 | 85 | 47.5% | 4 | 4 | 8 | ▲4 | (7) | (1) | 81 | 45.3% | 0 | 100% | ★ |
| 宮城 | 417 | 205 | 49.2% | 7 | 10 | 8 | 2 | (5) | (3) | 207 | 49.6% | -3 | 143% | ★ |
| やまがた | 202 | 143 | 70.8% | 3 | 4 | 3 | 1 | (0) | (3) | 144 | 71.3% | -1 | 133% | ★ |
| 福島 | 353 | 221 | 62.6% | 6 | 6 | 15 | ▲9 | (14) | (1) | 212 | 60.1% | 0 | 100% | ★ |
| 新潟 | 319 | 191 | 59.9% | 7 | 7 | 8 | ▲1 | (8) | (0) | 190 | 59.6% | 0 | 100% | ★ |
| 長野 | 353 | 207 | 58.6% | 7 | 5 | 12 | ▲7 | (7) | (5) | 200 | 56.7% | 2 | 71% | |
| 群馬 | 372 | 189 | 50.8% | 7 | 9 | 14 | ▲5 | (8) | (6) | 184 | 49.5% | -2 | 129% | ★ |
| 栃木 | 350 | 146 | 41.7% | 8 | 15 | 5 | 10 | (2) | (3) | 156 | 44.6% | -7 | 188% | ★ |
| 茨城 | 451 | 189 | 41.9% | 10 | 14 | 7 | 7 | (5) | (2) | 196 | 43.5% | -4 | 140% | ★ |
| 埼玉 | 775 | 348 | 44.9% | 16 | 20 | 11 | 9 | (10) | (1) | 357 | 46.1% | -4 | 125% | ★ |
| 千葉 | 761 | 351 | 46.1% | 15 | 18 | 25 | ▲7 | (22) | (3) | 344 | 45.2% | -3 | 120% | ★ |
| 神奈川 | 902 | 445 | 49.3% | 16 | 20 | 21 | ▲1 | (13) | (8) | 444 | 49.2% | -4 | 125% | ★ |
| 山梨 | 157 | 123 | 78.3% | 2 | 2 | 16 | ▲14 | (10) | (6) | 109 | 69.4% | 0 | 100% | ★ |
| 東京 | 1,907 | 844 | 44.3% | 36 | 57 | 51 | 6 | (39) | (12) | 850 | 44.6% | -21 | 158% | ★ |
| 静岡 | 674 | 285 | 42.3% | 14 | 19 | 18 | 1 | (11) | (7) | 286 | 42.4% | -5 | 136% | ★ |
| 愛知 | 979 | 475 | 48.5% | 20 | 29 | 36 | ▲7 | (23) | (13) | 468 | 47.8% | -9 | 145% | ★ |
| 岐阜 | 373 | 218 | 58.4% | 7 | 11 | 11 | 0 | (8) | (3) | 218 | 58.4% | -4 | 157% | ★ |
| 三重 | 327 | 229 | 70.0% | 5 | 11 | 7 | 4 | (5) | (2) | 233 | 71.3% | -6 | 220% | ★ |
| 富山 | 183 | 105 | 57.4% | 4 | 4 | 7 | ▲3 | (6) | (1) | 102 | 55.7% | 0 | 100% | ★ |
| 石川 | 207 | 153 | 73.9% | 3 | 3 | 10 | ▲7 | (7) | (3) | 146 | 70.5% | 0 | 100% | ★ |
| 福井 | 154 | 127 | 82.5% | 2 | 5 | 2 | 3 | (2) | (0) | 130 | 84.4% | -3 | 250% | ★ |
| 滋賀 | 179 | 134 | 74.9% | 3 | 3 | 3 | 0 | (3) | (0) | 134 | 74.9% | 0 | 100% | ★ |
| 京都 | 347 | 314 | 90.5% | 3 | 5 | 23 | ▲18 | (16) | (7) | 296 | 85.3% | -2 | 167% | ★ |
| 奈良 | 152 | 129 | 84.9% | 2 | 8 | 3 | 5 | (2) | (1) | 134 | 88.2% | -6 | 400% | ★ |
| 大阪 | 1,077 | 817 | 75.9% | 15 | 23 | 51 | ▲28 | (43) | (8) | 789 | 73.3% | -8 | 153% | ★ |
| 兵庫 | 631 | 310 | 49.1% | 13 | 20 | 14 | 6 | (13) | (1) | 316 | 50.1% | -7 | 154% | ★ |
| 和歌山 | 194 | 155 | 79.9% | 3 | 4 | 3 | 1 | (2) | (1) | 156 | 80.4% | -1 | 133% | ★ |
| 岡山 | 337 | 276 | 81.9% | 4 | 4 | 20 | ▲16 | (16) | (4) | 260 | 77.2% | 0 | 100% | ★ |
| 鳥取 | 111 | 85 | 76.6% | 2 | 4 | 3 | 1 | (3) | (0) | 86 | 77.5% | -2 | 200% | ★ |
| 島根 | 98 | 37 | 37.8% | 2 | 2 | 0 | 2 | (0) | (0) | 39 | 39.8% | 0 | 100% | ★ |
| 広島 | 391 | 204 | 52.2% | 8 | 8 | 14 | ▲6 | (9) | (5) | 198 | 50.6% | 0 | 100% | ★ |
| 山口 | 211 | 154 | 73.0% | 3 | 3 | 5 | ▲2 | (4) | (1) | 152 | 72.0% | 0 | 100% | ★ |
| 徳島 | 119 | 108 | 90.8% | 2 | 2 | 8 | ▲6 | (6) | (2) | 102 | 85.7% | 0 | 100% | ★ |
| 香川 | 146 | 129 | 88.4% | 2 | 4 | 7 | ▲3 | (4) | (3) | 126 | 86.3% | -2 | 200% | ★ |
| 愛媛 | 260 | 132 | 50.8% | 5 | 7 | 5 | 2 | (2) | (3) | 134 | 51.5% | -2 | 140% | ★ |
| 高知 | 127 | 87 | 68.5% | 2 | 2 | 5 | ▲3 | (3) | (2) | 84 | 66.1% | 0 | 100% | ★ |
| 福岡 | 849 | 520 | 61.2% | 13 | 20 | 42 | ▲22 | (31) | (11) | 498 | 58.7% | -7 | 154% | ★ |
| 大分 | 194 | 113 | 58.2% | 3 | 4 | 4 | 0 | (3) | (1) | 113 | 58.2% | -1 | 133% | ★ |
| 佐賀 | 141 | 81 | 57.4% | 3 | 1 | 1 | 0 | (0) | (1) | 81 | 57.4% | 2 | 33% | |
| 長崎 | 211 | 145 | 68.7% | 3 | 3 | 10 | ▲7 | (7) | (3) | 138 | 65.4% | 0 | 100% | ★ |
| 宮崎 | 199 | 132 | 66.3% | 3 | 4 | 10 | ▲6 | (8) | (2) | 126 | 63.3% | -1 | 133% | ★ |
| 熊本 | 305 | 215 | 70.5% | 5 | 8 | 12 | ▲4 | (8) | (4) | 211 | 69.2% | -3 | 160% | ★ |
| 鹿児島 | 257 | 163 | 63.4% | 4 | 1 | 8 | ▲7 | (7) | (1) | 156 | 60.7% | 3 | 25% | |
| 沖縄 | 267 | 168 | 62.9% | 4 | 4 | 8 | ▲4 | (5) | (3) | 164 | 61.4% | 0 | 100% | ★ |
| 全国計 | 18,649 | 10,683 | 57.3% | 331 | 447 | 585 | ▲138 | (435) | (150) | 10,545 | 56.5% | -116 | 135% | |

2026年04月開講 損保大学課程コンサルティングコース受講申込状況(最終)

| 地区 | 都道府県 | 受講申込者 | 代協別 目標数 | 達成率 | ブロック計 | | | 前年度ブロック | | |
|-----|------|-------|------------|------|-------|-----|------|---------|------|------|
| | | | | | 受講申込者 | 目標数 | 達成率 | 目標数 | 実績 | 達成率 |
| 北海道 | 北海道 | 91 | 40 | 228% | 91 | 40 | 228% | 40 | 73 | 183% |
| 北東北 | 青森 | 21 | 9 | 233% | 51 | 24 | 213% | 24 | 57 | 238% |
| | 岩手 | 16 | 9 | 178% | | | | | | |
| | 秋田 | 14 | 6 | 233% | | | | | | |
| 南東北 | 宮城 | 77 | 15 | 513% | 132 | 40 | 330% | 40 | 104 | 260% |
| | やまがた | 14 | 11 | 127% | | | | | | |
| | 福島 | 41 | 14 | 293% | | | | | | |
| 上信越 | 新潟 | 52 | 17 | 306% | 165 | 48 | 344% | 48 | 85 | 177% |
| | 長野 | 49 | 16 | 306% | | | | | | |
| | 群馬 | 64 | 15 | 427% | | | | | | |
| 東関東 | 栃木 | 48 | 13 | 369% | 288 | 73 | 395% | 73 | 219 | 300% |
| | 茨城 | 57 | 16 | 356% | | | | | | |
| | 埼玉 | 100 | 22 | 455% | | | | | | |
| | 千葉 | 83 | 22 | 377% | | | | | | |
| 南関東 | 神奈川 | 142 | 40 | 355% | 162 | 50 | 324% | 50 | 75 | 150% |
| | 山梨 | 20 | 10 | 200% | | | | | | |
| 東京 | 東京 | 852 | 108 | 789% | 852 | 108 | 789% | 108 | 335 | 310% |
| 東海 | 静岡 | 81 | 18 | 450% | 320 | 94 | 340% | 94 | 201 | 214% |
| | 愛知 | 148 | 46 | 322% | | | | | | |
| | 岐阜 | 54 | 15 | 360% | | | | | | |
| | 三重 | 37 | 15 | 247% | | | | | | |
| 北陸 | 富山 | 24 | 8 | 300% | 86 | 27 | 319% | 27 | 39 | 144% |
| | 石川 | 35 | 10 | 350% | | | | | | |
| | 福井 | 27 | 9 | 300% | | | | | | |
| 近畿 | 滋賀 | 26 | 7 | 371% | 86 | 34 | 253% | 34 | 64 | 188% |
| | 京都 | 49 | 20 | 245% | | | | | | |
| | 奈良 | 11 | 7 | 157% | | | | | | |
| 阪神 | 大阪 | 248 | 68 | 365% | 382 | 101 | 378% | 101 | 195 | 193% |
| | 兵庫 | 111 | 24 | 463% | | | | | | |
| | 和歌山 | 23 | 9 | 256% | | | | | | |
| 東中国 | 岡山 | 35 | 21 | 167% | 48 | 27 | 178% | 27 | 58 | 215% |
| | 鳥取 | 8 | 4 | 200% | | | | | | |
| | 島根 | 5 | 2 | 250% | | | | | | |
| 西中国 | 広島 | 55 | 17 | 324% | 85 | 29 | 293% | 29 | 56 | 193% |
| | 山口 | 30 | 12 | 250% | | | | | | |
| 四国 | 徳島 | 25 | 6 | 417% | 68 | 32 | 213% | 32 | 61 | 191% |
| | 香川 | 13 | 9 | 144% | | | | | | |
| | 愛媛 | 21 | 10 | 210% | | | | | | |
| | 高知 | 9 | 7 | 129% | | | | | | |
| 九州北 | 福岡 | 183 | 35 | 523% | 261 | 62 | 421% | 62 | 132 | 213% |
| | 大分 | 26 | 10 | 260% | | | | | | |
| | 佐賀 | 16 | 7 | 229% | | | | | | |
| | 長崎 | 36 | 10 | 360% | | | | | | |
| 九州南 | 宮崎 | 21 | 9 | 233% | 130 | 51 | 255% | 51 | 97 | 190% |
| | 熊本 | 48 | 16 | 300% | | | | | | |
| | 鹿児島 | 33 | 15 | 220% | | | | | | |
| | 沖縄 | 28 | 11 | 255% | | | | | | |
| 全国計 | | 3207 | 840 | 382% | 3207 | 840 | 382% | 840 | 1851 | 220% |

■代協支部セミナー

| 主催 | | 開催年月日・会場 | 演題と講師 | 参加者数 (名) |
|------|-----------------|--|--|-------------|
| 北海道 | | 2026.01.16ホテルライフオート札幌 | 顧客本位の業務運営とは 顧客の最善の利益を追求する業務運営 株式会社IB 代表取締役 井藤健太 氏 | 60 |
| 北海道 | | 2025.05.30ホテルライフオート札幌 | JAFと保険の知恵袋!! 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) 札幌支部 推進課推進係 木村英二郎 氏、松谷伴人 氏 | 43 |
| 北海道 | 札幌 | 2025.11.12札幌エルプラザ | 健康経営『レストデザイン』セミナー ～働く人の健康が、企業を支える～レストデザインアドバイザー 後藤エデン 氏 | 18 |
| 北海道 | 室蘭/苫小牧/千歳 | 2025.11.28千歳市防災学習交流センター「そなえーる」 | 3支部合同セミナー「地震体験・煙避難体験」千歳市防災学習交流センター センター長・センター職員 | 22 |
| 北海道 | 旭川 | 2026.02.13旭川トーヨーホテル | 1. 伝える力が未来を創る 2. 制度改正の本質とこれからの代理店経営 1. フリーアナウンサー 大家彩香 氏 2. 福岡大学商学部教授 植村信保 氏 | 146 |
| 北海道 | 函館 | 2026.02.27ホテル法華クラブ函館 | AIって結局なに? 保険の仕事とどう関係あるの? 株式会社iDea 佐々木翔太 氏 | 46 |
| 北海道 | 釧路 | 2025.11.28センチュリーキャッスルホテル | 損保業界の最新動向と今後の保険代理店のあり方 1. 保険業界の最新動向と今後の保険代理店のあり方 2. 変化への備えは? どう対応する? 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 氏 | 41 |
| 北海道 | 釧路 | 2025.05.24釧路センチュリーキャッスルホテル | ～胆振東部地震から6年 ブラックアウトから学ぶ北海道大学大学院理学研究所付属 地震火山研究観測センター 高橋浩晃 教授 | 90 |
| 北海道 | 釧路 | 2025.05.23釧路センチュリーキャッスルホテル | サイバー攻撃から会社と顧客を守る! 保険営業のためのセキュリティ対策セミナー セキュリティアドバイザー 今佑輔 氏 | 39 |
| 北海道 | 帯広 | 2025.08.28とかちプラザ | 1. 保険代理店におけるリスクマネジメントの必要性 ～顧客本位の業務運営とかち向上策の関係～ 2. JSA規格で実現する“選ばれる保険代理店”の条件 ～業務品質・カバンス・顧客信頼を高める新たな基準～ 1. 一般社団法人日本損害保険代理業協会 理事 企画環境委員長 松本一成 氏 2. 一般社団法人保険代理店サービス品質管理機構 評議員 行木隆 氏 | 35 |
| 熊本 | 熊本中央/熊本東/熊本南/県北 | 2026.03.10くまもと県民交流館/パレア | 改正保険業法について財務省 九州財務局 理財部 金融監督第三課 課長 福田要一 氏 | 35 |
| 熊本 | | 2026.01.09メルパルク熊本 | プロ野球にみる人材育成と強い組織の作り方元プロ野球選手・元プロ野球監督・野球解説者 伊東勲 氏 | 105 |
| 熊本 | | 2025.05.16メルパルク熊本 | 代協の歴史と必要性～歴史を学びミライを創る～日本損害保険代理業協会 理事・組織委員長 藤山裕介 氏 | 40 |
| 北東北 | | 2025.11.21マリオス 会議室+Zoom (ハイブリッド) | 1. 下請法改正による地域企業のリスクと機会 (チャンス) 2. 会員の声・思いを集め、発信する取組み ～大阪代協 全会員アンケートについて～ 1. 三井住友海上火災保険 (株) MS&AD経営サポートセンター 経営リスクアドバイザー 竹内靖人 氏 2. (一社) 大阪損害保険代理業協会 会長 新谷香代子 氏 | 94 |
| 青森 | | 2026.01.23アピオあおもり (ハイブリッド) サテライト会場 八戸市総合保健センター | 1. 損保業界不祥事と信頼回復取組について～顧客本位の業務運営の実現に向けて～ 2. 日本代協アカデミーと代理店賠償について～選ばれ続ける代理店の品質と責任～ 1. 三井住友海上火災保険株式会社 執行役員 業務企画部長 杉本勝 氏 2. 青森県代協 理事・教育委員長 小向猛徳 氏 | 71 |
| 青森 | | 2025.05.13ホテル青森 | 代協の歴史と必要性～歴史を学びミライを創る～日本損害保険代理業協会 理事・組織委員長 藤山裕介 氏 | 40 |
| 青森 | 八戸 | 2026.02.06八戸プラザホテル | 墓じまいと最近の供養方法お墓のコンシェルジュ お墓総合サポートサービス 代表 佐々木博一 氏 | 30 |
| 青森 | 八戸 | 2025.04.25八戸プラザホテル | ※もしものときに困らない! / 「介護サービスの使い方入門」～そうだ! ケアマネジャーに相談しよう～ 合同会社 t s w 代表社員 高橋 広文 氏 | 31 |
| 岩手 | | 2025.05.23マリオス181 | お客様から選ばれる力を育てる! ～募集人教育と資格活用で信頼される代理店へ～日本損害保険代理業協会 理事・教育委員長 雨宮 新一郎 氏 | 47 |
| 秋田 | | 2025.09.12アキタパークホテル (Zoom) | 1. 保険代理店の賠償責任とトラブル事例 2. 変わりゆく保険業界、変わらぬ使命 ～代協が果たす「現場」と「制度」の橋渡し～ 1. 日本代協新プラン委託講師 杉山幹久 氏 2. 日本代協理事 組織委員長 藤山裕介 氏 | 81 |
| 秋田 | | 2025.05.30イヤタカ | 保険業法改正や業界の動向日本創倫 (株) 顧問 成島康宏 氏 | 36 |
| 秋田 | 県北 | 2025.09.19ルネッサンスガーデンプラザ杉の子 | 毛細血管観察と健康自主管理について(有)クローバー薬局 代表取締役 和田一良 氏 | 20 |
| 宮城 | | 2026.02.20エルソーラ仙台研修室 | 懇談会～これからの代理店はどうすれば? ～「生命保険業界について」三井住友あいおい生命 (株) 仙台支社長 吉田英司 氏 | 28 |
| 宮城 | | 2026.01.28/パレスへいあん | 新春セミナー「損保業界の最新動向と今後の保険代理店のあり方」日本代協 専務理事 金沢亨 氏 | 77 |
| やまがた | | 2026.02.06山形国際ホテル | 1. 環境変化に適応した次世代型代理店像とマーケット開拓 2. 顧客からの信頼を守り続けるために“量より質”で切り拓くこれからの代理店ビジネス 1. (株)ふるサポ 代表取締役 SDGsコンサルタント 中島達朗 氏 2. パネラー: 中央総合法律事務所 錦野裕宗 氏、日本代協専務理事 金澤亨氏、ファンリテーター: 日本代協理事 広報委員長 大和親英 氏 | 44 |

| 主催 | | 開催年月日・会場 | 演題と講師 | 参加者数 (名) |
|------|-------|-----------------------------------|--|-------------|
| やまがた | | 2025.11.19三井住友海上山形ビル(対面・オンライン) | 水災補償普及啓発セミナーin山形(日本損害保険協会東北支部山形損保会主催 やまがた代協共催) 1. 山形県における火災保険水災補償の現状 2. パネルセッション 大雨災害時のお客様対応について 1. 損害保険料率算出機構 扇本岳大氏 | 124 |
| やまがた | | 2025.06.07山形国際ホテル | 令和6年能登半島地震・山形大雨被害から学ぶ“次の震災”への備えゲンサイデイズ 細谷真紀子氏 | 41 |
| 福島 | 郡山 | 2026.02.19郡山市東部勤労者研修センター | 獺友会の活動を知る福島県獺友会 郡山支部長 小野新太郎氏 | 20 |
| 福島 | 郡山 | 2025.09.25郡山消防署 | 防災減災について郡山消防署員 | 20 |
| 福島 | いわき | 2025.12.04いわき産業創造館 | 代協の収益事業について(株)はなまる様、(株)JCM様 | 12 |
| 福島 | 福島 | 2026.02.06ウィズもとまち | 損害保険代理業とAIについて(有)I・R・D・コーポレーション 高橋氏 | 20 |
| 福島 | 福島 | 2025.08.28ウィズもとまち | 代理店の今と未来を話す会コーディネーター 土屋昌司・大高信司 | 20 |
| 福島 | 白河 | 2025.09.05シン鹿島 | 代協の収益事業について(株)はなまる様、(株)JCM様 | 7 |
| 福島 | 相双 | 2025.12.05労働福祉会館 | 相双地区プロ代理店経営セミナー | 11 |
| 上信越 | | 2025.08.22Zoomウェビナーを利用したオンラインセミナー | 2025年代理店賠償セミナー「保険代理店の賠償責任と最近の事故例」元Chubb損害保険(株)営業開発本部長 杉山幹久氏 | 206 |
| 新潟 | | 2026.03.18新潟東映ホテル | 改正保険業法にみる保険会社と保険代理店の関係性について金融庁監督局保険課 生命保険モニタリング長 佐藤寿昭氏、関東財務局理財部金融監督第4課 上席調査官 田中美由紀氏(募集総括・損害保険担当) | 108 |
| 新潟 | | 2025.06.05新潟東映ホテル | 「代理店のミライを考える」～「ありがたい姿」を描き 今から一歩踏み出そう～ 一般社団法人新潟県損害保険代理業協会 アドバイザー 野元敏昭氏 | 96 |
| 新潟 | 新潟 | 2025.07.29zoom開催 | 1. 一時払い終身保険を活用した提案と収益性の確保 2. 独自告知システム、がん保険、QRコード申込で顧客拡大 3. 損保代理店向け収益最大化サービス SowZow(ソウゾウ) 1. ジブラルタ生命保険(株) 担当者 2. ネオファースト生命保険(株) 担当者 3. (株)SowZow 代表取締役CEO 浅山 裕紀氏 | 3 |
| 新潟 | 新潟 | 2025.04.24日新火災海上 新潟サービス支店 | 保険仲立ち人について日新火災海上保険(株)新潟サービス支店 支店長 中村進氏 | 17 |
| 新潟 | 長岡 | 2026.03.06割烹吉原屋 | 損保代理店における生保とのかわり方ネオファースト生命(株) 青木良介氏 | 11 |
| 新潟 | 長岡 | 2025.05.16損害保険ジャパン 長岡支店 | 損保・生保セミナー 損害保険業界を取り巻く現状 損害保険ジャパン(株)・三井住友海上あいおい生命(株)・SOMPOひまわり生命(株)・東京海上日動あんしん生命(株) | 20 |
| 新潟 | 三条 | 2025.07.15三条東公民館 | 事業継続力強化計画についてあいおい生命長岡支社 瀧上氏 | 11 |
| 長野 | | 2026.01.23深志荘 | サイバー被害防止対策長野県警察本部生活安全部サイバー捜査課 前橋浩氏 | 22 |
| 長野 | | 2025.11.19長野市生涯学習センター トイゴ(ハイブリッド) | 損保業界の最新動向と今後の保険代理店のあり方日本代協 専務理事 金澤亨氏 | 58 |
| 長野 | | 2025.07.24サンプル アルウィン | 全国損害保険代理業政治連盟 意義と活動全国損害保険代理業政治連盟 会長 小平高義氏 | 42 |
| 長野 | 北信/東信 | 2025.11.28香青軒 | AI時代の代理店像あいおいニッセイ同和損害保険(株)長野支店 地域戦略室推進役 千葉晃久氏 | 31 |
| 長野 | 中信 | 2026.03.19松本市駅前会館 | 業務品質時代の代理店経営 一制度対応の先にある未来ー日本代協 専務理事 金澤亨氏 | 35 |
| 長野 | 伊那/飯田 | 2025.10.10飯田市公民館 | これからの地域と企業の関係性を体験するビジネスゲーム(SDGsカードゲーム)あいおいニッセイ同和損害保険(株) 諏訪支社 井原達宏氏 | 16 |
| 茨城 | | 2026.01.16ホテル テラスザガーデン水戸 | 新春セミナー「生命保険 証券診断アプローチ」一般社団法人 日本LCQR生命保険証券診断士協会 代表理事 竹内康雄氏 | 55 |
| 茨城 | | 2025.06.10ZOOM | 1. 保険代理店向けプラットフォームサービス「Sow Zow」とは 2. SowZowユーザーの声株式会社H&S 代表取締役 大野裕氏 有限会社ウイング二十一総合保険センター 深澤裕樹氏 | 10 |
| 茨城 | | 2025.06.06ホテルテラスザガーデン水戸 | 1. 金融審WG・第三者検討会を踏まえた今後の保険代理店のあり方 2. 代協の魅力～代協制度を代理店経営に活かそう!～1. 日本代協専務理事 金澤亨氏 2. 日本代協教育委員長 雨宮新一郎氏 | 103 |
| 埼玉 | | 2026.02.18川越ウェスタ | 鑑定人から見た評価と査定株式会社 中央損保鑑定 高添和幸氏 | 30 |
| 埼玉 | | 2026.01.15大宮ソニック 国際会議室 | 1. 代協の歴史と必要性～歴史を学びミライを創る～ 2. 代理店賠償の必要性～実際にあった訴訟体験談～ 3. 日本代協アカデミーの必要性 1. 日本代協 理事・組織委員長 藤山裕介氏 2. 埼玉代協 会長 塩野忠氏 3. 日本代協 東関東ブロック協議会 教育委員長 積田淳氏 | 61 |
| 埼玉 | | 2025.12.19大宮ソニックシティ | 代理店経営に使える人工知能(AI)の使い方埼玉代協 会長 塩野忠氏 | 16 |
| 埼玉 | | 2025.10.02大宮ソニックシティ | 自動車の新機能と変わる交通事故調査交通事故解析士 森澤三郎氏 | 20 |
| 埼玉 | | 2025.08.26大宮ソニックシティ | 損保系YouTuberが考える保険募集損保系YouTuber 土方信太郎氏 | 21 |
| 埼玉 | | 2025.06.12大宮ソニックシティ・川越ウェスタ | 1. 代理店賠償説明会 2. 実際にあった訴訟事例体験談 1. 元Chubb損害株式会社 杉山幹久氏 2. 埼玉代協 会長 塩野忠氏 | 19 |
| 埼玉 | | 2025.05.23ソニックシティ 国際会議室 | 金融審WG・第三者検討会を踏まえた今後の代理店のあり方日本代協 専務理事 金澤亨氏 | 72 |
| 埼玉 | 東部 | 2025.11.28越谷コミュニティセンター | 労災と使用者賠償責任弁護士法人てんとうむし法律事務所 虫鹿隆志氏 | 17 |
| 埼玉 | 西部 | 2025.12.04川越ウェスタ | 埼玉県内のサイバー犯罪情勢とその脅威埼玉県警察本部生活安全部サイバー一局サイバー対策課 齋藤隼人氏 | 23 |

| 主催 | | 開催年月日・会場 | 演題と講師 | 参加者数 (名) |
|-----|---------|------------------------------------|--|-------------|
| 埼玉 | 北部 | 2025.09.19あいおいニッセイ同和損 埼玉西北熊谷支社 | 「健康経営優良法人」とは？(株)ヒュッゲ 代表取締役 目代啓祐 氏 | 10 |
| 千葉 | | 2025.10.22千葉市生涯学習センター | 1. 昨今の代理店賠償責任保険において近年の事故例と日頃の備え 2. 今、一体何が起きているのか？代理店はどこに向かえばいいのか？ 1. Chubb損害保険株式会社 杉山幹久 氏 2. 野元敏昭 氏 | 98 |
| 南関東 | | 2025.10.16ZOOMウェビナー | 山梨代協・神奈川代協共催「代理店賠償責任ZOOMウェビナー」 1. 代理店賠償責任保険セミナー 2. 実録体験談解説 1. 日本代協新プラン委託講師 杉山幹久 氏 | 77 |
| 神奈川 | | 2026.01.20ロイヤルホールヨコハマ | 基調講演～知って備える自己点検と比較推奨のポイント～神奈川代協シニアアドバイザー 野元敏昭 氏 | 36 |
| 神奈川 | | 2025.11.21かながわ労働プラザ | サイバーセキュリティセミナー神奈川県警察サイバーセキュリティ 対策本部 対策係 情報セキュリティアドバイザー 刈野智喜 氏 | 31 |
| 神奈川 | 県西 | 2026.03.05相模鉄金工業株式会社 | ～代理店・保険会社との"連携のリアル"を知る～ 修理工場目線の事故対応セミナー相模鉄金工業(株) 嶋津 俊宣 氏 | 17 |
| 神奈川 | みなと | 2025.06.06横須賀市立総合福祉会館 | 命を守る企業防災・組織防災、企業のあり方一般社団法人健太いのちの教室 代表理事 田村孝行 氏 | 26 |
| 山梨 | | 2026.02.03シャトレゼホテル談話館 | なぜ、こんな大変なことが！！・自己点検チェックシートの背景と本質日本代協アドバイザー 栗山泰史 氏 | 59 |
| 山梨 | | 2026.01.14Zoomウェビナー | 山梨代協組織委員会勉強会セミナー 保険代理店が知っておくべき事故車修理の「透明性」(有)オートボディキー 代表取締役 市川清 氏 | 61 |
| 山梨 | | 2025.05.29シャトレゼホテル談話館 | 金融審WG・第三者検討会を踏まえた今後の保険代理店のあり方日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 氏 | 41 |
| 東京 | | 2026.03.11損保会館大会議室 | 保険代理店のための生成AI入門と実践～安全に使い業務効率を一気に高める90分～ 合同会社HaRu代表社員 井戸 間多 氏 | 215 |
| 東京 | | 2026.01.20損保会館 | 代理店業務品質評価制度の背景と狙い～代理店経営における体制整備義務 日本代協アドバイザー 栗山 泰史 氏 | 130 |
| 東京 | | 2025.09.02損保会館 | 運転支援システム(ADAS)との付き合い方株式会社審調社 業務部課長 交通事故解析士 森澤三郎 氏 | 75 |
| 東京 | | 2025.07.03損保会館 | あなたの知らない「代協の力」～代理店の未来を変える対話と行動～日本代協専務理事 金澤亨 氏 | 133 |
| 東京 | | 2025.05.21損保会館 | 金融審議会で議論を受けた今後の保険会社と代理店の対応～業界慣習の見直しと第三者評価の導入～ 弁護士 嶋寺基 氏 | 140 |
| 東京 | 城南 | 2025.07.08品川区中小企業センター | 保険代理店×ドローン事業～相乗効果と将来性 株式会社ばれっと 代表取締役 田村 仁志 氏 | 30 |
| 東京 | 新宿 | 2026.02.05杉並区産業商工会館 | 実況アナが教える 戦略的アドリブに強くなる！「コミュニケーションベシック」～お客様との関係深化、継続支援の武器に～元NHKアナウンサー 河村太郎 氏 | 30 |
| 東京 | 城北 | 2025.04.15としま区民センター会議室 | 損害保険料率の仕組みについて損害保険料率算出機構 友永隼人 氏 | 30 |
| 東京 | 城東/上野浅草 | 2025.06.04連合会館会議室 | ジギョクイ・自社アピール動画自作セミナー日本代協前アドバイザー 粕谷智 氏 | 30 |
| 東京 | 城東 | 2025.04.24タワーホール船堀 | 損保業界に一言並びに労務トラブルの傾向と対策 社労士 五十嵐常太 氏 | 30 |
| 東京 | 中央 | 2025.11.11京橋プラザ区民館 | 鉄人防災士による防災・BCP対策検討のための防災体験セミナー がんゲノム医療とダビンチ手術 株式会社コール・ミー 代表取締役 丸島冬隆 氏、株式会社エル・ジー・オー 代表取締役 廣川弘城 氏 | 30 |
| 東京 | 中央 | 2025.04.22京橋プラザ区民館 | 1. 中央支部ジギョクイ申請書作成セミナー 2. 国際政治経済動向における、日本社会の現状と金融知識 1. 三井住友海上あいおい生命保険株式会社 倉田宏治 様 2. 株式会社ジェフィック 代表取締役社長 高田礼 様 | 20 |
| 東京 | 武蔵野 | 2025.12.10ドリームサポート社会保険労務士法人セミナールーム | 「あなたの可能性を無限に引き出す『目的』の力」～元SOMPOグループCROが社労士に転身した理由～イベント湘南パートナーズ 代表 伊豆原孝 氏 | 30 |
| 東京 | 武蔵野 | 2025.10.15オープンイノベーション多摩 国分寺館 | ペット防災～災害からペットを守る事前策～特定非営利活動法人 ペット災害危機管理士会 ペット災害危機管理士1級講師 古川圭紀 氏 | 30 |
| 東京 | 武蔵野 | 2025.04.22オープンイノベーション多摩 国分寺館 | 2024年11月1日改正道路交通法適応過失割合 お客様へのプレゼンロープレサンバックスイノベーション株式会社 代表取締役 中村健 氏 | 20 |
| 東京 | 多摩 | 2025.12.12損保ジャパン立川ビル | はじめての改運セミナー～命理学研究者 天雪鈴蘭 氏 | 30 |
| 東京 | 多摩 | 2025.04.18損害保険ジャパン 西東京支店 | 明るく楽しい高座をお届け 落語立川流二つ目 立川志ら鈴 氏 | 20 |
| 静岡 | | 2025.05.29静岡県男女共同参画センターあざれあ | 保険代理店におけるリスクマネジメントの必要性 ～顧客本位の業務運営と価値向上策の関係～日本損害保険代理業協会 理事 企画環境委員長 松本一成 氏 | 20 |
| 静岡 | 西部 | 2025.10.15浜松市社会福祉交流センターギャラリー41 | 保険販売に役立つBCP講座S T F 森清正 氏 | 17 |
| 静岡 | 大井川 | 2025.11.28藤枝市文化センター | NISA・iDeCo+変額保険で叶える安心と資産形成日本生命 静岡代理店営業部 営業部長 東原慶幸 氏 | 10 |
| 静岡 | 大井川 | 2025.07.18藤枝市文化センター | 保険販売に役立つBCP講座S T F 森清正 氏 | 10 |
| 静岡 | 大井川 | 2025.04.25藤枝市文化センター | 公的介護保険制度と介護の備えSOMPOひまわり生命保険(株) 静岡支店 支社長代理 渡邊宗行 氏 | 10 |
| 岐阜 | | 2026.01.28クインテッサホテル | 提携弁護士によるセミナー-渡部法律事務所 弁護士 渡部智也 氏 | 22 |
| 岐阜 | | 2025.10.31メディアコスモス | 損保業界の最新動向と今後の保険代理店のあり方 一般社団法人日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 氏 | 53 |

| 主催 | | 開催年月日・会場 | 演題と講師 | 参加者数 (名) |
|----|-----------|-----------------------------------|---|-------------|
| 岐阜 | | 2025.09.17ハートフルスクエアG ハイブリット | 1. 保険代理店におけるリーダー育成 2. 生き残りに向けた日本代協各種サービス 1. 一般社団法人 日本リーダーズ学会 代表理事 嶋津良智 氏 2. 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 理事 石川英幸 氏 | 80 |
| 岐阜 | | 2025.08.01ひだホテルプラザ | 代理店の使命と役割福井県代協 下村文則 氏 | 30 |
| 岐阜 | | 2025.05.13グランヴェール岐山 | 愛ある経営 ～与えることが未来をつくる～ 株式会社ティア 代表取締役社長 富安徳久 氏 | 82 |
| 岐阜 | | 2025.04.18メディアコスモス | 新保険業法改正から紐解く代理店の対応策保険ジャーナリスト (有)ナカザキ・アンド・カンパニー 代表 中崎章夫 氏 | 26 |
| 三重 | | 2026.02.10津商工会議所 本所 津商工会館 | 赤プル流防対策「防災あるある講座」赤プル氏 (お笑い芸人・防災士) 太田プロダクション所属 | 99 |
| 三重 | | 2026.01.16ZOOM開催 | コンプライアンスと代理店の賠償責任 一消費者に信頼される代理店になるために一日 本代協新プラン 委託講師 杉山幹久 氏 | 95 |
| 三重 | | 2025.09.26ユマニテックプラザ 研修室 | ”日本一簡易トイレのことを考えている男”が語る防災セミナー (株)C-SOS 代表取締役、(一社)全国簡易トイレ普及協会 代表理事 地村健太郎 氏 | 74 |
| 三重 | | 2025.06.17アスト津 アストプラザ | ～保険代理業の継続的な発展へ～ 育てられるリーダーを育成し、仕事を任せ、結果を出す手法 1. 日本リーダーズ学会代表理事 嶋津良智 氏 2. 日本代協理事 石川英幸 氏 | 83 |
| 三重 | 四日市 | 2025.12.05じばさん (四日市市地場産業振興センター) | 「健康経営セミナー」 ～人材は資本。従業員の健康管理は、長期的な収益性を高める投資です～ (株)日本トリム 名古屋支社 松本浩史 氏 | 39 |
| 三重 | 四日市 | 2025.06.27四日市商工会議所 | 防災情報の解説と活用について気象庁 津地方気象台 リスクコミュニケーション推進室 市川晴基 氏 | 32 |
| 三重 | 四日市 | 2025.04.11四日市商工会議所 | 相続セミナー 実家を空き家にはいけぬ(有)ダイトー地所 齋藤雅彦 氏 | 33 |
| 三重 | 鈴鹿 | 2025.12.17牧田コミュニティセンター | 応急手当・AED講習セミナー 「救命入門コース90分」鈴鹿市消防本部隊員、消防団員 | 14 |
| 三重 | 津 | 2026.02.24津駅前 第一ビル 会議室 | 改正保険業法時代の代理店経営 一経営労務診断から考えるコンプライアンス体制ー三 重県社会保険労務士会 YUKIビジネスサポート 社会保険労務士 前野優紀 氏 | 27 |
| 三重 | 津 | 2025.12.10津駅前 第一ビル 会議室 | 健康セミナー (株)日本トリム 名古屋支社 松本浩史 氏 | 26 |
| 三重 | 津/松阪/伊勢志摩 | 2025.08.22松阪市商工会議所 | 震災対応セミナー「能登地震で被災した保健代理店から伝えたいこと」(株)重政保険事務所 専務取締役 重政辰也 氏 | 61 |
| 三重 | 松阪 | 2026.03.10松阪市民活動センター カリヨンプラザ | 交通課課長が語る！「事故を防ぐ時代の保険代理店の役割」松阪警察署 交通第二課 課長 遠藤政城 氏 | 21 |
| 三重 | 松阪 | 2025.04.16松阪市民活動センター カリヨンプラザ | 提携業者の便利な活用方法各提携業者 (修理業者、レンタカー業者、買い取り業者、各種対物修理業者 他) | 27 |
| 三重 | 伊勢志摩 | 2026.01.23伊勢市労働福祉会館 会議室 | 健康経営セミナー (株)日本トリム 名古屋支社 松本浩史 氏 | 23 |
| 三重 | 伊賀 | 2026.01.29伊賀市社会福祉協議会 | カスタマーハラスメントセミナー HCDコンサルティング社会保険労務士 中川勉 氏 | 29 |
| 三重 | 伊賀 | 2025.10.29名張産業振興センター アスピア会議室 | 健康セミナー (株)日本トリム 名古屋支社 松本浩史 氏 | 16 |
| 三重 | 伊賀 | 2025.06.19伊賀市社会福祉協議会 会議室 | 社労士による労務セミナー 「労務関係問題についてQ&A方式で説明」HCDコンサルティング社会保険労務士 中川勉 氏 | 16 |
| 石川 | | 2026.03.06ホテル金沢 | 1. 代理店のミライ ～創業107年4代目社長が語る～ 2. 損害保険代理店の賠償責任と最近のトラブル事例 1. 日本代協組織委員長 藤山裕介 氏 (株)集成社 代表取締役社長) 2. 日本代協新プラン委託講師 山本高久 氏 | 69 |
| 石川 | | 2025.05.28石川県地場産業振興センター | 一体、何が起きているのか?!・・・有識者会議と金融審WG報告書を読み解く日本代協アドバイザー 栗山泰史 氏 | 48 |
| 福井 | | 2025.05.22福井市地域交流プラザ607 | 代理店業務品質評価について コプエ法律事務所 弁護士 古笛恵子 氏 | 57 |
| 近畿 | | 2025.12.18キャンパスプラザ京都・ZOOM | 2025年度代理店賠償責任保険セミナー (オンライン・現地) 日本代協新プラン委託講師 杉山幹久 氏 | 170 |
| 滋賀 | | 2026.01.29キラリエ草津 (草津市立市民総合交流センター) | 誰でもできる本当にするべき防災「今こそ始める実践防災」おもしろ防災アドバイザー 南 あきこ 氏 | 52 |
| 滋賀 | | 2025.05.26キラリエ草津 (草津市立市民総合交流センター) | 記者がここで語る、損保業界のこれから(株)朝日新聞社 経済部記者 金融担当 柴田秀並 氏 | 69 |
| 滋賀 | 湖東湖北 | 2025.10.23上野第Vビル | 地震保険制度とその現状について一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部 主査 大東 建司 氏 | 22 |
| 京都 | | 2026.03.25京都代協事務所 | 代理店廃業をどう決め、どう伝えたか～現役のうちに考えておきたいことと、その後～ 宮本明彦 氏 | 14 |
| 京都 | | 2026.01.16キャンパスプラザ京都 | 激動の時代の乗り越え方～リーダーは今どうあるべきか～ 滋賀ダイワ販売(株) 会長 後藤敬一 氏 | 52 |
| 京都 | | 2025.12.23京都代協事務所 | AI時代の仕事術：ChatGPT 活用共有会安井会長 | 17 |
| 京都 | | 2025.09.29日新火災会議室 | 座談会「おしえて！みんなの営業方法～電話募集編～」日新部会の方々 | 17 |
| 京都 | | 2025.07.30日新火災会議室 | その“積読”、解決します！ラクに読める脳の使い方講座――読まなきゃ・・・のプレッシャーから解放！読むのが楽しくなる90分楽読京都駅前スクール代表 前田英志 氏 | 18 |
| 京都 | | 2025.05.23キャンパスプラザ京都 | 代理店の事業承継を考える事業承継コーディネーター 梅原克彦 氏 | 70 |
| 京都 | 中北 | 2026.03.06SEKAIYA セカイヤ | 東京海上・三井住友海上・損保ジャパン・あいおいニッセイ同和・AIG手数料体系について前田敏実 氏 | 10 |
| 京都 | 北部 | 2025.12.09市民交流プラザ福知山 | 代理店の事業承継を考える事業承継コーディネーター 梅原克彦 氏 | 8 |
| 京都 | 北部 | 2025.08.01舞鶴市西駅交流センター | 心に寄り添う！心のサポーター養成講座舞鶴市健康づくり課職員 | 15 |

| 主催 | | 開催年月日・会場 | 演題と講師 | 参加者数 (名) |
|-----|-------|--|---|-------------|
| 奈良 | | 2026.01.20奈良商工会議所大ホールA | 変わりゆく保険業界、変わらぬ使命～代協が果たす現場と制度の橋渡し～一般社団法人日本損害代理業協会 組織委員長 藤山裕介 様 | 35 |
| 奈良 | | 2025.05.20奈良ロイヤルホテル | 金融審WG・第三者検討会を踏まえた今後の保険代理店のあり方日本代協専務理事 金澤亨 氏 | 40 |
| 大阪 | | 2026.03.24大阪代協会議室 | 日本代協アカデミー・デモンストレーション体験会 (3/24-25) 大阪代協教育委員 | 15 |
| 大阪 | | 2026.03.05事務局よりLIVE配信 | 大阪代協 LIVE STATION 「自己点検チェックシート対策 代協で活用できること」 日本代協 石川英幸理事 (株式会社ミライト代表取締役) | 235 |
| 大阪 | | 2026.01.27Zoomウェビナー | 新春セミナー「今、損保代理店のすすむべき道」日本代協アドバイザー 栗山泰史 氏 | 524 |
| 大阪 | | 2025.12.02梅田センタービルリアル+ オンライン | 1. 南海トラフ巨大地震の近畿圏内における被害想定と備えの重要性について 2. 地震保険の普及に向けた損害保険代理店への期待 1. 名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長 福和伸夫 氏 2. 財務省近畿財務局理財部金融監督第四課長 谷川幸司 氏 | 209 |
| 大阪 | | 2025.11.27オンラインLIVE | 自己点検チェックシートの考え方日本創倫(株)CEO 山本秀樹 氏 | 241 |
| 大阪 | | 2025.11.21北東北ブロック協議会 | 会員の声・思いを集め、発信する取組み (全会員アンケート) セミナー大阪代協 会長 新谷香代子 氏、事務局長 吹原成治 氏 | 99 |
| 大阪 | | 2025.11.14大阪市生涯学習センター | 大阪代協提携事業博覧会大阪代協提携先10社の担当者 | 69 |
| 大阪 | | 2025.08.27Web(Zoom) | 賠償保険2025WEBセミナー日本代協新プラン委託講師 杉山幹久 氏 | 589 |
| 大阪 | | 2025.08.04事務局よりLIVE配信 | 大阪代協 LIVE STATION 「比較推奨販売・特定契約規制の方向性」 中央総合法律事務所 弁護士 錦野裕宗 氏 | 209 |
| 大阪 | | 2025.06.11オンライン | ぼうさい探検隊リーダー研修会日本損害保険協会 業務企画部啓発・教育・防災グループ 杉村葵 氏 | 32 |
| 大阪 | | 2025.06.06大阪市生涯学習センター研修室 | 2025年度委員オリエンテーション日本代協 組織委員長 藤山裕介 氏 | 60 |
| 大阪 | | 2025.05.21中央公会堂 | 損保新時代における顧客本位の本質のぞみ総合法律事務所 パートナー弁護士 吉田桂公 氏 | 177 |
| 大阪 | | 2025.04.09損保ジャパン大阪ビル会議室 | 1. 2025年度理事 (内定者含む) 研修 代協活動への参加者を増やすために 2. 「共感でつながる未来の組織へ：相互支援から始めるチームづくりとWell-being」 1. 大阪代協：会長 新谷香代子 氏 | 35 |
| 大阪 | 東 | 2026.02.25中之島ダイヤビル+WEBのハイブリッド | 比較推奨販売方針の変更 その他監督指針変更に伴う意見交換日本損害保険代理業協会 金澤専務理事 | 34 |
| 大阪 | 東 | 2025.07.23大阪代協事務局会議室+Web | 保険業界を取り巻く環境の変化 株式会社ダイヤモンド社編集委員 藤田章夫 氏 | 44 |
| 大阪 | 南 | 2026.01.29東京海上日動火災 社藤井寺支社 | 最新のAI同行と活用法を学ぼう (株) ブルーモンクコンサルティング 代表取締役 青木紘史 氏 | 16 |
| 大阪 | 南 | 2025.12.19ふれあい貸し会議室心齋橋D | チームづくりで迷わないための8つの鍵 WITH株式会社 代表取締役 金子美和子 氏 | 14 |
| 大阪 | 京阪 | 2026.02.25枚方市総合文化芸術センター本館 | 能登半島地震後の現状と福祉支援・ボランティアの実際社会福祉法人枚方市社会福祉協議会 森江良博 氏 | 27 |
| 大阪 | 中央 | 2026.02.24大阪代協事務局会議室 | 保険代理店の近未来～インシュアテックの最前線～ (株) hokan 執行役員 代理店事業本部長 羽鳥大貴 氏 (株) CIEN マネージャー 森田大地 氏 | 130 |
| 大阪 | 中央 | 2026.01.28事務局会議室+Zoom | 医療現場の視点で考える交通事故対応 1. 保険代理店が知っておくべき整形外科の事情 2. 保険代理店が顧客から信頼を得るための知識一般社団法人隆起会 代表理事 大瀧隆博 氏 | 17 |
| 大阪 | 中央 | 2025.12.23事務局会議室 | 士業連携の勘所なきざ法律事務所 弁護士 佐藤 啓介 氏 | 11 |
| 大阪 | 中央 | 2025.07.23大阪グリーンビル | 明日から使えるコンプライアンス研修～企業におけるヒヤリハット・コンプライアンス違反事例を弁護士目線で解説します～弁護士法人アスト 代表社員 阿武修平 氏 | 16 |
| 大阪 | 中央 | 2025.06.25大阪代協会議室&Zoom | 自己負担ゼロの空き家活用のご提案TOKIOMO合同会社 代表社員 林元希 氏 | 13 |
| 大阪 | 堺 | 2026.02.25堺市総合福祉会館 | 激変する保険業界で生き残るためのクロスセル戦略株式会社Miriz 取締役 渡辺健一 氏 | 38 |
| 兵庫 | | 2026.02.12神戸市長田文化センター | 社長の為のゼミナール 第10期発表会 (有) 神戸経営支援センター 代表 藤本秀俊 氏 | 10 |
| 兵庫 | | 2026.01.29神戸市産業振興センター | 代理店業務品質評価制度の背景と狙い～代理店経営における体制整備義務日本代協アドバイザー 栗山泰史 氏 | 78 |
| 兵庫 | | 2025.06.18神戸市長田文化センター | 社長の為のゼミナール 第10期生～ブランド化+事業継承を意識した経営指針勉強会～ (2025.6.18～2025.12.17 6回開催) (有) 神戸経営支援センター 代表 藤本秀俊 氏 | 36 |
| 兵庫 | | 2025.05.22神戸市産業振興センター会議室 | 金融審WG・第三者検討会を踏まえた今後の保険代理店のありかた日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 氏 | 67 |
| 兵庫 | | 2025.05.16神戸市長田文化センター | 「社長の為のゼミナール」 第10期オープンセミナー (有) 神戸経営支援センター 代表 藤本秀俊 氏 | 7 |
| 兵庫 | 阪神/神戸 | 2025.06.26レンタルスペース会議室 | 会員限定 座談会「保険業界への思いを語ろう！」一般社団法人日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 氏 | 22 |
| 東中国 | | 2025.06.20東中国ブロック内4会場 (岡山国際交流センター 他) オンライン配信 | 代理店経営と損害賠償責任 1. 保険代理店の賠償責任と最近のトラブル事例 2. 保険代理店と保険会社の未来～保険代理店と保険会社はどこから来てどこへ向かうのか～ 1. 日本代協新プラン委託講師 杉山幹久 氏 2. 日本代協理事 組織委員長 藤山裕介 氏 | 113 |

| 主催 | | 開催年月日・会場 | 演題と講師 | 参加者数 (名) |
|-----|-------------|-----------------------------------|---|-------------|
| 岡山 | | 2026.01.23岡山国際交流センター | 岡山県社会保険労務士会との覚書締結4周年記念研修会 ・本研修の説明及び社労士認証制度の概要 ・グループディスカッション ①現在取り組んでいる「社労士診断認証制度」の活用方法 ②両会で新たに組み始める事業・活動の検討吉備総合社会保険労務士事務所 常富真太郎氏 | 34 |
| 岡山 | | 2025.05.30アークホテル岡山 | アナウンサー時々手話通訳者～伝える仕事から見てきたものフリーアナウンサー 遠藤 寛子氏 | 76 |
| 岡山 | 岡山東/岡山西/岡山南 | 2025.12.03岡山国際交流センター | 岡山県代協顧問弁護士講演会(岡山3支部) 1. カスタマーハラスメント 2. 道路交通法改正 2025・2026財津総合法律事務所 岡山県代協顧問弁護士 財津唯行氏 | 37 |
| 岡山 | 岡山西 | 2025.09.29岡山国際交流センター | 損保業界の最新動向と今後の保険代理店のあり方日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨氏 | 80 |
| 岡山 | 岡山南 | 2026.02.18損害保険ジャパン 岡山支店 | 「今の金融商品の動向」について(株)岡山ファイナンシャルプランナーズHD 滝尾 壽一氏 | 14 |
| 岡山 | 岡山南 | 2026.01.20損害保険ジャパン(株)岡山支店 8F会議室 | 企業物件の評価と比例でん補払いについて損害保険ジャパン(株)火災新種課 田中修二氏 | 15 |
| 岡山 | 岡山南 | 2025.09.17損害保険ジャパン 岡山支店 | 「睡眠の専門家と学ぶ快眠の秘話」やるとやらないで大違い・快眠の14か条健康の窓 代表 高津 昌吾氏 | 17 |
| 岡山 | 倉敷北/倉敷南 | 2026.02.20倉敷物語館 | 岡山県代協顧問弁護士講演会(倉敷南北) 1. カスタマーハラスメント 2. 道路交通法改正(自転車など)財津総合法律事務所 岡山県代協顧問弁護士 財津唯行氏 | 13 |
| 岡山 | 倉敷北/倉敷南 | 2025.10.09倉敷物語館 | サイバーセキュリティセミナー岡山県警 生活安全部サイバー犯罪対策課 | 18 |
| 岡山 | 倉敷北/倉敷南 | 2025.07.24損害保険ジャパン 倉敷支社 | 態勢整備の再確認損害保険ジャパン(株)倉敷支社長 大西 直樹氏 | 14 |
| 岡山 | 津山 | 2026.01.30損害保険ジャパン 津山支社 | 岡山県代協顧問弁護士講演会 1. カスタマーハラスメント 2. 道路交通法改正(自転車)財津総合法律事務所 岡山県代協顧問弁護士 財津唯行氏 | 33 |
| 岡山 | 津山 | 2025.09.12損害保険ジャパン 津山支社 | 防災セミナー「保険代理店としての信頼を“備え”から考える～防災とBCPがつなぐお客様との関係～」 民間救急スリーナイン 代表 大原 知氏 | 30 |
| 岡山 | 津山 | 2025.07.25損害保険ジャパン 津山支社 | アナウンサー時々手話通訳者～伝える仕事から見てきたものフリーアナウンサー 遠藤 寛子氏 | 34 |
| 鳥取 | | 2026.01.30エキパル倉吉 | サイバーセキュリティセミナー「サイバー犯罪の現状と対策」鳥取県警察本部 生活安全部サイバー犯罪対策課 巡査部長 谷本博紀氏 | 20 |
| 鳥取 | | 2025.09.26松江テルサ(鳥根県代協共催) | 代理店の未来を切りひらく～代理店業務品質評価への対応とこれからの代理店経営～野元敏昭氏 | 65 |
| 島根 | | 2026.02.20ニューウェルシティ出雲 | 女性が輝く保険代理店に向けて山陰合同銀行 代表取締役 専務執行役員 吉岡佐和子氏 | 25 |
| 島根 | | 2026.01.30松江エクセルホテル東急 | 地震保険の政府再保険について～どのように制度の強靱性が確保されているのか～日本地震再保険株式会社 常務取締役 高山知土氏 | 40 |
| 島根 | | 2026.01.30松江エクセルホテル東急 | 損保業界の最新動向と今後の代理店のあり方日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨氏 | 40 |
| 島根 | | 2025.11.28一般社団法人島根県労働者福祉協議会(ろうかん) | サイバーセキュリティ対策セミナー島根県警察本部 生活安全部サイバー犯罪対策課 サイバーセキュリティ対策係 係長 藤江有徳氏 | 27 |
| 島根 | | 2025.11.28ろうかん | サイバー攻撃事例によるサイバーセキュリティ対策島根県警察本部サイバー犯罪対策課 | 27 |
| 島根 | | 2025.09.26松江テルサ4階 | 『代理店の未来を切りひらく』～代理店業務品質評価への対応とこれからの代理店経営～野元敏昭氏 | 65 |
| 島根 | | 2025.09.26松江テルサ | 代理店の未来を切りひらくHands-On 代表 野元敏昭氏 | 70 |
| 西中国 | | 2025.10.28Web | 代理店賠償責任保険Webセミナー杉山幹久氏 | 57 |
| 広島 | | 2025.11.21損害保険ジャパン 広島支店 | 労務管理セミナー広島総合社会保険労務士法人 社会保険労務士 小山儀典氏 | 52 |
| 四国 | | 2025.11.28四国4県合同WEB開催 | 日本代協新プラン 代理店賠償責任保険の備えが必要ですか?日本代協委託講師 杉山幹久氏 | 74 |
| 香川 | | 2025.08.29フリーラウンジ ハーモニー | サイバー保険の必要性と販売手法まで RIMIK株式会社 今徳良氏 | 23 |
| 香川 | | 2025.04.14マルタス(丸亀市市民交流活動センター) | 激動の時代を勝ち残る代理店経営 「保険業法改正案から考えるこれからの保険代理店内部管理体制と事業戦略」 日本損害保険代理業協会 代理店経営相談室長 岸哲朗氏 | 15 |
| 愛媛 | 松山 | 2025.10.17えびたホール | 1. ハラスメントの諸問題 2. 過失相殺の諸問題 3. 交通事故の賠償に関する諸問題 しろやま法律事務所 弁護士3名 | 17 |
| 愛媛 | 松山 | 2025.05.23ホテルマイステイズ松山 | 広域災害の対応・査定について内山鑑定株式会社・三井住友海上火災保険株式会社 | 39 |
| 福岡 | | 2026.01.21アークホテルロイヤル福岡天神 | 現行の代理店業務品質評価～問題点は?どうあるべきか?代理店への影響は?～中央大学法科大学院客員教授(コプ工法律事務所) 古苗恵子 弁護士 | 95 |
| 福岡 | | 2025.08.29WEBセミナー | 保険代理店の賠償責任と最近のトラブル事例元Chubb損害保険株式会社 営業開発本部長 杉山幹久氏 | 171 |
| 福岡 | | 2025.07.04九州ビル会議室 | 損保業界の構造的問題の解決に議論は尽くされたか?三浦法律事務所 パートナー 弁護士 ニューヨーク州弁護士 大村由紀子氏 | 180 |
| 福岡 | | 2025.05.28KKRホテル博多 | 金融審WG第三者検討会を踏まえた今後の代理店のあり方一般社団法人 日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨氏 | 193 |
| 福岡 | 福岡東 | 2026.02.26天神ビル本館 | これからの代理店経営について株式会社カプト 代表取締役CEO 行木隆氏 | 20 |
| 福岡 | 福岡東/福岡西/福岡中 | 2025.06.25リファレンス大博多ビル | 健全な損保業界の再生を代理店の立場から考える兵庫県立大学客員研究員 道修商事(株) 相談役 松浦章氏 | 65 |

| 主催 | | 開催年月日・会場 | 演題と講師 | 参加者数 (名) |
|-----|-----------|--------------------------|---|-------------|
| 福岡 | 福岡西/福岡南 | 2025.09.09TKPガーデンシティ | 代理店業務品質評価を行う業界共通の枠組みとしての自己点検チェックシート取り組みの解説Hands-On コンサルティング代表 野元敏昭 氏 | 360 |
| 福岡 | 福岡南 | 2026.02.18春日クローバープラザ | 弁護士費用特約の利用についてたくみ法律事務所 荒木俊太 弁護士 | 20 |
| 福岡 | 久留米 | 2026.02.24ホテルニュープラザ久留米 | 代理店パナリティスカッション 1. 代理店態勢整備への取り組み 2. 代理店スタッフの採用と教育 1. (株) nikotto 山田英明 氏、(株) 三菱 望月隼人 氏 2. 日商コンサルティング (株) 橋本安太郎 氏、ING (株) 岸陽平 氏 | 50 |
| 福岡 | 久留米 | 2025.12.11ホテルニュープラザ久留米 | 代理店自己点検チェックシートで見る態勢整備の本質とは損保ジャパン九州エリア支援部 チャンネル営業推進担当部長 勝賀瀬哲 氏 | 50 |
| 福岡 | 久留米 | 2025.11.10久留米シティプラザ | 飲酒運転事故で娘を亡くした父親として飲酒運転事故被害者御遺族 大庭茂彌 氏 | 33 |
| 福岡 | 久留米 | 2025.08.08ホテルマリタレ創世 久留米 | 激動の時代を切り開くこれからの代理店経営とは(株)ブレインマークス 代表取締役 安東邦彦 氏 | 80 |
| 福岡 | 久留米 | 2025.04.22ホテルニュープラザ久留米 | 保険代理店と保険会社のミライ日本代協 理事・組織委員長 藤山裕介 氏 | 51 |
| 福岡 | 筑豊 | 2026.01.30飯塚庄内交流センター | 公証人が語る「後見制度・家族信託・遺言書」田川公証役場 公証人 所田雅一 氏 | 44 |
| 福岡 | 筑豊 | 2025.08.22飯塚市立岩交流センター | 標的型攻撃メールの見抜き方と対応策ITソリューション アットホーム 久間郭史 氏 | 26 |
| 福岡 | 北九州東 | 2025.12.05リーガロイヤルホテル小倉 | サイバーセキュリティの現状と対策福岡県警察本部 生活安全部サイバー犯罪対策課 甲斐総一郎 係長 | 27 |
| 福岡 | 北九州東 | 2025.04.18リーガロイヤルホテル小倉 | 物損軽微事故・非接触事故等における対人対応の留意点東京海上日動火災保険(株) 沼田京助 氏 | 31 |
| 福岡 | 北九州西 | 2025.12.17コムシティ | 損保！新規法人開拓はじめの一歩RIAN保険事務所 多田政博 氏 | 23 |
| 福岡 | 北九州西 | 2025.08.08八幡西生涯学習総合センター | 決算書から読み解く生命保険のススメ方日本生命保険相互会社 重本美翠 氏 | 14 |
| 大分 | | 2026.01.23大分県労働福祉会館ソレイユ | 新春セミナー「損保業界の最新動向と今後の保険代理店のあり方」日本代協 専務理事 金澤亨 氏 | 36 |
| 大分 | | 2025.11.26J:COMホルトホール大分 | 1. サイバーセキュリティセミナー 2. 儲かるセミナー 介護保険編 1. 大分県警サイバー犯罪対策課 岡本拓也 氏 2. 介護とお金のアドバイザー 金田宏文 氏 | 37 |
| 大分 | | 2025.05.27大分県労働福祉会館ソレイユ | 金融審WG第三者検討会を踏まえた今後の代理店のあり方日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 氏 | 55 |
| 大分 | 大分/別府 | 2025.07.18J:COMホルトホール大分 | 代理店賠償セミナー「保険代理店の賠償責任と最近のトラブル事例」Chubb損害保険㈱ 専任講師 山本高久 氏 | 42 |
| 長崎 | | 2025.05.24ホテルニュー長崎 | 特別パナリティスカッション 1. 損害保険業界の現状～金融庁審議会、第三者委員会を専門家解説～ 2. 損害保険業界の未来を徹底検証！～専業プロ代理店の行く末 損害保険会社の今後の動向！金融庁は！～日本代協 理事 松本一成 氏、週刊ダイヤモンド 編集委員 藤田章夫 氏、東洋経済新報社 編集委員 中村正毅 氏 | 61 |
| 長崎 | 長崎/佐世保/県央 | 2025.10.17WEBセミナー (Zoom) | 代理店賠償WEBセミナー元Cfubb損害保険営業開発本部長 杉山幹久 氏 | 45 |
| 宮崎 | | 2026.01.09ニューウェルシティ宮崎 | ドラマ・映画の舞台裏～心をつかむために大切な3つの秘訣～ミナトスタジオ 共同代表 堀之内礼二郎 氏 | 64 |
| 宮崎 | | 2025.12.05ニューウェルシティ宮崎 | コミュニケーションの極意と実践お笑い芸人・タレント 山本 圭吾 氏 | 59 |
| 宮崎 | | 2025.09.19ニューウェルシティ宮崎 | 保険代理店の賠償責任と最近の事故例(株)グランドイール総合保険研究所 代表取締役 川口有一 氏 | 53 |
| 鹿児島 | | 2025.10.16損害保険ジャパン鹿児島支店 | 代理店賠償セミナー～保険代理店の賠償責任と最近の事故例から考える～(株)グランドイール総合保険研究所 代表取締役 川口有一 氏 | 54 |
| 沖縄 | | 2026.03.18沖縄市産業交流センター | 保険業界の環境変化および代理店賠償責任保険の現状一般社団法人 沖縄県損害保険代理業協会 会長 大城拓 氏 | 35 |
| 沖縄 | | 2026.02.20浦添てだこホール | 保険業界の環境変化および代理店賠償責任保険の現状一般社団法人 沖縄県損害保険代理業協会 会長 大城拓 氏 | 29 |
| 沖縄 | | 2026.01.23大同火災 北部支社 | 保険業界の環境変化および代理店賠償責任保険の現状一般社団法人 沖縄県損害保険代理業協会 会長 大城拓 氏 | 20 |
| 沖縄 | | 2026.01.16沖縄県青年会館 | 新春セミナー「環境変化がもたらす代理店経営への影響」一般社団法人 日本損害保険代理業協会アドバイザー 栗山泰史 氏 | 64 |
| 沖縄 | | 2025.12.18大同火災八重山支社 | 保険業界の環境変化および代理店賠償責任保険の現状一般社団法人 沖縄県損害保険代理業協会 会長 大城拓 氏 | 8 |
| 沖縄 | | 2025.11.14宮古青年会議所 | 代協セミナー・代理店賠償(宮古開催)一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会 会長 大城拓 氏 | 14 |
| 沖縄 | | 2025.05.30沖縄県青年会館 | 変革期の代理店経営と代協の使命一般社団法人 日本損害保険代理業協会 副会長 小俣 藤夫 氏 | 25 |

■人材育成研修会

| 主催 | 開催年月日 | 会場 | 演題と講師 | 参加者数 |
|-----|------------|-------------------|---|------|
| 北東北 | 2025.10.24 | リンクモア平安閣市民ホール | 変わりゆく保険業界、変わらぬ使命 ～代協が果たす現場と制度の橋渡し～日本損害保険代理業協会 理事・組織委員長 藤山裕介 氏 | 28 |
| 上信越 | 2025.09.19 | 佐久一萬里温泉ホテル | 1. 日本代協の価値 ～代理店にとっての本当の必要性～ 1. 日本代協地域担当理事 雨宮豊 氏 2. 一体、何が起きているのか?! 一有識者会議と金融審WG報告書を読み解く 2. 日本代協アドバイザー 栗山泰史 氏 | 27 |
| 三重 | 2025.07.02 | 第一ビル 会議室 | 正副支部長オリエンテーション（カンファレンス）会長、専務理事、会計、各支部担当理事（桑員・四日市・鈴亀・津・松阪・伊勢志摩・伊賀） | 22 |
| 三重 | 2025.06.03 | 第一ビル 会議室 | 正副委員長オリエンテーション（カンファレンス）会長、専務理事、会計、各委員会担当理事（組織財務・教育・企画環境・CSR・広報・総務） | 19 |
| 近畿 | 2026.02.05 | 琵琶湖おごと温泉湯元館「木もれび」 | 「マーケットチェンジと業種特化の実践」～リスクマネジメントで勝ち抜くヒント～（株）ライフステージ 代表取締役 永野勤一 氏 | 44 |
| 阪神 | 2025.09.05 | ホテル・ロッジ舞洲 | 1. マーケットチェンジと業種特化の実践 リスクマネジメントで勝ち抜くヒント 2. 激変する損保業界における代協活動の意義 1. （株）ライフステージ 代表取締役 永野勤一 氏 2. 日本代協 副会長 中島克海 氏 | 39 |
| 大阪 | 2025.07.25 | （株）ミライト | 代理店ベンチマーク研修（株）ミライト代表取締役・日本代協理事 石川英幸 氏 | 6 |
| 九州南 | 2025.10.17 | ホテルサンデイズ鹿児島 | 1. 代協の歴史と必要性 ～歴史を学びミライを創る～ 2. 保険業法改正 ～保険代理店として今何を準備すべきか～ 情報管理の必要性 1. 日本代協理事 藤山裕介 氏 2. （株）Hokanグループ 弁護士 中村護 氏 | 52 |

■新入会員オリエンテーション

| 主催 | 開催年月日 | 会場 | 演題と講師 | 参加者数(名) | |
|-----|--------------|------------|-----------------|---|----|
| 北海道 | 札幌 | 2025.06.11 | 三川屋会館 | 1.代協の説明 2.委員会の紹介 3.代理店賠償の説明 4.政治連盟 | 13 |
| | | | | 細川支部長、白戸教育委員、中村CSR委員、塗組織委員、鈴木企画委員、井幡事業委員、山崎北海道地区選挙対策委員 | |
| 北海道 | 函館 | 2026.03.13 | 損保ジャパン函館ビル | 日本代協・北海道代協・各委員会について説明木村副会長、高田支部長、小浜事務局長、教育委員、洞内CSR広報委員、池田組織委員、松浦企画環境委員長、岩間事業委員、新沼会計委員 | 17 |
| 神奈川 | | 2025.11.21 | かながわ労働プラザ | 会員オリエンテーション&価値向上フェスティバル | 31 |
| 三重 | 桑員/四日市/鈴亀 | 2025.09.26 | ユマニテックプラザ 研修室 | 北勢地区オリエンテーション組織財務・教育・企画環境・CSR・広報・総務の各委員会担当者 | 72 |
| 三重 | 津/松阪/伊勢志摩/伊賀 | 2026.02.10 | 津商工会議所 本所 津商工会館 | 中南勢地区オリエンテーション組織財務・教育・企画環境・CSR・広報・総務の各委員会担当者 | 77 |
| 京都 | | 2025.09.17 | 京都代協事務所 | 新入会員オリエンテーション会長 安井義幸 氏 | 13 |
| 奈良 | | 2025.08.21 | 奈良県コンベンションセンター | 新入会員にわかってほしい代協・保険会社にわかってほしい代協奈良県協会会長・各委員長 | 38 |
| 大阪 | 中央 | 2025.04.24 | 事務局会議室 | 新入会員オリエンテーション大阪代協 事務局長 吹原成治 氏 | 10 |
| 鳥取 | | 2025.09.11 | 倉吉未来中心 | 「代協活動の現状と課題」（令和6年度版）について ・各委員長よりの報告・意見交換会 会長・事務局・各支部長・各委員長 | 6 |
| 宮崎 | | 2025.09.19 | ニューウェルシティ宮崎 | 1. 「日本代協・宮崎県代協について説明」 2. 各種委員会活動説明（2025年度事業計画）企画環境委員会 内田委員長 教育委員会 中武委員長 組織委員会 小川委員長 事業広報委員会 高山委員長 CSR 委員会 清委員長 | 20 |
| 鹿児島 | | 2025.10.16 | 損害保険ジャパン鹿児島支店 | 代協活動の説明、各支部・委員会の紹介 鹿児島県協会会長 田中拓 氏 | 14 |

■ 公開講座

| 主催 | | 共催後援 | 開催年月日 会場 | 演題と講師 | 参加者数 (名) |
|-----|-----------|-----------------------------------|----------------------------------|--|-------------|
| 北海道 | 函館 | | 2025.09.30函館市勤労者総合福祉センター | 1. 保険とはどういうものか？ 2. 自動車保険、地震保険について三井住友海上エージェンシー・サービス株式会社 函館支店長 前野 秀一 氏 | 15 |
| 北海道 | 帯広 | | 2026.01.22ホテルグランテラス帯広 | 「ヘルスリテラシーについて」血圧と心臓 睡眠とメンタル太田労働衛生コンサルタント事務所 代表 太田由紀 氏 | 38 |
| 宮城 | 仙台東 | | 2025.07.18仙台市青葉区中央市民センター | マネーセミナー「公的保険の確認と投資や保険を活用したお金の運用のやり方など」シブラルタ生命 三河友翔 氏 | 15 |
| 新潟 | | 一般社団法人日本損害保険協会、一般社団法人新潟県損害保険代理業協会 | 2025.10.11新潟テルサ | 1. 新潟と災害情報～新潟大火、新潟地震を踏まえた考察～ 2. 新潟県内で予測される自然災害～地質学からの考察～ 3. 災害への備えに関する近年の取組み 4. 自助への備えとしての損害保険・共済 1. 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 教授 関谷直也 氏 2. 新潟大学災害・復興科学研究所 所長 教授 卜部厚志 氏 3. 新潟県防災局防災企画課 4. 新潟県地震等災害保険・共済普及協議会 | 120 |
| 長野 | | 長野代協・損保協会 | 2025.12.20ホテル信濃路 | 1. 長野の活断層大地震に備える 2. 長野県の防災への取り組み 3. 自然災害に備える損害保険について 1. 信州大学教育学部 防災教育センター長、地域防災減災センター防災減災教育部門長 廣内大助 氏 2. 長野県危機管理防災課 課長 3. 日本損害保険協会 関東支部 長野損保会 | 96 |
| 長野 | | | 2025.06.06ホテル国際21 | 師匠が語る、藤井聡太という才能杉本昌隆 氏 | 134 |
| 長野 | 中信/ 諏訪 | | 2026.02.07松本市勤労者福祉センター | クロスロードゲーム松本市危機管理部・地域防災マネージャー・防災士 宮坂政行 氏、松本市危機管理部・松本市防災専門官 中村文彦 氏 | 47 |
| 山梨 | | 山梨県・日本損害保険協会関東支 | 2025.10.31山梨県地場産 | 山梨県地震防災シンポジウム 1. 山梨の災害リスクと「フェーズフリー」のすすめ 2. 山梨県における地震被害想定について 3. 地震による被災時の経済的な備えについて 4. パネルディスカッション1. 日本大学 危機管理学部 教授 秦康範 氏 2. 山梨県 防災局危機管理防災課 課長 中嶋正樹 氏 3. 日本損害保険協会関東支部山梨損保会 会長 橋本貴雄 氏 4. 上記3名及び林美穂コーディネーターによるパネルディスカッション | 105 |
| 東京 | | 主催 | 2025.11.29オープンイノベーションフィールド多摩国分寺館 | 家族で取り組む防災備蓄と収納赤布林 | 45 |
| 東海 | | | 2025.10.17ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 | 挑戦と改革川上憲伸 氏（野球評論家） | 216 |
| 北陸 | | | 2025.10.15アイザック小杉文化ホール ラポール | 不当要求・カスタマーハラスメントへの対応ノウハウ～改正労働施策総合推進法の | 43 |
| 福井 | | 日本損害保険協会福井損保会 | 2025.09.26ハビリンホール | 1. 防災・減災に向けた取組み 2. 「地震保険は必要保険 3. 能登に学び大規模地震に備える 1. 福井県防災安全部危機管理課 副部長 橋本泰英 氏 2. 福井県損害保険代理業協会副会長 富田真一 氏 3. 名古屋大学名誉教授 あいち・なごや強靱化共創センター長 福和伸夫 氏 | 100 |
| 福井 | | | 2025.06.17福井市地域交流プラザ601BC | 知っておくべき、がんのすべて東京大学医学部附属病院放射線腫瘍学講座特任教授・厚生労働省「がん対策推進企業アクション」議長 中川恵一 氏 | 70 |
| 近畿 | | | 2025.08.27キャンパスプラザ京都 | 夢は“語る”ことで、現実になる西岡津志志 氏 | 65 |
| 西中国 | | NPO法人 日本FP協会 広島支部 | 2025.09.06RCC文化センター | 情報に惑わせない資産運用～自分の運用方法を見つけよう～吉野 裕一 氏 (AFP 認 | 19 |
| 山口 | 下関 | | 2025.10.31下関勤労福祉会館 | 使用者賠償責任保険の必要性島田直行弁護士 | 14 |
| 長崎 | | | 2026.02.21長崎市立図書館多目的ホール | 長崎の未来と平和～わたしが見た世界～前田真里 氏 | 108 |

■地球環境保全活動

| 主催 | 開催年月日 | タイトル | 内容 | 参加者 | |
|------|---------|------------|-----------------------------------|---|-----|
| 北海道 | 室蘭 | 2025.09.12 | 知利別川岸清掃ボランティア | 知利別川周辺の清掃活動、9名参加 | 9 |
| 青森 | 八戸 | 2025.08.31 | 「第40回奥入瀬川クリーン作戦」への参加 | 奥入瀬川クリーン対策協議会主催、奥入瀬川付近の清掃活動、会員22名参加 | 22 |
| 岩手 | 盛岡 | 2025.04.18 | グリーンアップキャンペーン | 国土交通省東北地方整備局主催、「北上川流域一斉清掃活動」（盛岡南大橋下）に参加、会員・保険会社社員 合計36名参加 | 36 |
| 岩手 | 県南 | 2025.04.26 | グリーンアップキャンペーン | 「道の駅 平泉」にて、県南支部会員・保険会社社員 合計25名参加 | 25 |
| 秋田 | 県北 | 2025.10.05 | 植樹ボランティア | NPO白神ネイチャー協会主催、能代地区会員2名参加 | 2 |
| 秋田 | 県北 | 2025.10.05 | 白神植樹ボランティア | NPO白神ネイチャー協会主催のブナ植樹ボランティアに能代地域会員2名参加 | 2 |
| やまがた | 山形 | 2025.06.07 | 第51回蔵王山クリーン作戦 | 山形市主催、7名参加 | 7 |
| やまがた | 庄内酒田 | 2025.09.20 | 光ヶ丘地区松林整備ボランティア | 山形県庄内総合支庁主催、2名参加 | 2 |
| 福島 | 会津 | 2025.11.01 | 漂着水草回収活動 | 猪苗代湖天神浜にて、15名参加 | 15 |
| 福島 | いわき | 2025.09.06 | 清掃活動 | いわき駅前東側周辺にて、54名参加 | 54 |
| 福島 | 福島 | 2025.10.25 | 清掃活動 | 桜づつみ公園にて、15名参加 | 15 |
| 福島 | 相双 | 2025.10.15 | フードドライブ | 南相馬市役所にて、2名参加 | 2 |
| 新潟 | 上越 | 2025.06.06 | 上越市 郷津海岸清掃 | 郷津上越プラネット主催の郷津海岸清掃に参加 | |
| 長野 | 東信 | 2025.10.25 | 第24回千曲川クリーンウォーク活動 | 千曲川上堀グラウンドにて、13名参加 | 13 |
| 長野 | 飯田 | 2025.07.16 | 飯田市大宮桜並木通り清掃活動 | 会員、保険会社社員 合計22名参加 | 22 |
| 千葉 | 木更津 | 2025.05.18 | 播州干潟クリーン作戦 | 盤州干潟にて海洋ごみ拾い、4代理店8名参加 | 8 |
| 千葉 | 安房 | 2025.06.28 | 館山市那古海岸清掃活動 | 館山市那古海岸にてゴミ拾い（ゴミ袋大30袋以上回収）、参加人数25名 | 25 |
| 千葉 | 銚子 | 2025.09.21 | 旭市飯岡海岸清掃 ぼるぼる（日本一身近な海づくり推進事業）への参加 | 旭市飯岡海岸にて海岸清掃、7名参加 | 7 |
| 千葉 | 京葉 | 2025.11.16 | 第45回船橋をきれいにする日に参加 | ごみのポイ捨てをなくす活動、8人+子供1人で参加 | 9 |
| 神奈川 | 湘南 | 2025.11.15 | 第17回ビーチクリーン運動 | 鶴沼海岸にて、8名参加 | 8 |
| 山梨 | | 2025.10.05 | 「未来の荒川をつくる会」清掃活動 | 甲府市音羽橋周辺にて、4名参加 | 4 |
| 東京 | 城東 | 2025.10.11 | 荒川クリーンエイド2025 | 荒川河川敷、20名参加 | 20 |
| 愛知 | | 2025.11.01 | 豊川稲荷清掃行事奉仕活動 | 豊川稲荷にて、代協会員・賛助会員・保険会社社員 合計81名参加 | 81 |
| 愛知 | | 2025.10.25 | 熱田神宮清掃奉仕活動 | 熱田神宮清掃、会員・賛助会員・保険会社社員合計102名参加 | 102 |
| 三重 | 四日市 | 2025.06.27 | 諏訪公園清掃 | 諏訪公園にて、26名参加 | 26 |
| 三重 | 鈴亀 | 2025.07.04 | 河芸海岸清掃 | 河芸海岸にて、46名参加 | 46 |
| 石川 | | 2025.11.01 | 森林保護活動（木を植える活動） | 石川県森林公園内にて、13名参加 | 13 |
| 石川 | | 2025.06.28 | 森林保護活動（下草刈り作業） | 石川県森林公園内にて、6名参加 | 6 |
| 石川 | | 2025.05.24 | クリーンビーチいしかわ in はくさん | 白山市徳光海岸にて清掃活動、会員14名参加 | 14 |
| 奈良 | | 2025.10.25 | グリーンキャンペーン古都なら | JR奈良駅前から春日大社の鳥居までの清掃活動、会員・保険会社 計72名参加 | 72 |
| 大阪 | | 2026.02.14 | 大阪マラソングリーンUP作戦 | 「2026大阪マラソン」コース内ボランティア清掃活動参加 | |
| 兵庫 | | 2025.11.22 | 六甲山グリーンボランティア | 兵庫県勤労者山岳連盟との協働作業、参加者26名（うち会員5名） | 5 |
| 兵庫 | | 2025.10.11 | コウノトリの生息域を守ろう！～環境保護活動 | 日本コウノトリの会との協働作業、円山川下流域のコウノトリの採餌場所となる湿地の保全、再生保護活動、会員18名参加 | 18 |
| 兵庫 | | 2025.04.29 | 姫路城みどりの美化キャンペーン | 姫路のまちを美しくする運動協議会主催、姫路大手前通りから姫路城周辺にてゴミ拾い、25名参加 | 25 |
| 岡山 | | 2025.10.25 | クリーン作戦 | 岡山3支部 玉野市渋川公園周辺 14名、倉敷2支部 倉敷駅南口周辺 5名、津山支部 神楽尾公園周辺 14名参加 | 34 |
| 東中国 | | 2025.06.28 | 3県合同清掃活動 | 岡山市北区 西川・枝川周辺清掃活動、43名参加 | 43 |
| 岡山 | 岡山東 | 2026.03.07 | 百間川清掃活動 | 百間川河川敷周辺にて、11名参加 | 11 |
| 岡山 | 岡山西 | 2026.03.21 | 百間川せせらぎ広場清掃活動 | 百間川せせらぎ広場にて、7名参加 | 7 |
| 岡山 | 倉敷北/倉敷南 | 2025.11.02 | 児島湖流域清掃大作戦 | 倉敷川及び周辺水路（倉敷市役所周辺）清掃活動、7名参加 | 7 |
| 鳥取 | | 2026.02.24 | NPO法人未来守りネットワークへの寄付金贈呈 | 鳥取県代協・米子支部より46,000円を寄付 | |
| 鳥取 | 米子 | 2025.06.08 | 中海・宍道湖一斉清掃 | 米子市主催、米子市湊山公園にて、11名参加 | 11 |
| 鳥取 | 倉吉 | 2025.05.18 | 東郷池一斉清掃 | 鳥取県東伯郡湯梨浜町役場主催、7名参加 | 7 |
| 鳥取 | 鳥取 | 2025.04.20 | 鳥取砂丘一斉清掃 | 鳥取砂丘美化運動協議会主催、15名参加 | 15 |
| 広島 | | 2025.11.13 | 広島平和記念公園清掃活動（2） | 広島平和記念公園周辺にて、27名参加 | 27 |
| 広島 | | 2025.07.10 | 広島平和記念公園清掃活動（1） | 広島平和記念公園周辺にて、49名参加 | 49 |
| 広島 | 広島西 | 2025.08.02 | 佐伯区八幡川クリーンキャンペーン | 広島市佐伯区八幡川の河川周辺にて、14名参加 | 14 |
| 広島 | 広島東 | 2025.12.06 | 広島駅北口清掃活動 | 広島駅北口周辺にて、8名参加 | 8 |
| 山口 | | 2025.10.04 | ツルのねぐら一斉整備 | 山口県周南市八代 鶴いこいの里周辺にて、会員5名・非会員5名 計10名参加 | 10 |

| 主催 | | 開催年月日 | タイトル | 内容 | 参加者 |
|-----|-----|------------|-------------------|---|-----|
| 山口 | 下関 | 2025.08.14 | 関門海峡花火大会翌日清掃 | 下関市関門海峡花火大会会場周辺にて、2名参加 | 2 |
| 福岡 | | 2025.06.08 | ラブアース クリーンアップ2025 | 百道浜海岸・福津海岸での清掃活動、約70名参加 | 70 |
| 福岡 | 久留米 | 2026.03.14 | 筑後川清掃活動 | 久留米支部会員・家族および保険会社社員との河川清掃活動、50名参加 | 50 |
| 福岡 | 久留米 | 2025.12.20 | 筑後川清掃活動 | 久留米支部会員・家族および保険会社社員との河川清掃活動、35名参加 | 35 |
| 宮崎 | 県北 | 2025.12.06 | 清掃活動 | 延岡総合文化センター駐車場にて、14名参加 | 14 |
| 宮崎 | | 2025.11.15 | 第17回宮崎市海岸清掃活動 | みやぎき臨海公園（サンビーチ ーツ葉）にて、代協会員、保険会社社員 210名参加 | 210 |
| 鹿児島 | | 2025.11.22 | 奄美大島にて道路清掃 | 奄美大島名瀬市屋仁川通りにて、7名参加 | 7 |
| 鹿児島 | | 2025.06.06 | 磯海水浴場清掃活動 | 鹿児島市主催、磯海水浴場清掃、22名参加 | 22 |
| 沖縄 | | 2025.11.29 | 西原マリナーパークにて清掃活動 | 会員、未加入会員、保険会社関係団体 40名参加 | 40 |

■ 地域社会貢献活動

| 主催 | 開催年月日 | タイトル | 内容 |
|------|-------|------------|---|
| 北海道 | 札幌 | 2026.03.13 | タオルボランティア 児童養護施設2施設ヘタオル300枚寄贈（各施設150枚） |
| 北海道 | 札幌 | 2025.09.25 | 地震保険普及キャンペーン 大通公園にて、会員12名、損保協会3名 計15名参加 |
| 北海道 | 札幌 | 2025.06.05 | 無保険車追放キャンペーン エスコンフィールドHOKKAIDO付近にて、会員11名、陸運局2名、損保協会2名 計15名参加 |
| 北海道 | 室蘭 | 2026.02.03 | タオルボランティア 室蘭市社会福祉協議会様へ900枚寄贈 |
| 北海道 | 室蘭 | 2025.09.11 | 地震保険普及キャンペーン ドン・キホーテ室蘭店周辺にて、会員9名参加 |
| 北海道 | 室蘭 | 2025.06.20 | 無保険車追放キャンペーン 会員9名、陸運局1名、計10名参加 |
| 北海道 | 旭川 | 2025.09.11 | 地震保険普及キャンペーン 旭川買物公園にて、会員9名 保険会社1名、計10参加 |
| 北海道 | 旭川 | 2025.07.18 | 無保険車追放キャンペーン 北見市駅前にて、リーフレット付きティッシュを配布 会員10名参加 |
| 北海道 | 旭川 | 2025.06.16 | 無保険車追放キャンペーン 旭川買物公園にて、会員13名、運輸支局2名、計15名参加 |
| 北海道 | 小樽 | 2025.10.23 | 地震保険普及キャンペーン 稲穂セントラルタウン都通りにて、6名参加 |
| 北海道 | 小樽 | 2025.09.19 | 無保険車追放キャンペーン 秋の全国交通安全運動期間に合わせ小樽市稲穂セントラルタウン都通りアケードにて実施 6名参加 |
| 北海道 | 小樽 | 2025.06.27 | 無保険車追放キャンペーン 小樽市稲穂セントラルタウン都通りアケードにて、6名参加 |
| 北海道 | 苫小牧 | 2026.03.25 | タオルボランティア 苫小牧社会福祉協議会へ99枚寄贈、チャリティボウリング大会 募金額20,000円をあわせて寄付 |
| 北海道 | 苫小牧 | 2025.09.11 | 無保険車追放・地震保険普及キャンペーン 苫小牧中央ボウル店舗前にて、会員7名参加 |
| 北海道 | 千歳 | 2025.06.10 | タオルボランティア 千歳社会福祉協議会様へ200本のタオルを寄贈 |
| 北海道 | 函館 | 2026.02.09 | タオルボランティア 道南地区の老健施設4施設ヘタオル800枚寄贈（各施設200枚） |
| 北海道 | 函館 | 2025.10.08 | 地震保険普及キャンペーン MEGAドン・キホーテ函館店前にて、会員13名、損保社11名 計24名参加 |
| 北海道 | 函館 | 2025.05.27 | 無保険車追放・交通安全キャンペーン MEGAドン・キホーテ函館店前にて、会員11名、陸運局2名、保険会社5名、計18名参加 |
| 北海道 | 釧路 | 2025.10.02 | 無保険車追放キャンペーン イオン釧路店出入口にて、会員12名 保険会社9名 関連会社1名 計23名参加 |
| 北海道 | 釧路 | 2025.09.11 | 無保険車追放キャンペーン イオン釧路店出入口3か所にて、会員13名、陸運局1名、保険会社9名、計23名参加 |
| 北海道 | 釧路 | 2025.07.04 | 交通安全運動『旗の波』 街頭で旗を使用し交通事故防止を呼びかける活動、釧路警察署、釧路交通安全協会、保険会社様、会員、計31名参加 |
| 北海道 | 帯広 | 2025.06.21 | 地震保険・無保険車追放キャンペーン 帯広競馬場で2日間開催されたキャンピングカーフェスティバルにてリーフレット付ティッシュを配布 |
| 北海道 | 帯広 | 2025.05.21 | リングブルの寄贈 北海道帯広養護学校の中学部生徒が中心に行っているリングブルを車いすに交換し支援施設へ寄贈している活動へ寄贈 |
| 青森 | 弘前 | 2025.10.23 | 地震保険啓発・普及キャンペーン シーナシーナ弘前店前およびマックスパリュ安原店前にて、会員14名・保険会社社員12名（計26名）参加 |
| 岩手 | | 2026.03.02 | 寄付金・使用済切手・書き損じはがき贈呈 会員より募った募金22,200円と会員・保険会社より募った使用済切手8,630枚、書き損じはがき132枚を岩手県社会福祉協議会へ贈呈 |
| 岩手 | | 2026.02.18 | 高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」 軽米高校にて、生徒・職員36名参加 |
| 岩手 | | 2026.01.29 | 高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」 釜石商工高校にて、生徒・職員65名参加 |
| 岩手 | | 2026.01.14 | 高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」 久慈翔北高校にて、生徒・職員123名参加 |
| 岩手 | | 2025.12.22 | 高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」 伊保内高校にて、生徒・職員13名参加 |
| 岩手 | | 2025.12.04 | 高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」 花北青雲高等学校にて、生徒・職員154名参加 |
| 岩手 | | 2025.11.01 | 第20回献血運動 岩手県内各献血場所にて（2025.11.1～11.15）、会員・保険会社社員 7名参加 |
| 岩手 | | 2025.09.10 | 高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」 平舘高等学校にて、生徒・職員17名参加 |
| 岩手 | 盛岡 | 2025.12.05 | 飲酒運転撲滅街頭キャンペーン 盛岡市大通交差点にて、飲酒運転撲滅リーフレット300部配布、盛岡東警察署員・盛岡支部会員・保険会社社員 合計30名参加 |
| 岩手 | 盛岡 | 2025.10.22 | 地震保険啓発・普及キャンペーン 盛岡駅構内（建物外）にて、キャンペーンリーフレット600部配布、会員・保険会社社員 計26名参加 |
| 岩手 | 盛岡 | 2025.10.16 | 普通救命（AED）講習会 ビックルーフ滝沢にて、講師・指導 滝沢消防署員、盛岡支部会員・保険会社社員 8名参加 |
| 岩手 | 盛岡 | 2025.09.25 | 無保険車追放キャンペーン 盛岡駅構内（建物外）にてキャンペーンリーフレット600部配布、会員・保険会社社員・国交省職員 合計45名参加 |
| 秋田 | 県北 | 2026.03.19 | 交通安全のぼり旗寄贈 交通安全のぼり旗寄贈式にて、大館地区交通安全協会へ交通安全のぼり旗を70枚寄贈 |
| 秋田 | 中央 | 2025.11.28 | チャリティパーティ 秋田市イヤタカで開催し33名が出席、会場内で集まった募金76,000円を災害遺児愛護基金事業へ寄附 |
| 秋田 | 中央 | 2025.09.26 | 無保険車追放キャンペーン 秋田駅前ぼほろーどにて、会員7名・秋田運輸局2名参加 |
| 宮城 | | 2025.09.25 | 無保険車追放キャンペーン 国土交通省 宮城運輸支局と共催でチラシ・ティッシュを配布 |
| 宮城 | | 2025.09.19 | 秋の交通安全県民総ぐるみ運動出発式 宮城県警察本部前駐車場にて本運動の効果的な推進を図るための出発式に参加 |
| 宮城 | | 2025.04.04 | 春の交通安全県民総ぐるみ運動出発式 参加人数 8名 |
| 宮城 | 仙台北 | 2025.10.11 | 七北田川清掃 七北田川河川敷にて、6名参加 |
| 宮城 | 仙台東 | 2025.10.29 | 救命救急講習会 仙台市若林体育館にて、講師 高橋氏、15名参加 |
| 宮城 | 仙南 | 2025.10.18 | 秋の交通安全啓発運動 道の駅かくだにて、自賠責保険・地震保険推奨ティッシュ配布、6名参加 |
| やまがた | | 2025.10.03 | 無保険車追放キャンペーン 山交ビル前にて、東北運輸局山形運輸支局2名・やまがた代協7名、計9名参加 |
| 福島 | 郡山 | 2025.10.18 | 地震保険普及キャンペーン イオンタウン郡山にて、9名参加 |
| 福島 | 郡山 | 2025.10.18 | 献血活動 イオンタウン郡山にて、50名採血 |
| 福島 | 福島 | 2025.11.08 | 無保険車追放キャンペーン 福島駅東口広場にて、10名参加 |
| 福島 | 福島 | 2025.11.08 | 献血活動 福島駅東口ミスタードーナツ前にて、50名採血 |
| 福島 | 福島 | 2025.09.19 | 秋の交通安全運動街頭キャンペーン 福島駅東口広場にて、9名参加 |
| 福島 | 白河 | 2025.11.03 | 地震保険普及キャンペーン メガステージ白河にて、15名参加 |
| 福島 | 白河 | 2025.11.03 | 献血活動 メガステージ白河にて、54名採血 |
| 新潟 | | 2025.09.23 | 「安全運転チャレンジ100」協賛 新潟県交通安全対策連絡協議会「安全運転チャレンジ100」協賛 |

| 主催 | 開催年月日 | タイトル | 内容 | |
|-----|--------|------------|--------------------------------|---|
| 新潟 | | 2025.09.23 | 無保険車追放キャンペーン | 大学・専門学校合計4校にティッシュを設置 |
| 新潟 | 新潟 | 2025.10.15 | 地震保険キャンペーン | スーパー原信にてリーフレットティッシュを配布 |
| 新潟 | 長岡 | 2025.11.28 | 地震保険キャンペーン | イオン六日町店にてリーフレットティッシュを配布 |
| 新潟 | 上越 | 2025.10.23 | 地震保険キャンペーン | スーパー原信にてリーフレットティッシュを配布 |
| 長野 | 北信 | 2025.10.31 | 「食品ロス削減月間における家庭での食品ロス削減」街頭啓発活動 | JR長野駅善光寺口駅前広場にて、啓発用ティッシュの配布、5名参加 |
| 長野 | 北信 | 2025.08.01 | 献血活動 | 長野献血ルームにて、11名採血 |
| 長野 | 東信 | 2025.09.25 | 献血活動 | 佐久保健センターにて、2名採血 |
| 長野 | 中信 | 2026.02.01 | 献血活動(2月~3月) | 松本献血ルームにて、5名採血 |
| 長野 | 中信 | 2025.10.23 | 地震保険啓発・普及キャンペーン | 松本市・塩尻市内のショッピングモール3ヶ所にて、会員・保険会社計25名参加 |
| 長野 | 中信 | 2025.09.19 | 秋の全国交通安全運動 | 松本市合同庁舎北側交差点にて、7名参加 |
| 長野 | 中信 | 2025.04.07 | 春の交通安全運動 | 松本合同庁舎入口交差点にて、11名参加 |
| 長野 | 諏訪 | 2025.12.15 | 年末の交通安全運動 | 茅野警察署前にて、2名参加 |
| 長野 | 諏訪 | 2025.11.19 | 献血活動 | カルチャーホームすわにて、受付者数18名、献血者数17名 |
| 長野 | 諏訪 | 2025.09.22 | 秋の全国交通安全運動 | 茅野警察署前にて、4名参加 |
| 長野 | 諏訪 | 2025.07.29 | 献血活動 | カルチャーホームすわにて、受付者数31名、献血者数20名 |
| 長野 | 諏訪 | 2025.07.11 | 夏の交通安全やまびこ運動 | 茅野警察署前にて、2名参加 |
| 長野 | 諏訪 | 2025.04.07 | 春の交通安全運動 | 茅野警察署前にて、2名参加 |
| 長野 | 伊那 | 2025.11.21 | 献血活動 | 損害保険ジャパン 南信支社にて、受付者数3名、献血者数3名 |
| 長野 | 伊那 | 2025.10.04 | 第46回どんぐりまつり | 伊那養護学校にて出店「さかなつりゲーム」、5名参加 |
| 長野 | 飯田 | 2026.01.28 | 救急救命講習会 | 飯田消防署内にて、支部会員・保険会社13名参加 |
| 長野 | 飯田 | 2025.09.17 | 無保険車追放キャンペーン | アジマ自動車学校・飯田自動車学校・天竜自動車学校にてリーフレット贈呈・配布依頼、5名参加 |
| 茨城 | | 2025.10.10 | 第4回茨城県代協チャリティゴルフコンペ | 茨城新聞への寄付金贈呈、15名参加 |
| 茨城 | 水戸/県西 | 2026.01.21 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立高萩高等学校にて、高校3年生50名、教員3名、会員2名参加 |
| 茨城 | 水戸 | 2025.12.17 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立勝田工業高校にて、3年生190名、教員5名、会員2名参加 |
| 茨城 | 水戸 | 2025.12.11 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立小瀬高等学校にて、3年生35名、教員3名、会員2名参加 |
| 茨城 | 水戸 | 2025.12.10 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立磯原郷英高等学校にて、3年生51名、教員4名、代協会員2名参加 |
| 茨城 | 水戸 | 2025.12.09 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立大洗高等学校にて、高校3年生53名、教員3名、会員2名参加 |
| 茨城 | 水戸 | 2025.11.14 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立IT未来高等学校にて、3年生54名、教員4名、会員2名参加 |
| 茨城 | 水戸 | 2025.10.28 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立茨城東高等学校にて高校3年生を対象に出前講座を実施、高校3年生63名、教員3名、代協会員2名参加 |
| 茨城 | 水戸 | 2025.10.23 | 地震保険啓発普及キャンペーン | JR水戸駅南口ペDESTリアンデッキにてリーフレット・ティッシュ配布、代協会員15名、保険会社12名、賛助会員1名参加 |
| 茨城 | 水戸 | 2025.09.29 | 自賠責保険無保険車追放キャンペーン | JR水戸駅南口ペDESTリアンデッキにて、リーフレットを配り街頭での啓発活動、無保険車追放の呼びかけ、13名参加 |
| 茨城 | 土浦 | 2025.12.09 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立土浦工業高等学校にて、3年生200名、教員3名、会員2名参加 |
| 茨城 | 土浦 | 2025.11.21 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立筑波高等学校にて、3年生70名、教員4名、会員2名参加 |
| 茨城 | 土浦 | 2025.11.14 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立石岡商業高校にて、3年生100名、教員5名、会員2名参加 |
| 茨城 | 土浦 | 2025.11.04 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立土浦第三高等学校にて高校3年生を対象に実施、高校3年生12名、教員2名、代協会員2名参加 |
| 茨城 | 土浦 | 2025.11.01 | 筑波山清掃登山ボランティア | 筑波山ロープウェイつつじヶ丘駅より登山道を清掃しながら登山を実施、31名参加 |
| 茨城 | 県西 | 2026.01.29 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立下館第二高等学校にて、高校3年生234名、教員8名、会員1名参加 |
| 茨城 | 県西 | 2026.01.21 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立岩瀬高等学校にて、高校3年生66名、教員5名、会員3名参加 |
| 茨城 | 県西 | 2026.01.09 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立絹商業高等学校にて、高校3年生128名、教員8名、会員2名参加 |
| 茨城 | 県西 | 2025.12.17 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立石下紫峰高等学校にて、3年生137名、教員8名、会員2名参加 |
| 茨城 | 県西 | 2025.12.09 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立八千代高等学校にて、3年生190名、教員6名、会員1名参加 |
| 茨城 | 県西 | 2025.12.08 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立甲賀第二高等学校にて、3年生198名、教員8名、会員2名参加 |
| 茨城 | 県西 | 2025.08.08 | 首都圏外放水路 地下神殿見学 | 首都圏を水災から守ってくれるインフラを見学することにより知識の吸収・防災意識を高める |
| 茨城 | 鹿行 | 2025.12.10 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立潮来高等学校にて、3年生120名、教員3名、代協会員4名参加 |
| 茨城 | 鹿行 | 2025.12.06 | 第14回鹿島神宮清掃ボランティア | 鹿島神宮境内及び参道の清掃、会員及び家族86名参加 |
| 茨城 | 鹿行 | 2025.10.10 | 高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 茨城県立波崎柳川高等学校にて、高校3年生49名、教員3名、代協会員4名参加 |
| 埼玉 | | 2025.10.24 | チャリティゴルフコンペ | 募金総額43,350円を交通遺児への寄付活動に充当 |
| 埼玉 | | 2025.10.08 | 交通遺児への寄付 | 交通遺児への寄付として100,000円寄付 |
| 埼玉 | | 2025.10.05 | 献血キャンペーン 街頭活動 | 献血キャンペーン(10/1~31)、10/5大宮駅交番前広場にて街頭活動 |
| 千葉 | 木更津 | 2026.02.19 | 献血活動 | JR津田沼駅にて献血依頼の呼び込みのお手伝い、会員8人+子供1人参加 |
| 千葉 | 木更津 | 2025.12.14 | 献血活動 | イオンタウン木更津請西駐車場にて、5名参加 |
| 千葉 | 安房 | 2026.03.20 | 献血活動 | 千葉県館山市イオンタウン駐車場内にて、7名参加 |
| 千葉 | 京葉 | 2025.11.16 | 献血活動 | JR津田沼駅にて献血依頼の呼び込みのお手伝い、会員8人+子供1人参加 |
| 神奈川 | 県西 | 2025.10.28 | 地震保険普及キャンペーン | 平塚駅北口にてリーフレット配布、会員4名参加 |
| 神奈川 | 神奈川みらい | 2025.10.28 | 地震保険普及キャンペーン | 新横浜駅周辺にてリーフレット配布、会員・保険会社社員計14名参加 |
| 神奈川 | みなと | 2025.11.19 | 第27回秋の献血活動 | 神奈川県立福祉大学にて、受付者100名、献血者84名 |
| 神奈川 | みなと | 2025.10.21 | 地震保険普及キャンペーン | 横須賀中央駅前Yデッキにてリーフレット配布、会員11名参加 |
| 神奈川 | みなと | 2025.05.21 | 第26回春の献血活動 | 神奈川県立保健福祉大学にて、献血者92名 |
| 神奈川 | 湘南 | 2026.01.28 | 第36回献血活動 | 損害保険ジャパン(株)藤沢支社にて、受付者50名、献血者30名 |
| 神奈川 | 湘南 | 2025.06.25 | 第35回献血活動 | 損害保険ジャパン(株)藤沢支社にて、受付者71名、献血者47名 |
| 神奈川 | 横浜中 | 2026.02.13 | 第13回献血活動 | 横浜Leaf献血ルームにて、会員25名参加 |
| 神奈川 | 横浜中 | 2025.09.30 | 無保険車追放キャンペーン | 桜木町駅前にてリーフレット配布、会員8名参加 |
| 神奈川 | 県央 | 2025.09.26 | 無保険車追放キャンペーン | 本厚木駅前にてリーフレット配布、会員12名参加 |

| 主催 | 開催年月日 | タイトル | 内容 | |
|----|------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 山梨 | 2025.12.16 | フードバンク募金贈呈式 | 認定NPO法人フードバンク山梨に寄付金107,000円を贈呈 | |
| 山梨 | 2025.10.17 | 「献血感謝のつどいin山梨」厚生労働大臣感謝状伝達式 | 山梨県防災新館やまなしプラザにて、3名参加 | |
| 山梨 | 2025.05.15 | 社会人出前講座「明るいま来へトライ！会社編（自動車事故と保険の基礎知識）」 | (株)オギノ様 新入社員20名参加、講師 山梨代協CSR委員長 大久保 氏 | |
| 山梨 | 国中 | 2026.01.15 | 冬の献血街頭キャンペーン | 甲府市防災新館スクランブル交差点にて、けんけつちゃんティッシュ250個配布、会員8名参加 |
| 山梨 | 国中 | 2026.01.07 | 冬の献血キャンペーン | 甲府献血ルーム「グレーブ」にて、実施期間2026年1月7日～2月28日、受付者数106名、献血者数90名 |
| 山梨 | 国中 | 2025.10.23 | 地震保険普及キャンペーン | JR甲府駅南口・オギノリバーシティ店にて、会員のべ14名参加 |
| 山梨 | 国中 | 2025.09.24 | 無保険車追放キャンペーン | JR甲府駅南口にてリーフレット350個配布、会員13名、国土交通省運輸局2名参加 |
| 山梨 | 国中 | 2025.09.13 | やまなし防災減災フェス2025 | JR甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場にて、山梨代協ブースを出展、「ぼうさい探検隊」の推進、災害時用ビニール袋のボンチョ作り体験、地震保険等のご案内 |
| 山梨 | 郡内 | 2025.10.23 | 郡内支部チャリティーコンバ | 募金総額17,000円をフードバンク山梨に寄付 |
| 山梨 | 郡内 | 2025.09.10 | 地震保険普及キャンペーン | 富士吉田市民会館にてリーフレット配布、会員10名参加 |
| 山梨 | 郡内 | 2025.09.10 | 秋の献血推進事業 | 富士吉田市民会館にて、受付者45名、献血者42名 |
| 東京 | | 2026.03.31 | 「使用済み切手」「ベルマーク」収集活動 | 今年度収集を3/10日本国際ボランティアセンターあて送付 |
| 東京 | | 2025.05.31 | 第1回防災口ゲイニング (AT NAKANO) | 中野四季の森公園と周辺約2キロにて、参加者合計50組・110名 うち中野区在住16組45名 |
| 東京 | 城東 | 2026.02.14 | 愛の献血運動 | 東京メトロ東西線西葛西駅(南口)にて、「愛の献血」を実施(今回で24回目) |
| 静岡 | | 2025.11.19 | 無保険車追放キャンペーン | 日本大学三島校舎にて、会員3名、国土交通省職員1名参加 |
| 静岡 | | 2025.11.07 | 自販連研修会 | 自動車保険のコンプライアンス・保険取扱い代理店としてのディーラーの責務・新車担当部長クラス約25社参加 |
| 静岡 | | 2025.10.03 | 地震保険啓発・普及キャンペーン | JR静岡駅コンコースにて、13名参加 |
| 静岡 | | 2025.09.16 | 献血協力 | 藤枝市役所にて、3名参加 |
| 静岡 | | 2025.07.17 | 交通安全出前講座「自転車から学ぶ交通安全 自転車事故とその現実」 | 静岡県立沼津工業高等学校、生徒・教職員 40名参加 |
| 愛知 | | 2025.10.25 | 無保険車追放キャンペーン | 名古屋鉄道「神宮前駅」にて、CSR委員・副会長でノベルティを配布 |
| 三重 | | 2025.12.15 | 高校生向け交通安全出前講座 | 「車社会に出る、高校生の君達へ」 学校法人高田学園高田高等学校にて、3年生180名参加 |
| 三重 | | 2025.12.01 | 冬の献血キャンペーン (12/1～3/15) | 献血ルーム、移動献血バスにて、50名参加 (キャンペーン—津支部2/17・伊勢志摩支部3/5) |
| 三重 | | 2025.10.31 | 中学生向け交通安全出前講座 | 「自転車事故から学ぶ交通安全、自転車事故とその現実」 津市立香海中学校にて、全校生徒80名参加 |
| 三重 | | 2025.10.23 | 地震保険啓発・普及街頭キャンペーン | JR津駅前(東口)にて、13名参加 |
| 三重 | | 2025.08.01 | 夏の献血キャンペーン (8/1～10/31) | 献血ルーム、移動献血バスにて39名参加 (キャンペーン—鈴鹿支部10/3・津支部10/23・伊勢志摩支部10/15) |
| 三重 | 桑員/四日市/鈴鹿 | 2025.09.26 | 無保険車追放街頭キャンペーン | 近鉄四日市駅 東口にて、55名参加 |
| 富山 | | 2026.02.24 | 高校生出前講座 | 富山県立小矢部園芸高等学校にて、15名参加 |
| 富山 | | 2026.02.20 | 高校生出前講座 | 富山県立富山商業高等学校にて、230名参加 |
| 富山 | | 2026.02.05 | 高校生出前講座 | 富山県立伏木高等学校にて、78名参加 |
| 富山 | | 2026.01.20 | 高校生出前講座 | 高岡商業高等学校にて、三学年193名参加 |
| 富山 | | 2025.10.26 | 献血活動 | フアボーレ富山にて、献血受付数55名 (献血者数 48名) |
| 富山 | | 2025.06.22 | 献血活動 | フアボーレ富山にて、献血受付合計66名 |
| 石川 | | 2026.02.10 | 高校出前講座 | 寺井高等学校にて、生徒約90名参加 |
| 石川 | | 2026.01.27 | 高校出前講座 | 松任高等学校にて、生徒約76名参加 |
| 石川 | | 2026.01.15 | 高校出前講座 | 金沢伏見高等学校にて、生徒約100名参加 |
| 石川 | | 2026.01.14 | 高校出前講座 | 内灘高等学校にて、生徒約40名参加 |
| 石川 | | 2025.12.18 | 高校出前講座 | 鶴来高等学校にて、生徒約40名参加 |
| 石川 | | 2025.06.13 | 被災地ボランティア活動 2 | 珠洲市内の会員事務所にて、泥撤去作業、6名参加 |
| 石川 | | 2025.05.23 | 被災地ボランティア活動 1 | 珠洲市内の会員事務所にて、泥撤去作業、6名参加 |
| 福井 | | 2025.11.21 | 交通安全教育出前講座「車社会に出る君たちへ」 | 北陸高校にて、生徒数480名 |
| 福井 | | 2025.11.20 | 街頭献血 | 嶺南地区で開催、受付者数31名、献血者数27名 |
| 福井 | | 2025.11.18 | 街頭献血活動 | 嶺北地区で開催、受付者数80名、献血者数72名 |
| 福井 | | 2025.11.08 | 福井県総合防災訓練 | ブース出展、地震保険の普及活動 (ノベルティ配布) |
| 福井 | | 2025.10.08 | 安全教育出前講座 | 鯖江高校 (自転車安全教育) 生徒数280名 |
| 福井 | | 2025.09.01 | 地震保険 街頭啓発活動 | 福井県と合同でノベルティの配布 |
| 福井 | | 2025.05.20 | 安全教育出前講座 | 順化小学校にて (自転車安全教育) 生徒数20名 |
| 福井 | | 2025.04.25 | 交通安全教育出前講座 | 鯖江中学校にて (自転車安全教育) 生徒数300名 |
| 福井 | | 2025.04.11 | 安全教育出前講座 | 中央中学校にて「自転車安全教育」 生徒数 330名 |
| 滋賀 | | 2025.11.01 | 能登半島地震復興応援訪問 | 輪島市重蔵神社 炊き出し (焼きそば・みたらし団子)、有志6名参加 |
| 滋賀 | 湖東湖北 | 2025.10.23 | 地震保険普及キャンペーン | J 彦根駅前 (西口および東口) にて会員11名、損保ジャパン研修生7名 計18名参加 |
| 滋賀 | 湖西湖南 | 2025.10.10 | 無保険車追放キャンペーン | 立命館大学、龍谷大学へキャンペーングッズ800部を持参し配布、国交省職員とともに通学バイクの自賠責期限切れバイクを調査し学生部へ報告 |
| 京都 | | 2026.02.15 | 京都マラソンボランティア | きぬかけの路付近にて、3ブロック分の沿道整理、57名参加 |
| 京都 | | 2025.11.28 | 令和7年年末の交通事故防止府民運動スタート式 | 文化パルク城陽にて、2名参加 |
| 京都 | | 2025.11.07 | 京都市消防局こどもの図画事業に寄付 | 京都市の保育園や幼稚園が消防車を描く図画事業の冊子や展示会の費用に対する寄付 3万円 |
| 京都 | | 2025.10.25 | 地震保険啓発キャンペーン | 京都市大規模災害訓練で地震保険啓発キャンペーンを開催、京都代協12名保険会社他9名参加 |
| 京都 | | 2025.09.19 | 令和7年度秋の交通安全運動スタート式 | 交通安全運動スタート式、1名参加 |

| 主催 | 開催年月日 | タイトル | 内容 | |
|----|------------|------------------------------|--|--|
| 京都 | 2025.06.18 | 無保険車追放キャンペーン | 京都産業大学にて、京都代協7名、近畿運輸局1名、大学内ボランティア活動8名参加 | |
| 京都 | 2025.05.21 | 献血キャンペーン | あいおいニッセイ同和損害保険にて8名参加、受付数26名 | |
| 京都 | 2025.04.04 | 令和7年度春の交通安全運動スタート式 | 京都市下京区「梅小路公園」において2名参加 | |
| 奈良 | 2025.10.17 | 地震保険普及キャンペーン | 近鉄奈良駅にて、会員・保険会社 計28名参加 | |
| 奈良 | 2025.09.19 | 無保険車バイク追放キャンペーン | 近鉄大和八木駅にて、会員・保険会社 計28名 国交省1名 参加 | |
| 大阪 | 2026.03.22 | 「2026大阪マラソン」ボランティア | 大阪マラソンコース内参加選手への給水所ボランティア活動 | |
| 大阪 | 2025.12.09 | 防災出前授業 | 大阪府吹田市立大六小学校4年生38人に「防災出前授業」を実施 | |
| 大阪 | 2025.11.21 | 北防災協会 防災講演会 | 2025年8月改定南海トラフ地震臨時情報ガイドライン わかりやすい解説と今すぐ出来るBCP対策10選 CSR委員で防災士が講師を務めた | |
| 大阪 | 2025.11.21 | 大阪府建築防災啓発員資格取得セミナー | 大阪府提供の建築防災にまつわるYouTubeを視聴→確認テスト→「大阪府建築防災啓発員認定証」発行 | |
| 大阪 | 2025.09.27 | ふれあい交通ウォーク・交通安全講習会 | 茨城市青少年指導委員・東雲中学校区で開催された、交通安全イベントでCSR委員が交通安全講習会講師、茨木市立東小学校・白川小学校の児童114名参加 | |
| 大阪 | 2025.08.03 | 「まつばら防災フェスタ」CSR参加 | 大阪府松原市市長公室危機管理課主催「まつばら防災フェスタ」にて地震発生時の減災啓発、地震保険の普及促進、ぼうさい探検隊の情報提供 | |
| 大阪 | 中央 | 2025.06.17 | 交通安全たんけんたい（ぼうさい探検隊） | 城南学園小学校にて生課授業として開催、2年生54人が参加 |
| 大阪 | 京阪 | 2026.01.07 | 無保険車追放キャンペーン | 関西外国語大学へキャンペーングッズ200部を持参、駐車中バイクをチェック、自賠責期限切れ車を学生課へ報告 |
| 大阪 | 堺 | 2025.12.09 | 無保険車追放キャンペーン | 帝塚山学院大学 学生生活課へキャンペーングッズ200部持参 |
| 大阪 | 堺 | 2025.11.07 | 無保険車追放キャンペーン | 桃山学院大学 学生支援課へグッズ200部を持参、バイク通学者メインに配布を依頼 |
| 兵庫 | 2025.11.16 | 神戸マラソン2025ボランティア | 長田ブロックにて沿道警備、ボランティアスタッフ21名 | |
| 兵庫 | 2025.10.23 | 地震保険啓発・普及キャンペーン | JR元町駅・JR姫路駅にて。元町駅前 15名、姫路駅前 15名参加 | |
| 岡山 | 2026.02.01 | 献血月間 | 受付24名、献血数22名 | |
| 岡山 | 2025.11.29 | AEDと普通救命講習会 | 岡山市消防局 岡北消防署にて、14名参加 | |
| 岡山 | 2025.10.16 | 車いす贈呈 | (株)岡山コンベンションセンターへ1台（岡山西支部）、(公社)津山市観光協会へ1台贈呈（津山支部） | |
| 岡山 | 2025.10.10 | タオルボランティア | 各支部会で集めたタオルを（一社）epoおかやま笑顔プロジェクトに寄付 | |
| 岡山 | 2025.10.03 | 交通安全教育出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ | 学校法人佐藤学園 ヒューマンキャンパス高等学校 岡山にて、生徒・職員41名参加 | |
| 岡山 | 2025.09.25 | 無保険車追放キャンペーン | ビックカメラ岡山店南側歩道にて、会員10名、運輸支局1名参加 | |
| 岡山 | 2025.08.01 | 献血月間 | 受付46名、献血数40名 | |
| 鳥取 | 2026.01.21 | 高校出前講座「金融リテラシーと交通安全教育出前講座」 | 鳥取県立境高等学校にて、3年生107名・会長・事務局・会員1名参加 | |
| 鳥取 | 2025.11.19 | 第33回暴力追放鳥取県民大会 | 公益財団法人鳥取県暴力追放センター・鳥取県警察主催、倉吉未来中心にて、3名参加 | |
| 鳥取 | 2025.10.10 | チャイルドシート寄贈 | 一般財団法人鳥取県交通安全協会にて贈呈式、チャイルドシート3台を県下3箇所（鳥取・倉吉・米子）の交通安全協会へ寄贈 | |
| 鳥取 | 米子 | 2025.09.10 | 献血活動 | イオン日吉津内献血ルームひえびにて、会員7名参加 |
| 鳥取 | 倉吉 | 2025.10.23 | 地震保険普及キャンペーン | 東伯郡琴浦町ショッピングセンターアプトにて、会員6名参加 |
| 鳥取 | 倉吉 | 2025.07.30 | AED講習会 | 鳥取中部ふるさと広域連合 倉吉消防署にて、会員4名参加 |
| 鳥取 | 鳥取 | 2025.09.25 | 無保険車追放キャンペーン | イオン鳥取店前広場にて、会員11名・損協4名・国交省3名 合計18名参加 |
| 島根 | 2026.03.14 | 宍道湖西岸ヨシ刈りボランティア活動 | 宍道湖の西岸にて、11名に参加 | |
| 島根 | 2025.10.23 | 地震保険普及キャンペーン | 松江駅にて、6名参加 | |
| 島根 | 2025.10.23 | 地震保険普及キャンペーン | 松江駅にて駅利用者へ情宣活動 | |
| 島根 | 2025.09.22 | 無保険車追放キャンペーン | 松江駅にて、6名参加 | |
| 島根 | 2025.09.22 | 無保険車追放キャンペーン | 松江駅にて駅利用者へ情宣活動 | |
| 山口 | 2025.07.27 | 山口県地震等災害保険・共済加入促進協議会普及PRイベント | 山口県山口市 t y sハウジングプラザセラにて、2名参加 | |
| 山口 | 下関 | 2026.01.17 | 献血活動協力呼びかけ | 山口県下関市ゆめシティにて、2名参加 |
| 山口 | 山口/宇部 | 2026.03.28 | 献血サポート活動 | 山口県宇部市 ゆめタウン宇部にて、山口支部6名 宇部支部5名 合計11名参加、受付70名、献血協力64名 |
| 山口 | 山口/宇部 | 2025.07.12 | 献血サポート活動 | ゆめタウン山口 西出口付近にて、山口支部6名 宇部支部3名 計9名参加、受付62名 検血53名 |
| 山口 | 周南 | 2026.02.22 | 献血サポート活動 | サンリブ下松にて、会員4名参加、献血協力者会員含め67名 |
| 山口 | 柳井 | 2026.02.15 | 献血サポート活動 | 山口県柳井市ゆめタウンやないにて、6名参加 |
| 山口 | 柳井 | 2025.12.22 | 年末交通安全キャンペーン | 山口県柳井市 ゆめタウン柳井にて、4名参加 |
| 山口 | 柳井 | 2025.10.16 | 地震保険啓発・普及キャンペーン | 山口県柳井市 ゆめタウン柳井にて、6名参加 |
| 山口 | 柳井 | 2025.09.29 | 秋の全国交通安全キャンペーン | 山口県柳井市 ゆめタウン柳井店にて、6名参加 |
| 山口 | 柳井 | 2025.09.25 | 秋の全国交通安全キャンペーン | 熊毛郡平生町 マックスバリュ平生店にて、1名参加 |
| 山口 | 柳井 | 2025.07.17 | 夏の交通安全キャンペーン | 柳井市 ゆめタウン柳井にて、8名参加 |
| 山口 | 柳井 | 2025.04.09 | 春の全国交通安全キャンペーン | ゆめタウン柳井にて、7名参加 |
| 山口 | 岩国 | 2025.10.21 | 地震保険啓発・普及キャンペーン | 山口県岩国市JR岩国駅にて、8名参加 |
| 山口 | 岩国 | 2025.07.04 | 交通安全・2025 無事故無違反コンテスト150 エントリー | 5名コースに1チーム5名で参加、無事故・無違反を達成 |
| 愛媛 | 松山 | 2025.09.30 | 無保険車追放キャンペーン | 松山市駅付近にて、5名参加 |
| 愛媛 | 今治 | 2025.10.23 | 地震保険普及キャンペーン | 今治市役所付近にて、5名参加 |
| 愛媛 | 南予 | 2025.10.23 | 地震保険普及キャンペーン | 宇和島市きさいや広場にて、10名参加 |
| 愛媛 | 東予 | 2025.06.21 | 第5回クリーンビーチ新居浜（荷内海岸） | 新居浜商工会議所青年部主催清掃ボランティア、9名参加 |
| 福岡 | | 2025.11.01 | 献血応援月間 | 11月を献血応援月間と決め、チラシを作成し代協会員へ支部を通じて情宣活動 |
| 福岡 | | 2025.04.16 | 使用済み切手の寄贈 | 福岡市ボランティアセンターへ使用済み切手を寄贈・ボランティアセンター便り「風」に掲載 |
| 福岡 | 福岡東 | 2025.09.26 | 無保険車追放キャンペーン | 博多駅にてポケットティッシュ（パンフレット）配布、国交省職員と福岡東支部会員の計10名参加 |

| 主催 | | 開催年月日 | タイトル | 内容 |
|-----|--------------|------------|--------------------|--|
| 福岡 | 筑豊 | 2025.10.03 | 地震保険普及キャンペーン | 直方がんだびっくり市にてポケットティッシュ（チラシ）配布、19名参加 |
| 福岡 | 北九州東/北九州西 | 2025.10.21 | 地震保険普及キャンペーン | JR九州小倉駅にてポケットティッシュ（チラシ）の配布、会員・保険会社社員35名参加 |
| 福岡 | 北九州東 | 2025.07.23 | ひまわり絵画展 | 7/23日（設営）～7/29日（撤去） |
| 大分 | | 2025.09.22 | 無保険車追放キャンペーン | 亀の井自動車学校別府校にて 2名参加 |
| 大分 | | 2025.09.22 | 無保険車追放キャンペーン | 大分県運転免許センター玄関前にて 会員3名、国交省2名参加 |
| 佐賀 | 佐賀東 | 2025.10.23 | 地震保険普及キャンペーン | J R 佐賀駅にて、保険会社22名・会員6名参加 |
| 佐賀 | 佐賀東 | 2025.09.22 | 無保険車追放キャンペーン | J R 佐賀駅にて、チラシ・ティッシュ配布、会員10名参加 |
| 佐賀 | 佐賀東 | 2025.08.17 | 献血活動 | ゆめタウン佐賀にて、会員6名参加 |
| 佐賀 | 唐津 | 2025.10.23 | 地震保険普及キャンペーン | 唐津まいづる本店にて、会員10名参加 |
| 佐賀 | 唐津 | 2025.08.22 | 献血活動 | 唐津うまかもん市場にて、会員13名参加 |
| 長崎 | | 2025.12.12 | 金融経済教育出前授業 | 長崎県立長崎北高等学校にて、生徒80名、代協役員3名、会員3名参加 |
| 長崎 | | 2025.12.11 | 金融経済教育出前授業 | 長崎北高にて、生徒80名、代協役員3名参加 |
| 長崎 | | 2025.10.07 | 金融経済教育出前授業 | 島原農業高校にて、生徒75名、代協役員3名参加 |
| 長崎 | | 2025.10.07 | 金融経済教育出前授業 | 島原農業高校にて、生徒75名、代協役員3名参加 |
| 宮崎 | | 2025.11.28 | 宮崎大学構内無保険車追放キャンペーン | 宮崎大学構内にて、8名参加 |
| 宮崎 | 西都児湯 | 2026.01.16 | 救命救急AED講習会 | 新富町総合交流センターきらりにて、東児湯消防組合職員を講師に、8名参加 |
| 宮崎 | 宮崎北/宮崎中央/宮崎南 | 2025.08.06 | 宮崎3支部合同AED講習会 | 宮崎中央公民館大会議室にて、26名参加 |
| 宮崎 | 都城 | 2025.10.07 | 救命救急AED講習会 | 都城市消防局にて、11名参加 |
| 熊本 | | 2025.09.25 | 無保険車追放キャンペーン | 熊本学園大学キャンパス内にて、代協15名、国交省2名参加 |
| 熊本 | | 2025.05.16 | 献血 | 総会当日、同会場駐車場にて、13名参加 |
| 熊本 | 県南 | 2025.10.20 | 寄付贈呈式 | 水俣市役所にて歩行支援用具（ハッピーⅢミニ）3台贈呈、代協4名、市職員3名出席 |
| 熊本 | 県南 | 2025.10.19 | 全国花火競技大会後の清掃活動 | ごみステーションに集まったごみの分別、保険会社社員、会員と家族 21名参加 |
| 鹿児島 | | 2026.02.13 | バレンタイン献血 | 鹿児島県赤十字血液センターにて、36名受付、31名献血 |
| 鹿児島 | | 2025.09.26 | 無保険車追放キャンペーン | 鹿児島南国センタービル付近、鹿児島中央駅前バスターミナル付近 会員10名 保険会社7名 計17名参加 |
| 鹿児島 | | 2025.08.07 | 真夏の献血キャンペーン | 鹿児島県赤十字血液センターにて、27名受付、19名採血 |

■ 消費者団体との懇談会

消費者の声に耳を傾け、消費者の立場に立ったよりよい保険商品の提供や代理店の役割と存在意義を知っていただくために、全国各地域の消費生活センターなどの消費者団体の皆さまと定期的に懇談会を行っています。

| 主催 | 開催年月日 | タイトル | 会場・参加者等 |
|----|------------|----------------------------|---|
| 東京 | 2025.11.14 | 令和7年度第31回消費生活相談員との懇談会 | 1. 借家人賠償責任保険について 講師：岩瀬憲昭 理事 2. 意見交換 グループディスカッション方式 |
| 愛知 | 2026.03.05 | 第23回 消費者団体との懇談会 | 愛知県県民文化部県民生活課・名古屋市消費生活課と代協協会員6名との意見交換 |
| 岐阜 | 2025.11.19 | 消費者団体情報交換会 | 岐阜県、岐阜市の消費者団体情報交換会開催 岐阜県 3名、岐阜市 1名 代協7名参加 |
| 京都 | 2026.03.06 | 京都市消費総合センター訪問 | 相談内容の確認、LOOP 電動キックボードの保険についての情報提供 |
| 福岡 | 2026.01.31 | 公益財団法人 全国消費生活相談員協会 九州支部交流会 | 講演会・意見交換 |

倫 理 綱 領

損害保険代理業は、損害保険業の発展を通じ、社会の安全を守り、福祉の向上に貢献する公益性の高い職業である。

一般社団法人日本損害保険代理業協会の正会員に加盟するすべての損害保険代理店並びにその募集人は、社会が損害保険代理業に課する使命、責任、義務に深い自覚を持ち、社会の信頼にこたえ、その繁栄に資するため、常に研鑽につとめる。

よって、ここに倫理綱領を定め、その遵守と実践を宣言する。

1. われわれ損害保険代理業者は、損害保険ならびに代理店制度が社会の安定と福祉の向上を図るため、最善の制度であることを確認し、損害保険の普及につとめるとともに、尊い職責を完全に果たし、消費者の信頼を高めるよう努力する。
2. われわれ損害保険代理業者は、直接消費者に接する者として、常に知性、知識の研磨につとめ、資質を向上させ、消費者の需要に的確に対応し、損害保険代理業者としての機能を高度に発揮することを誓う。
3. われわれ損害保険代理業者は、名誉を重んじ、秩序を守り、公正な募集活動を推進し、同業者相互間においては、常に友好的関係を保持し、損害保険代理業の地位の向上につとめる。
4. われわれ損害保険代理業者は、損害保険会社及びその団体と友誼的関係を維持するとともに、英知を結集し、損害保険業の発展に寄与する。
5. われわれ損害保険代理業者は、損害保険業に対する公共の信頼を維持し、業務の適切性および健全性を確保するため、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けて断固たる対応を行う。

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

〔募集規範〕

■ 目 的

全ての損害保険の募集に従事する者は、消費者の4つの権利（安全を求める権利、知らされる権利、選ぶ権利、意見を述べる権利）を尊重し、以下に定める事項を遵守することによって、一般消費者の利益に貢献することを目的とする。

■ 倫理規範

（1）社会性・公共性の自覚

損害保険業は、社会・公共の利益に貢献する使命を持つことを自覚しなければならない。

（2）自己研鑽

常に自己研鑽に励み、顧客サービスの質を高めるよう努力しなければならない。

（3）信義・誠実性

一般消費者に対し、常に公平、公正で、信義を守り、誠実でなければならない。

（4）信用の維持

常に自らの信用維持に努めなければならない。

（5）反社会的勢力との関係遮断

反社会的勢力とは、取引関係を含めて一切の関係を持たないようにしなければならない。

■ 行動規範

（1）商品説明

商品内容を説明する場合は、重要事項説明書やパンフレットなどにより、一般消費者が商品内容を理解し、自主的な商品選択ができるよう、契約条項のうち重要な事項は必ず説明する。

（2）最適アドバイス

一般消費者のニーズに対し、適切な商品をアドバイスする。

（3）アフターサービス・アフターフォロー

契約後、適切なアフターサービス・アフターフォローを提供する。

（4）顧客情報の守秘

保険の募集に関し、秘密とすべき顧客情報は守秘する。

（5）法令等の遵守

保険業法およびその他の法令等を遵守する。

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

反社会的勢力への対応に関する基本方針

一般社団法人 日本損害保険代理業協会およびその正会員である全国各都道府県損害保険代理業協会は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に努め、公共の信頼を維持し、適切かつ健全な業務の遂行を確保するために、以下の基本方針を定めます。

1. 組織としての対応

反社会的勢力による不当要求等に対しては、役職員等の安全を確保するとともに、担当者任せにすることなく、組織全体として対応します。

2. 外部専門機関との連携

反社会的勢力による不当要求等に備えて、平素から、警察、暴力追放運動推進センター、弁護士等の外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。

3. 取引を含めた一切の関係遮断

反社会的勢力とは、取引関係も含めて、一切の関係を持ちません。

また、反社会的勢力による不当要求等は断固拒絶します。

4. 有事における民事と刑事の法的対応

反社会的勢力による不当要求等に対しては、民事と刑事の両面から法的対応を行います。

5. 資金提供・裏取引の禁止

いかなる形態であっても、反社会的勢力に対する資金提供や事案を隠ぺいするための裏取引は絶対に行ないません。

以上